

# 男女共同参画に関する市民アンケート調査

## 結果報告書

平成 22 年 3 月

丸 亀 市

# 目 次

|   |    |
|---|----|
| 調査概要 .....  | 1  |
| あなた自身のことについて  |    |
| 性別、年齢 .....   | 2  |
| 結婚の状況、世帯構成 .....  | 3  |
| 仕事について  |    |
| 回答者の就労状況・雇用形態 .....   | 4  |
| 仕事をやめたことがある人の離職理由 .....                                     | 5  |
| 配偶者の就労状況・雇用形態 .....   | 6  |
| 女性が職業を持つことに対する考え .....                                      | 7  |
| 男女平等について  |    |
| 分野別の男女平等感 .....   | 9  |
| 男女平等の社会をつくるために学校教育の場で必要なこと .....                            | 21 |
| あやゆる分野で男女がもっと平等になるために最も重要なこと .....                          | 23 |
| 今後女性がもっと増える方がよいと思う職業や役職 .....                               | 24 |
| 家庭生活や地域活動と仕事について  |    |
| 望ましい家事分担 .....  | 25 |
| 実際の家事分担 .....   | 34 |
| 希望する家庭生活や地域活動と仕事の優先度、<br>実際の家庭生活や地域活動と仕事の優先度 .....          | 43 |
| 「夫は仕事、妻は家庭」という考え方に対する賛否、<br>男性が育児休業・介護休業を取得することに対する考え ..... | 46 |
| 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと .....                        | 49 |
| ドメスティック・バイオレンス（DV）について                                      |    |
| DVの経験や見聞き .....   | 50 |
| 暴力を受けたときの相談相手 .....   | 51 |
| 暴力を受けても相談しなかった理由 .....                                      | 52 |
| 暴力を防止するために必要なこと .....                                       | 53 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 男女共同参画社会の形成について         |    |
| 言葉の認知度 .....            | 54 |
| 今後、行政が力を入れていくべきこと ..... | 59 |
| 調査票および単純集計結果 .....      | 61 |

## 調 査 概 要

### 調査目的

次期男女共同参画プランを策定するための基礎データとするとともに、今後の男女共同参画施策を推進するための参考資料とする。

### 調査設計

- (1) 調査対象 丸亀市在住の20歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出数 無作為抽出による
- (3) 調査方法 郵送配付・郵送回収
- (4) 調査期間 平成22年1月14日～平成22年1月29日

### 回収結果

|       |         |
|-------|---------|
| 発 送 数 | 3,000 人 |
| 有効回収数 | 1,174 人 |
| 有効回収率 | 39.1%   |

### 集計にあたって

- ・ 集計は、小数点第2位を四捨五入した。したがって、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・ 回答の比率は、その設問の該当者数を基数（[ ]内の数字）として算出した。したがって、複数回答の設問において、比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・ 回答の集計において、全体数と男女の合計が合わないことがあるが、性別の無回答者についても、全体数の集計には加えている。

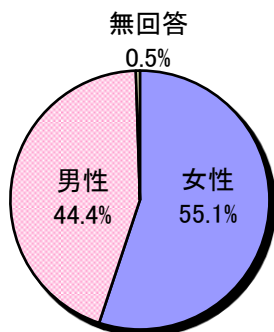
# あなた自身のことについて

## 問1 あなたの性別は？

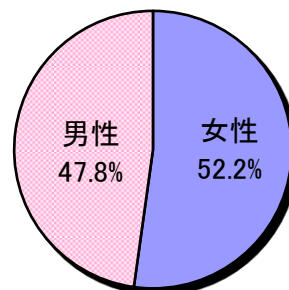
|     | 人数    |
|-----|-------|
| 総数  | 1,174 |
| 女性  | 647   |
| 男性  | 521   |
| 無回答 | 6     |

|         | 人数     |
|---------|--------|
| 20歳以上人口 | 89,838 |
| うち 女性   | 46,899 |
| 男性      | 42,939 |

資料: 住民基本台帳  
(平成22年1月1日現在)



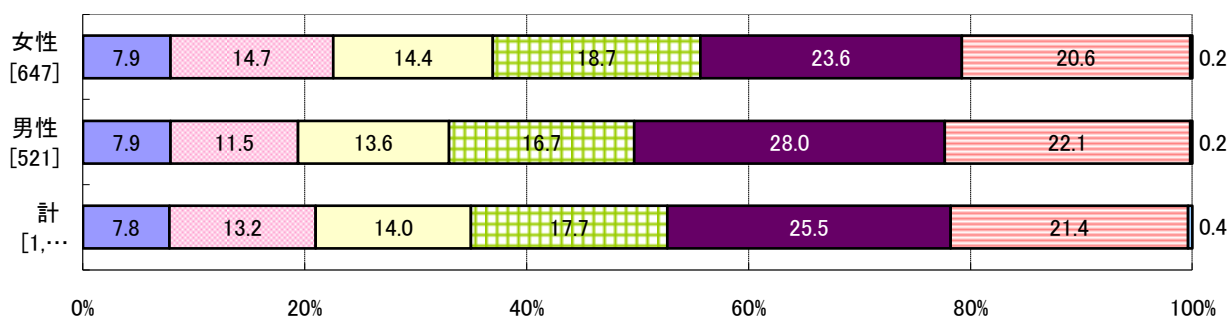
〈参考: 丸亀市の男女比率〉



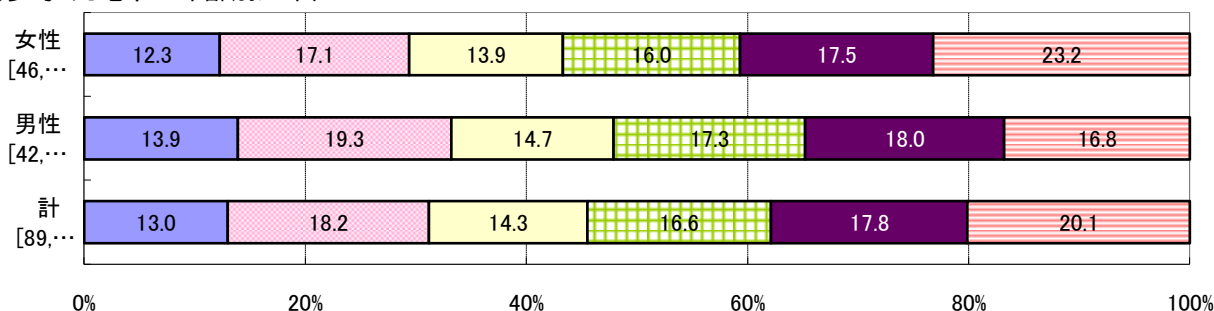
回答者の性別は、「女性」55.1%、「男性」44.4%である。丸亀市の20代以上人口の男女比率に近く、女性の回答率が高い。

## 問2 あなたの年齢は？

|    | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | 無回答 | 計     |
|----|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 女性 | 51   | 95   | 93   | 121  | 153  | 133   | 1   | 647   |
| 男性 | 41   | 60   | 71   | 87   | 146  | 115   | 1   | 521   |
| 全体 | 92   | 155  | 164  | 208  | 299  | 251   | 5   | 1,174 |



〈参考: 丸亀市の年齢別比率〉

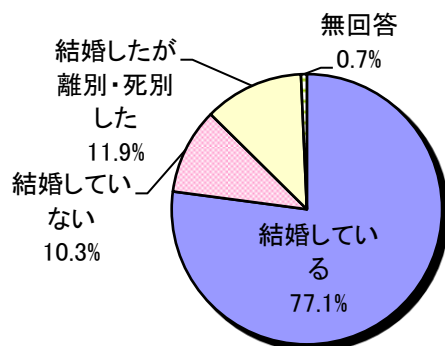


■20歳代 □30歳代 □40歳代 □50歳代 ■60歳代 □70歳以上 □無回答

年齢別にみると、「60歳代」が25.5%と最も高く、次いで「70歳以上」21.4%、「50歳代」17.7%と続く。丸亀市の年齢別比率をみると、「20歳代」7.8%の回答率が低い。

問3 あなたは、結婚(婚姻届を出していない場合も含みます)していますか。

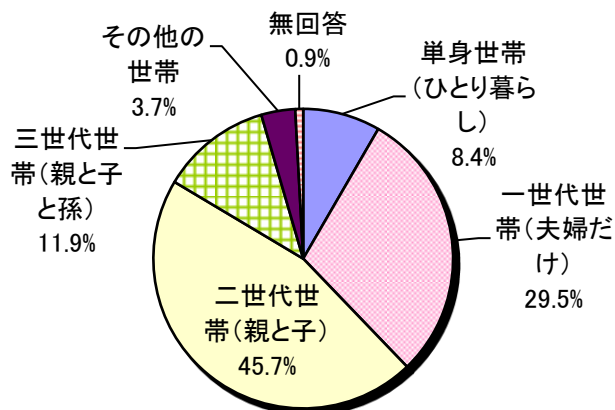
|    | 結婚している | 結婚していない | 結婚したが<br>が離別・ | 無回答 | 計     |
|----|--------|---------|---------------|-----|-------|
| 女性 | 485    | 52      | 104           | 6   | 647   |
| 男性 | 416    | 69      | 35            | 1   | 521   |
| 全体 | 905    | 121     | 140           | 8   | 1,174 |



結婚の状況をみると、「結婚している」が77.1%と最も高い。「結婚したが離別・死別した」は、女性が男性よりも9.4%高い。

問4 あなたが、現在同居している家族の構成は、次のうちどれですか。一つ選んで○をつけてください。

|    | 単身世帯<br>(ひとり暮らし) | 一世代世帯<br>(夫婦) | 二世代会帯<br>(親と子) | 三世代会帯<br>(親と子と孫) | その他の世帯 | 無回答 | 計     |
|----|------------------|---------------|----------------|------------------|--------|-----|-------|
| 女性 | 59               | 185           | 289            | 81               | 27     | 6   | 647   |
| 男性 | 39               | 159           | 248            | 56               | 15     | 4   | 521   |
| 全体 | 98               | 346           | 537            | 140              | 43     | 10  | 1,174 |

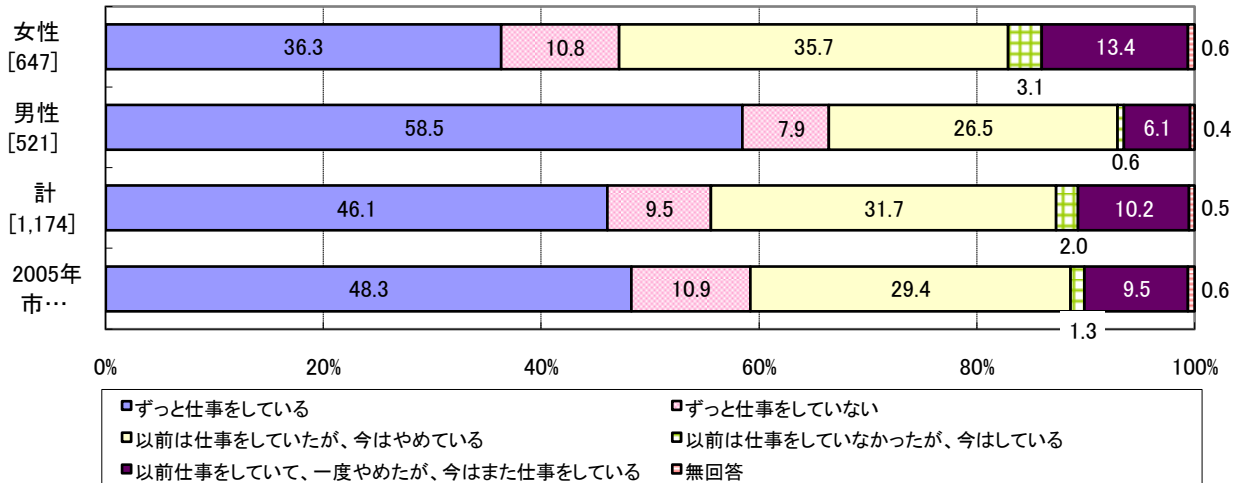


家族の構成をみると、「二世代会帯(親と子)」が45.7%と最も高く、次いで「一世代世帯(夫婦だけ)」29.5%、「三世代会帯(親と子と孫)」11.9%となっている。

## 仕事について

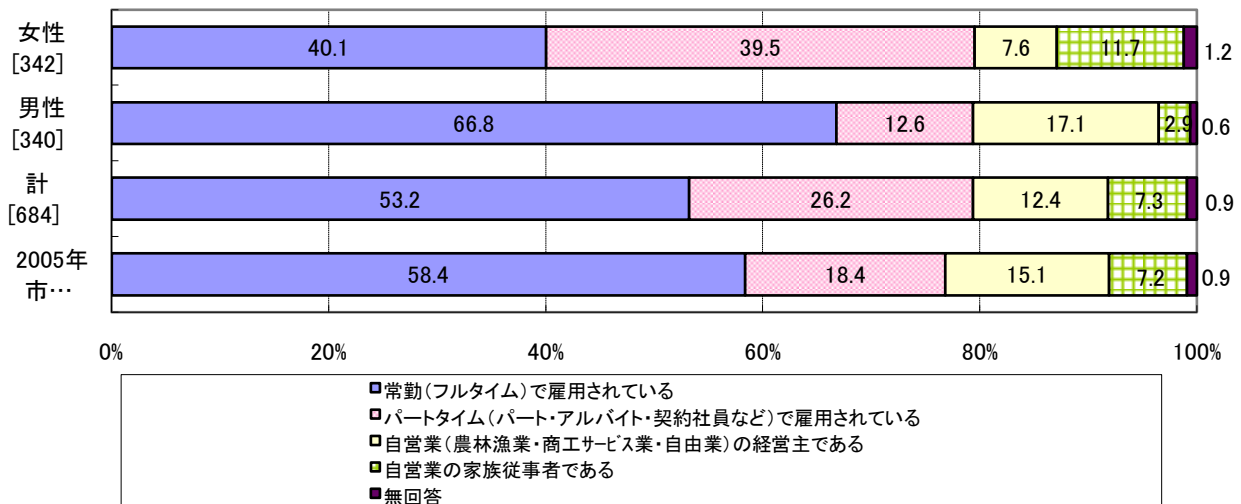
問5 あなた自身は、現在何らかの仕事をしていますか。病気や育児、介護などで一時休業している場合も、仕事をしているものとみなします。次の中から1つ選んで○をつけてください。

|                              | 女性  | 男性  | 全体    |
|------------------------------|-----|-----|-------|
| ずっと仕事をしている                   | 235 | 305 | 541   |
| ずっと仕事をしていない                  | 70  | 41  | 112   |
| 以前は仕事をしていたが、今はやめている          | 231 | 138 | 372   |
| 以前は仕事をしていなかったが、今はしている        | 20  | 3   | 23    |
| 以前仕事をしていて、一度やめたが、今はまた仕事をしている | 87  | 32  | 120   |
| 無回答                          | 4   | 2   | 6     |
| 計                            | 647 | 521 | 1,174 |



問6 問5で「1. 4. 5.」のいずれかに○をつけた方(現在何らかの仕事をしている方)におたずねします。あなたの雇用形態は、次のどれにあてはまりますか。2つ以上の仕事についているときは、主

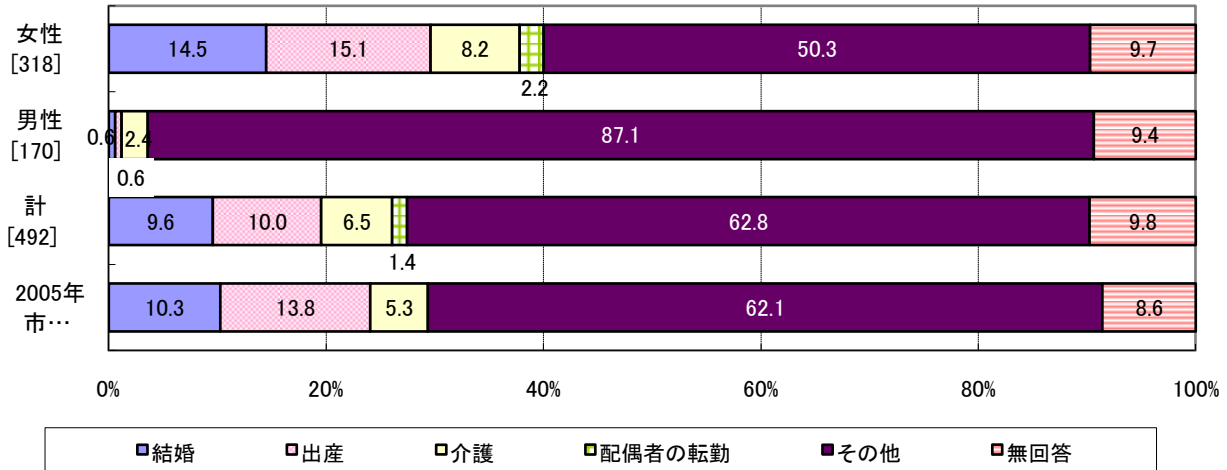
|                                  | 女性  | 男性  | 全体  |
|----------------------------------|-----|-----|-----|
| 常勤(フルタイム)で雇用されている                | 137 | 227 | 364 |
| パートタイム(パート・アルバイト・契約社員など)で雇用されている | 135 | 43  | 179 |
| 自営業(農林漁業・商工サービス業・自由業)の経営主である     | 26  | 58  | 85  |
| 自営業の家族従事者である                     | 40  | 10  | 50  |
| 無回答                              | 4   | 2   | 6   |
| 計                                | 342 | 340 | 684 |



雇用形態をみると、「常勤(フルタイム)で雇用されている」のは、男性は66.8%と最も高く、女性は40.1%と低い。逆に「パートタイム(パート・アルバイト・契約社員など)で雇用されている」は、女性の方が39.5%と男性12.6%より高くなっている。

問7 問5で「3. 5. 」のいずれかに○をつけた方(仕事をやめたことのある方)におたずねします。あなたが仕事をやめたのは、どのような理由からですか。

|    | 結婚 | 出産 | 介護 | 配偶者の転勤 | その他 | 無回答 | 計   |
|----|----|----|----|--------|-----|-----|-----|
| 女性 | 46 | 48 | 26 | 7      | 160 | 31  | 318 |
| 男性 | 1  | 1  | 4  | 0      | 148 | 16  | 170 |
| 全体 | 47 | 49 | 32 | 7      | 309 | 48  | 492 |

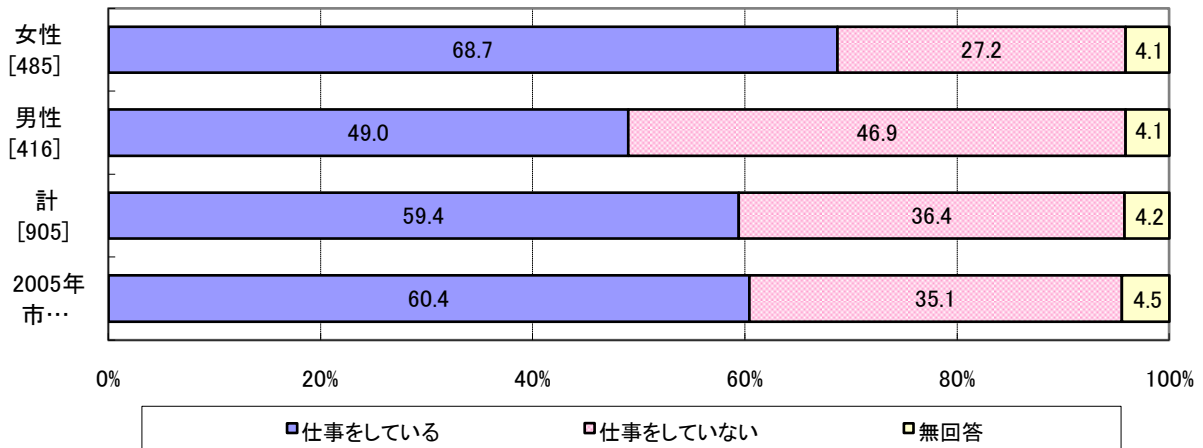


女性が仕事を辞めた理由で最も高いのは「出産」で15.1%、次いで「結婚」14.5%、「介護」8.2%の順となっている。



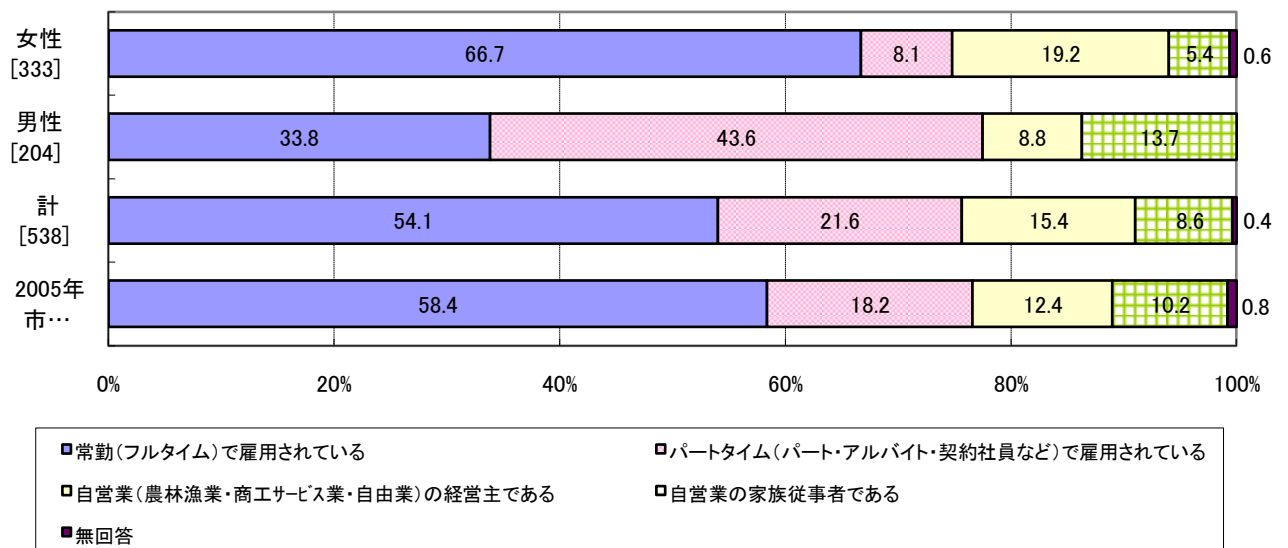
問8 問3で「1. 結婚している」と答えた方におたずねします。あなたの配偶者は、現在何らかの仕事をしていますか。病気や育児、介護などで一時休業している場合も、仕事をしているものとみなします。

|          | 女性  | 男性  | 全体  |
|----------|-----|-----|-----|
| 仕事をしている  | 333 | 204 | 538 |
| 仕事をしていない | 132 | 195 | 329 |
| 無回答      | 20  | 17  | 38  |
| 計        | 485 | 416 | 905 |



問9 問8で配偶者が「1. 仕事をしている」と回答した方におたずねします。配偶者の雇用形態は、次のどれにあてはまりますか。2つ以上の仕事については、主なものを1つ選んで○をつけてく

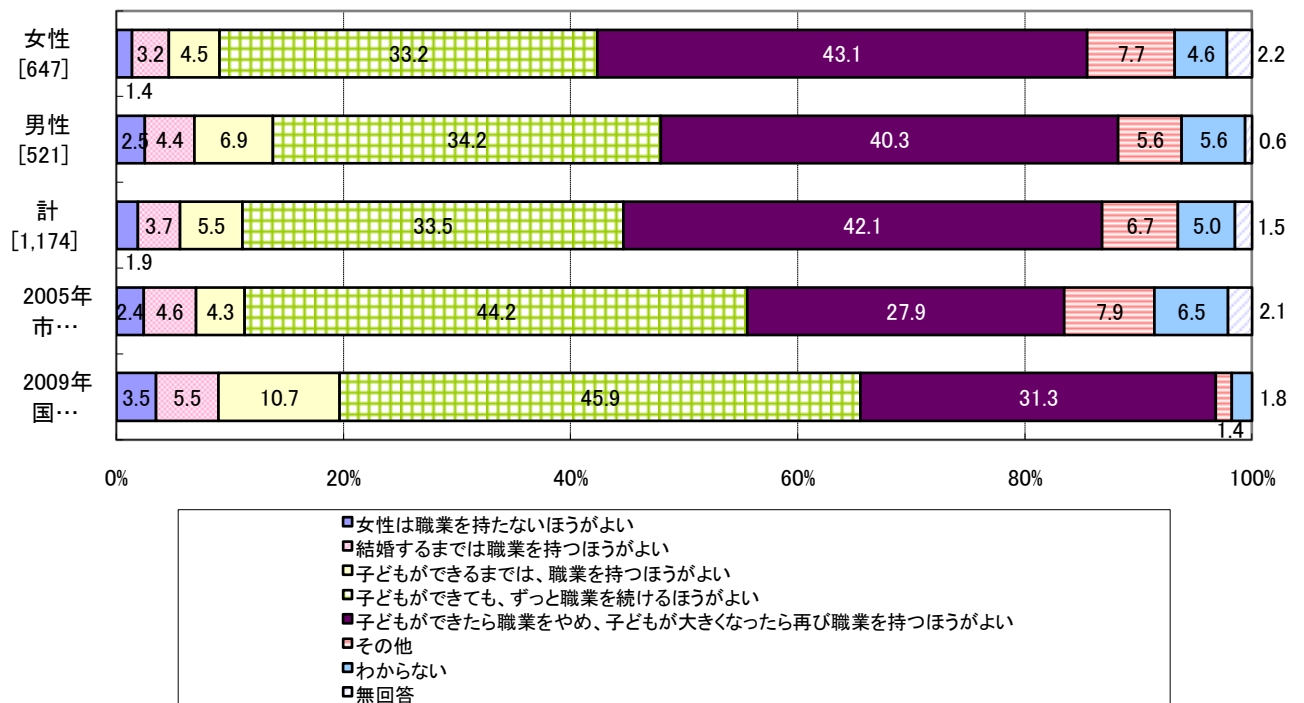
|                                  | 女性  | 男性  | 全体  |
|----------------------------------|-----|-----|-----|
| 常勤(フルタイム)で雇用されている                | 222 | 69  | 291 |
| パートタイム(パート・アルバイト・契約社員など)で雇用されている | 27  | 89  | 116 |
| 自営業(農林漁業・商工サービス業・自由業)の経営主である     | 64  | 18  | 83  |
| 自営業の家族従事者である                     | 18  | 28  | 46  |
| 無回答                              | 2   | 0   | 2   |
| 計                                | 333 | 204 | 538 |



女性の配偶者すなわち男性の雇用形態は、「常勤(フルタイム)で雇用されている」が66.7%と最も高いが、男性の配偶者すなわち女性の雇用形態では、「パートタイム(パートタイム(パート・アルバイト・契約社員など)で雇用されている」が最も高く43.6%を占める。

問10 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つ選んで○をつ

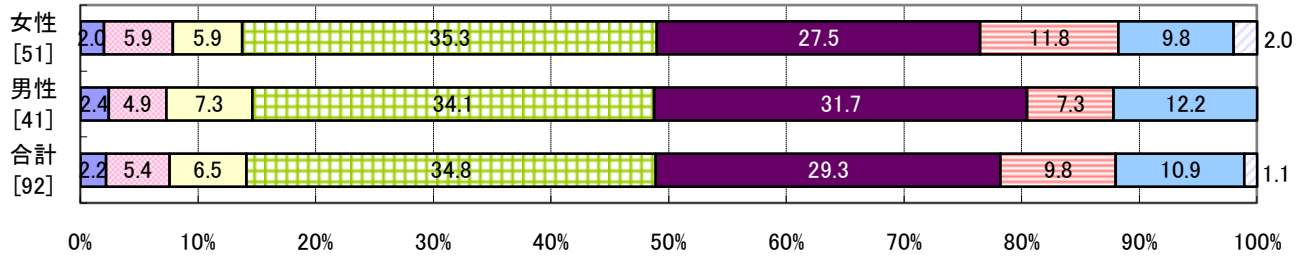
|                                       | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------------------------------------|-----|-----|-------|
| 女性は職業を持たないほうがよい                       | 9   | 13  | 22    |
| 結婚するまでは職業を持つほうがよい                     | 21  | 23  | 44    |
| 子どもができるまでは、職業を持つほうがよい                 | 29  | 36  | 65    |
| 子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい                | 215 | 178 | 393   |
| 子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つほうがよい | 279 | 210 | 494   |
| その他                                   | 50  | 29  | 79    |
| わからない                                 | 30  | 29  | 59    |
| 無回答                                   | 14  | 3   | 18    |
| 計                                     | 647 | 521 | 1,174 |



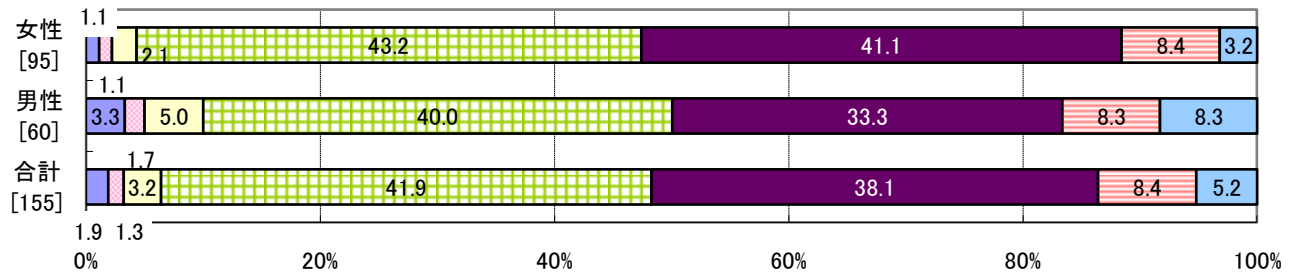
「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つほうがよい」が男女ともにもっとも多く42.1%を占める。次いで「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が33.5%を占めるが、前回調査より10.7%低くなっている。

(問10 年代別)

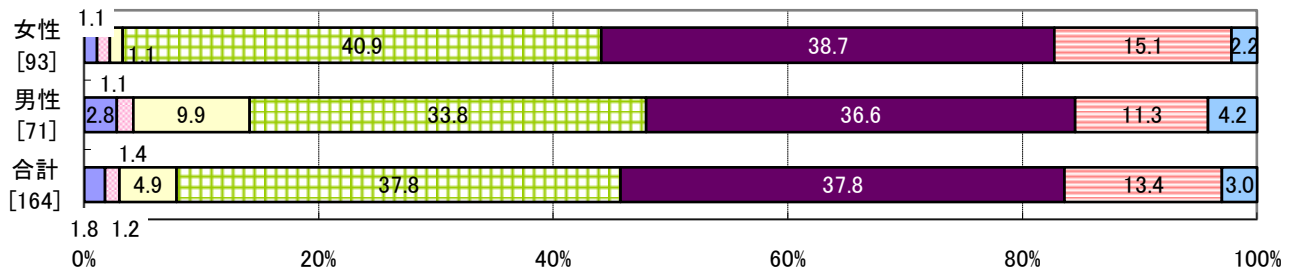
20歳代



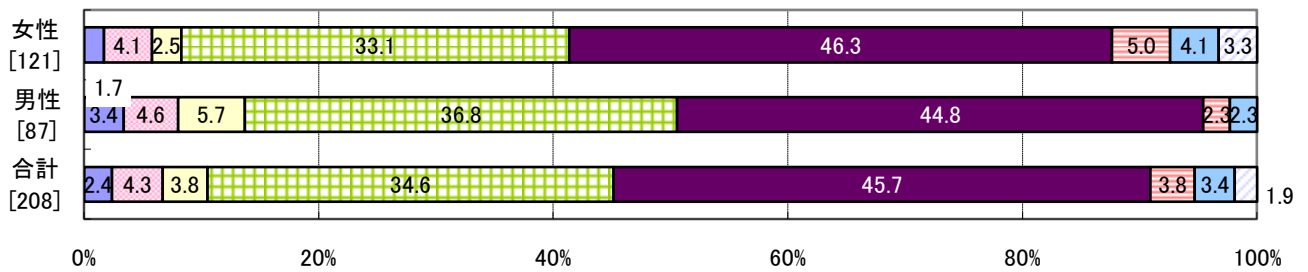
30歳代



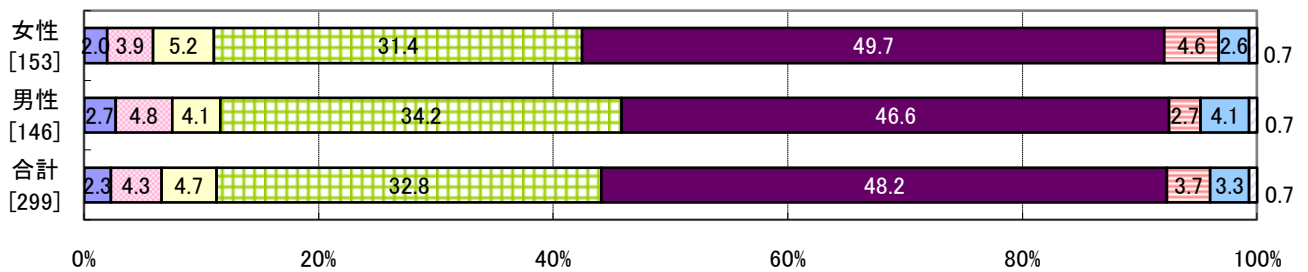
40歳代



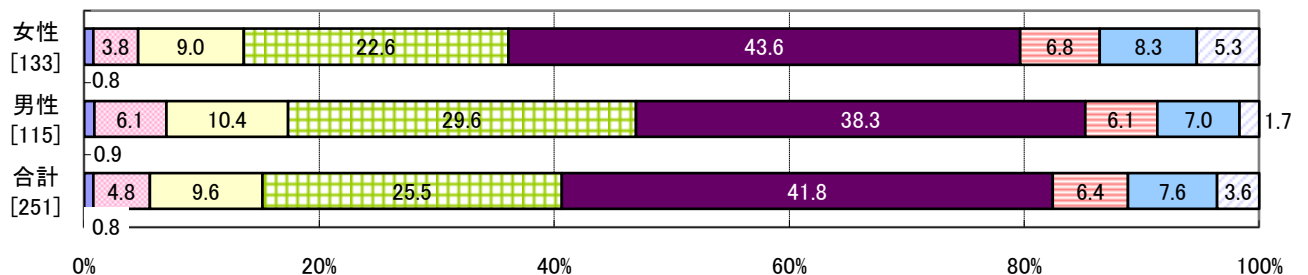
50歳代



60歳代



70歳以上



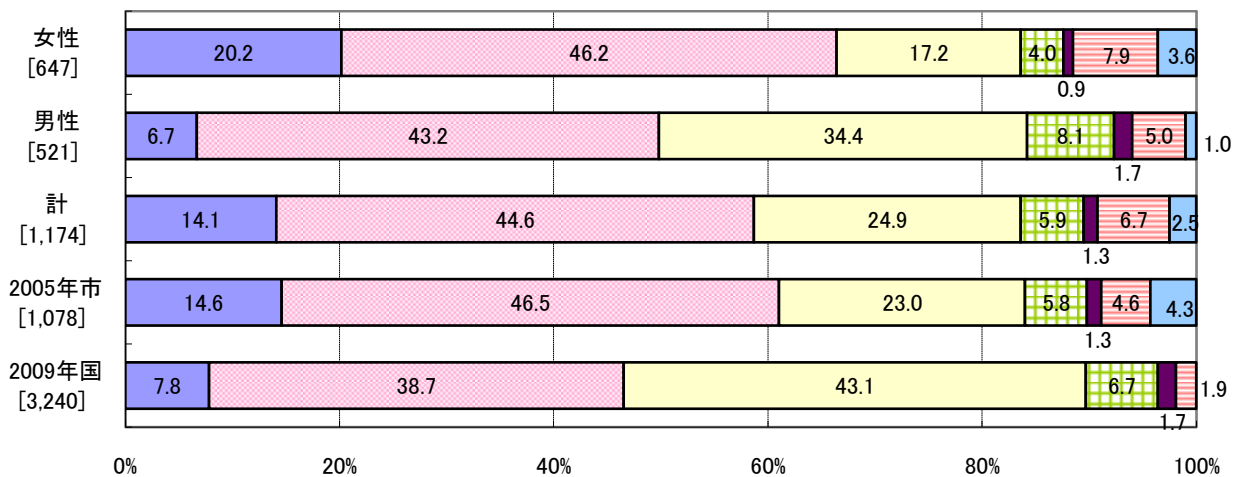
- 女性に職業を持たないほうがよい
- 結婚するまでは職業を持つほうがよい
- 子どもができるまでは、職業を持つほうがよい
- 子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい
- 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- その他
- わからない
- 無回答

# 男女平等について

問11 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)までについて、

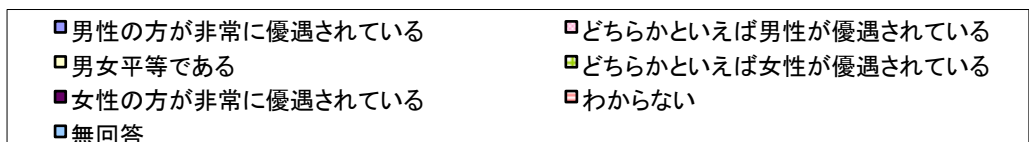
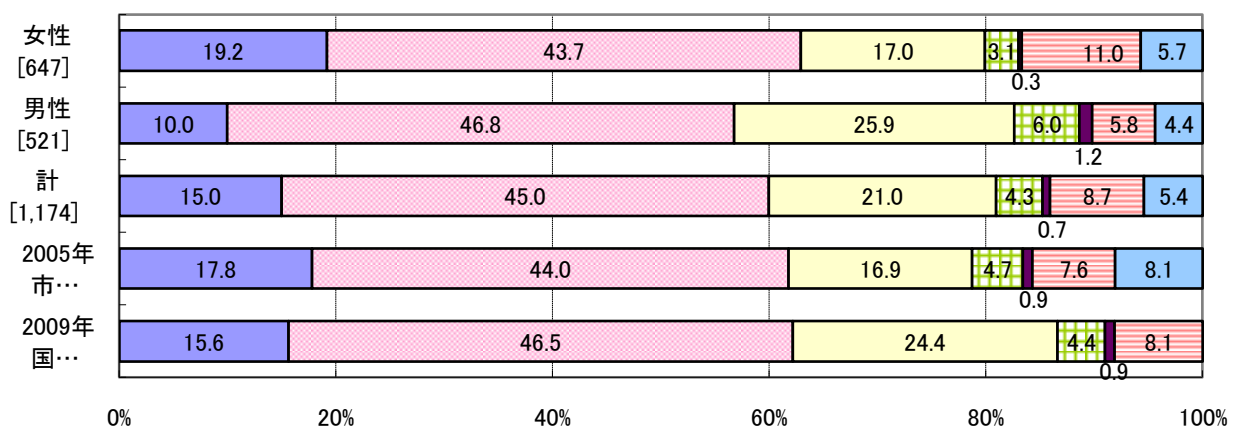
## (ア) 家庭生活

|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 131 | 35  | 166   |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 299 | 225 | 524   |
| 男女平等である            | 111 | 179 | 292   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 26  | 42  | 69    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 6   | 9   | 15    |
| わからない              | 51  | 26  | 79    |
| 無回答                | 23  | 5   | 29    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



## (イ) 職場

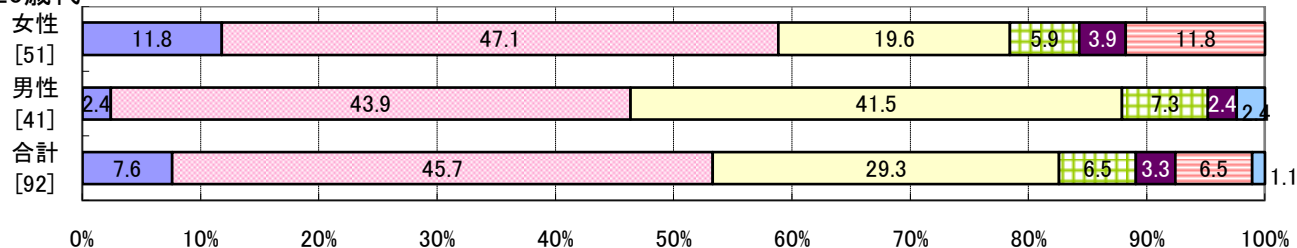
|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 124 | 52  | 176   |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 283 | 244 | 528   |
| 男女平等である            | 110 | 135 | 246   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 20  | 31  | 51    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 2   | 6   | 8     |
| わからない              | 71  | 30  | 102   |
| 無回答                | 37  | 23  | 63    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



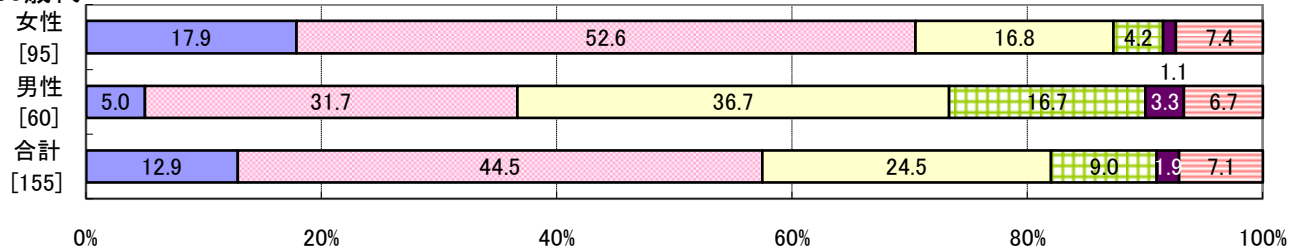
(問11 年代別)

ア 家庭生活

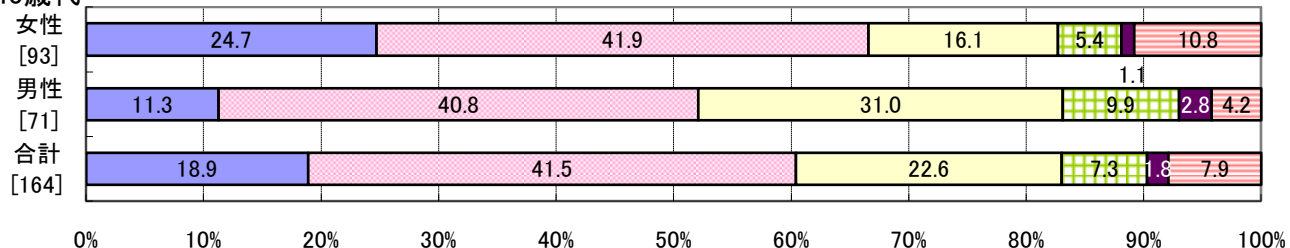
20歳代



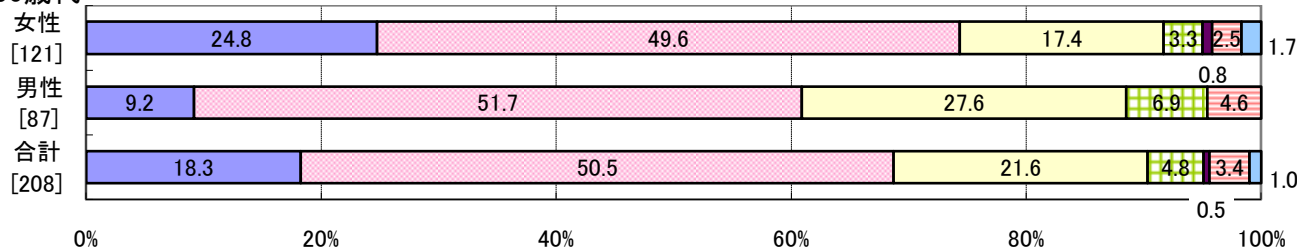
30歳代



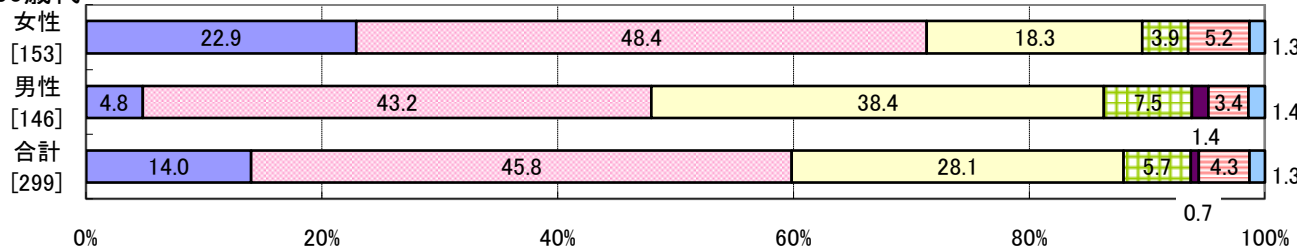
40歳代



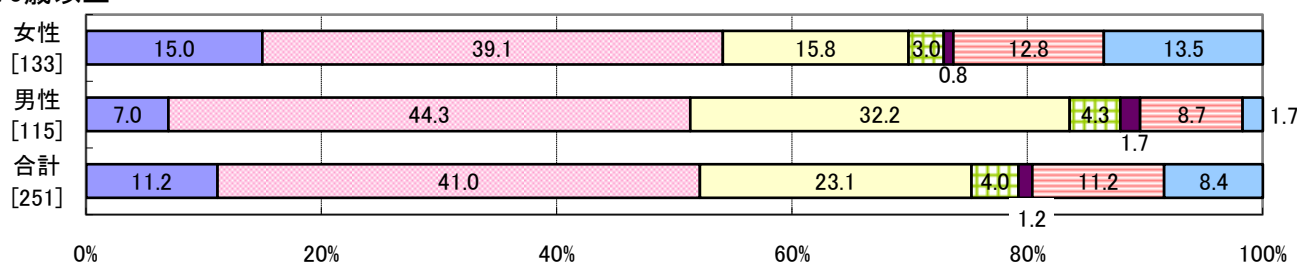
50歳代



60歳代



70歳以上

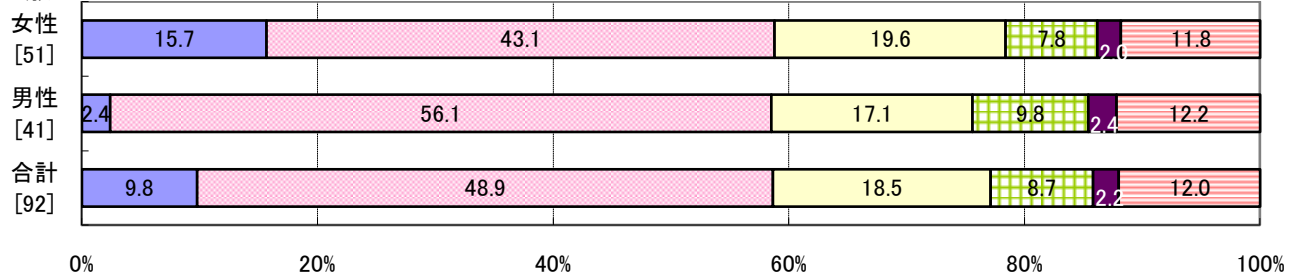


- 男性の方が非常に優遇されている
- 男女平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない

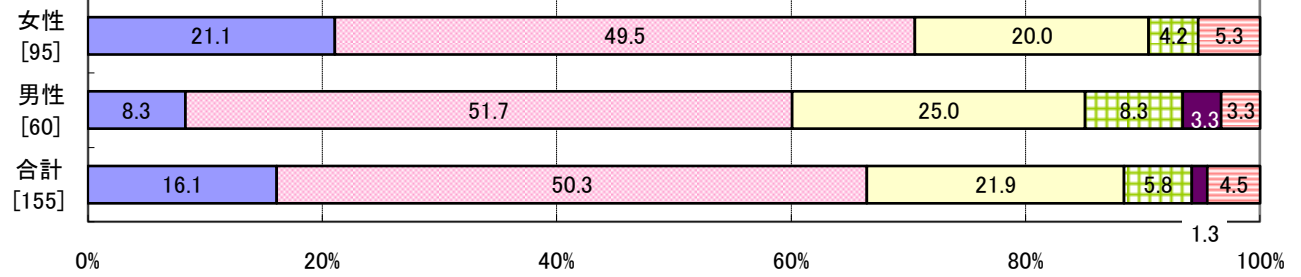
(問11 年代別)

### イ 職場

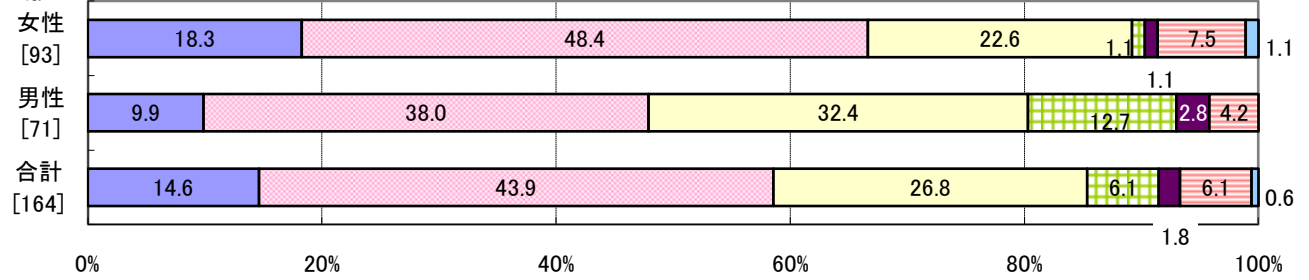
#### 20歳代



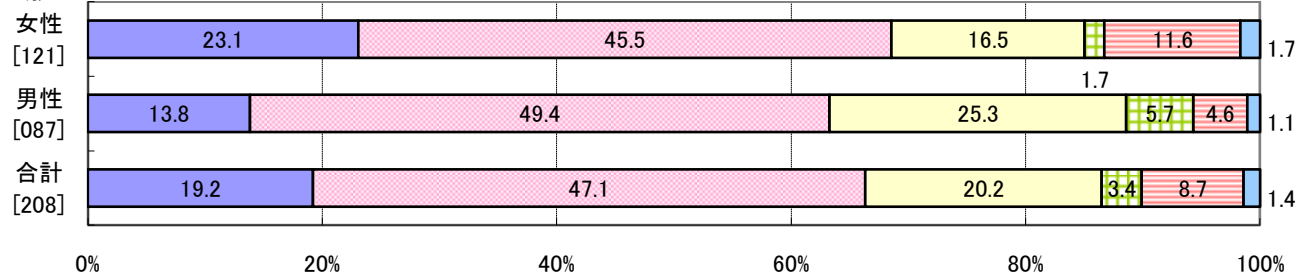
#### 30歳代



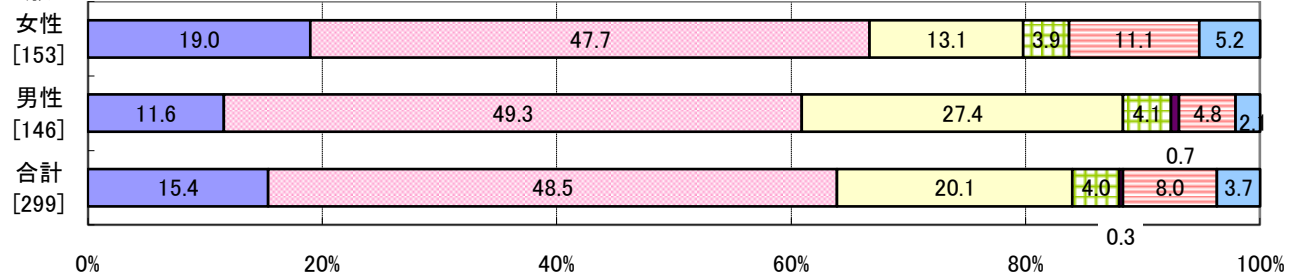
#### 40歳代



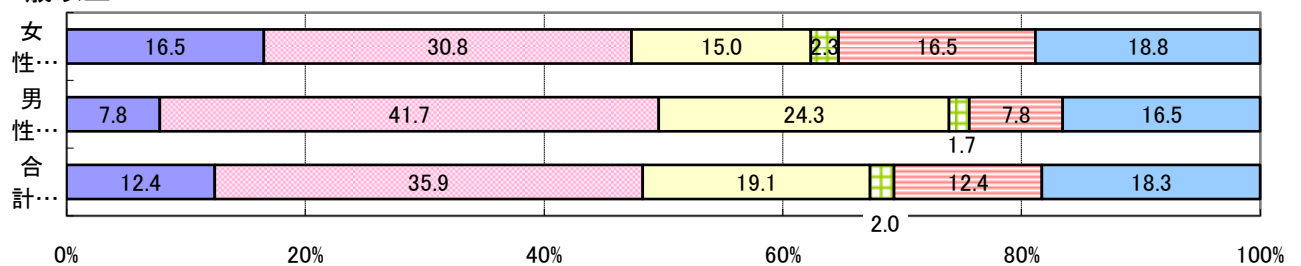
#### 50歳代



#### 60歳代

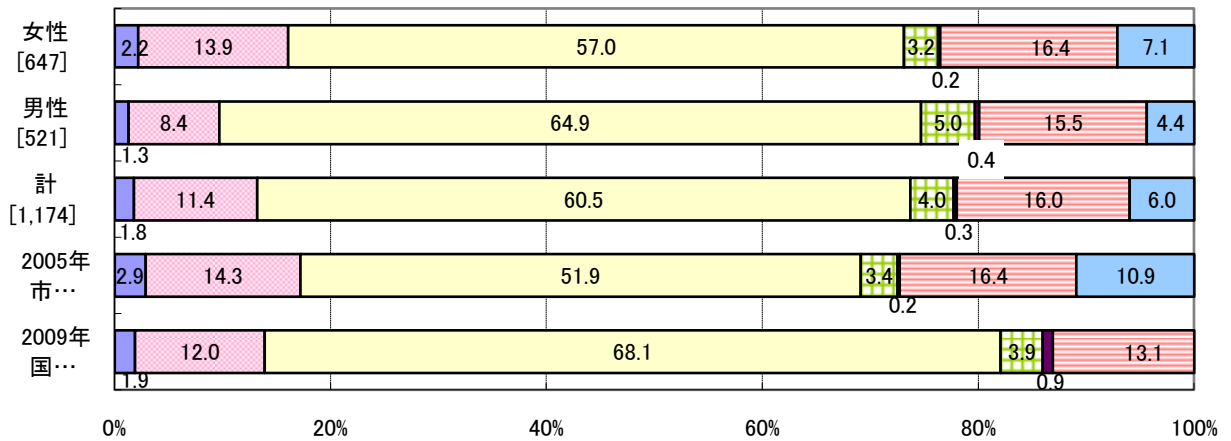


#### 70歳以上



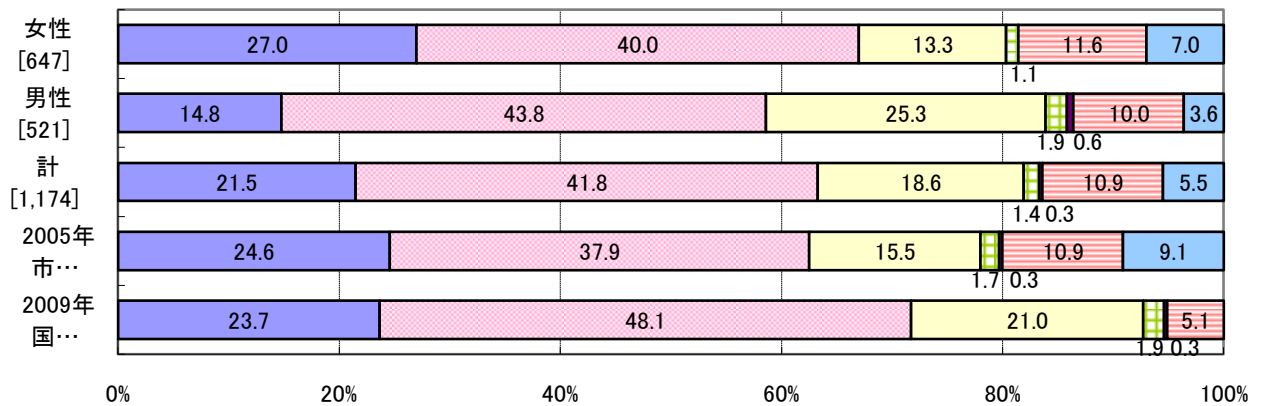
(ウ) 学校教育の場

|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 14  | 7   | 21    |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 90  | 44  | 134   |
| 男女平等である            | 369 | 338 | 710   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 21  | 26  | 47    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 1   | 2   | 4     |
| わからない              | 106 | 81  | 188   |
| 無回答                | 46  | 23  | 70    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



(エ) 政治の場

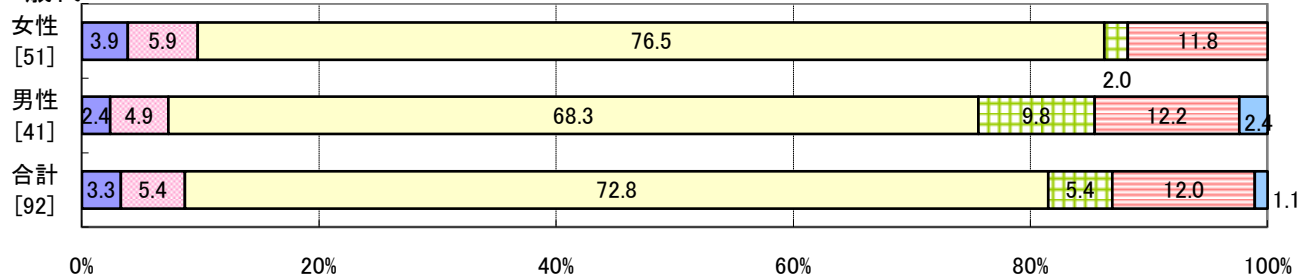
|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 175 | 77  | 252   |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 259 | 228 | 491   |
| 男女平等である            | 86  | 132 | 218   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 7   | 10  | 17    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 0   | 3   | 3     |
| わからない              | 75  | 52  | 128   |
| 無回答                | 45  | 19  | 65    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



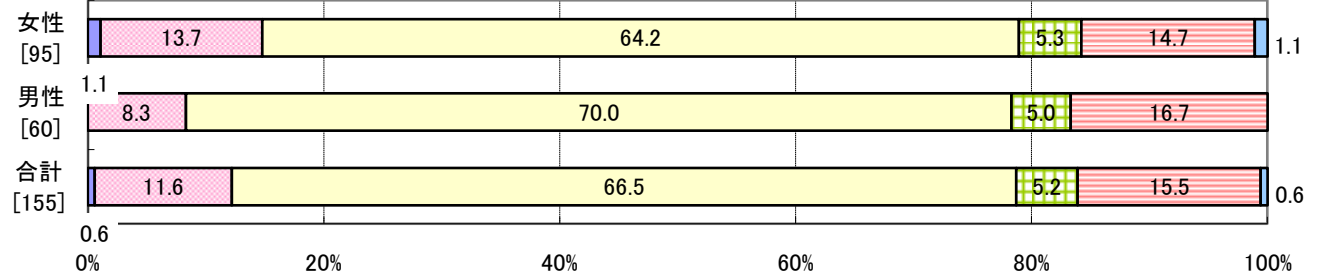
(問11 年代別)

### ウ 学校教育の場

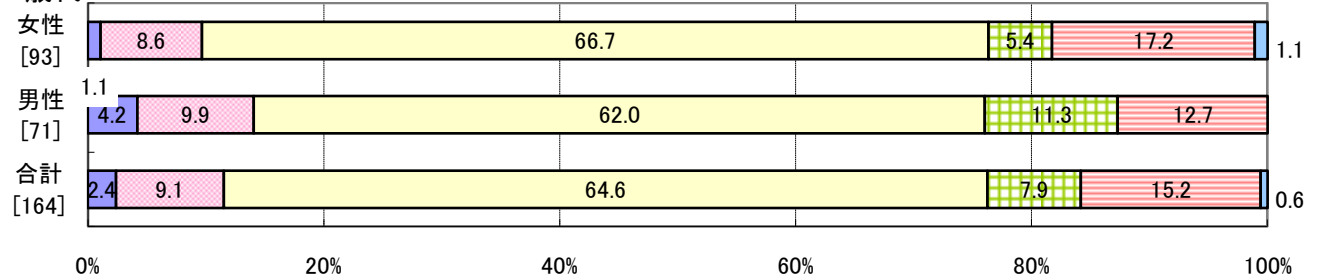
#### 20歳代



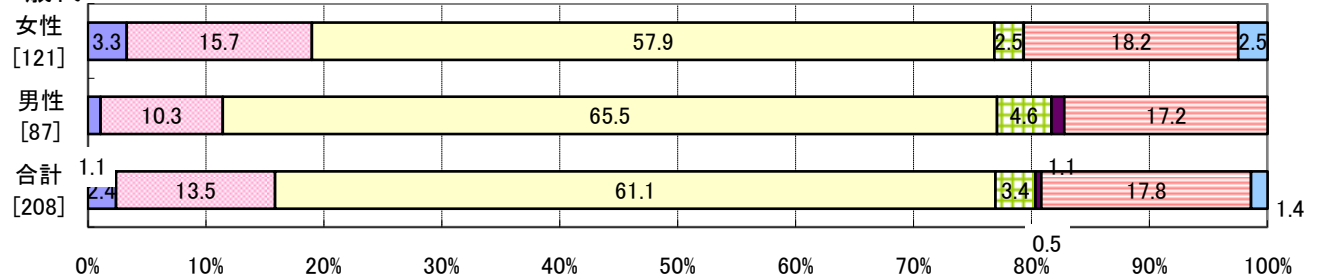
#### 30歳代



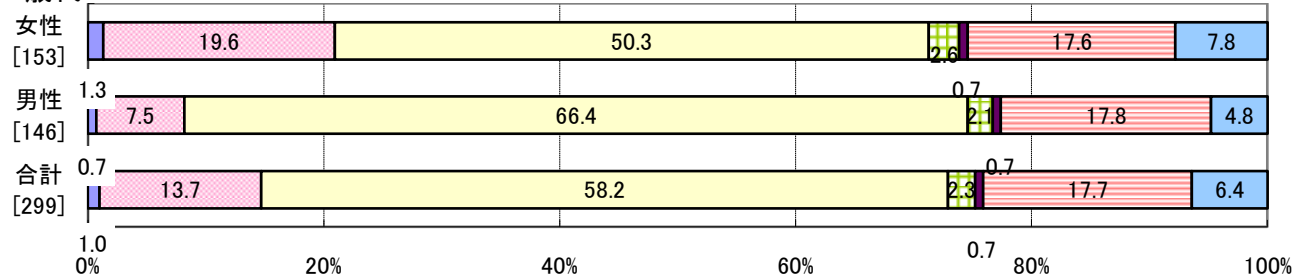
#### 40歳代



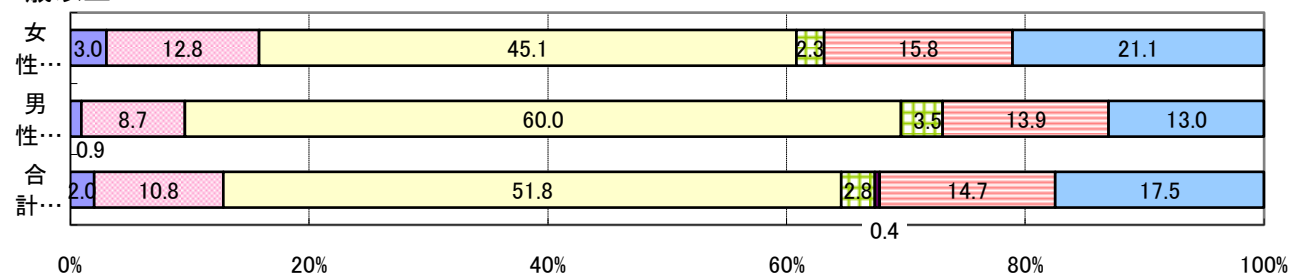
#### 50歳代



#### 60歳代



#### 70歳以上

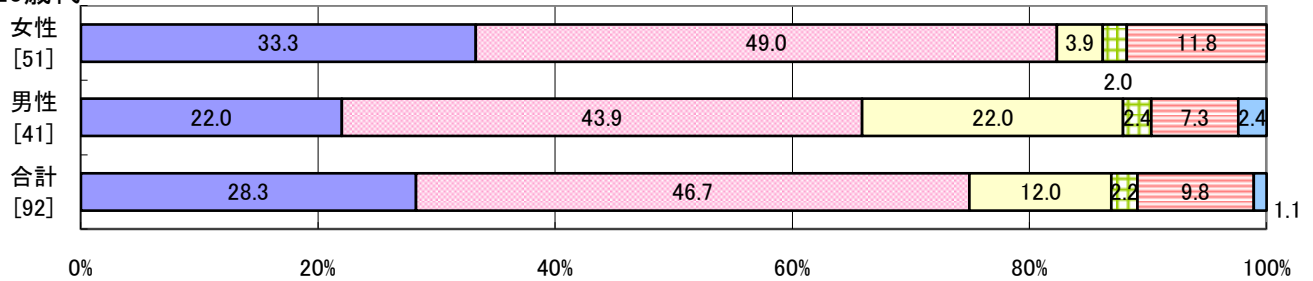




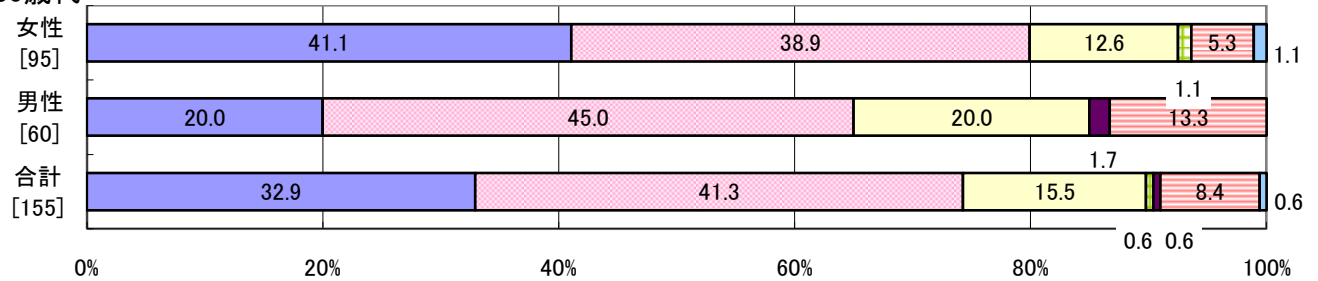
(問11 年代別)

## エ 政治の場

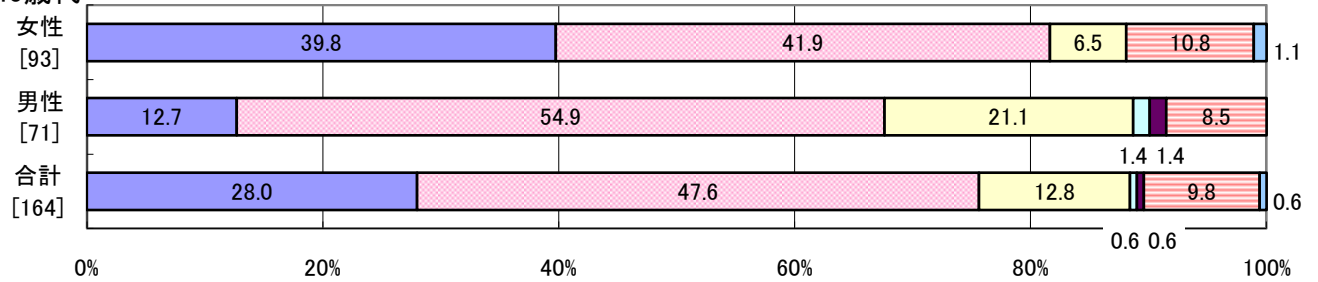
### 20歳代



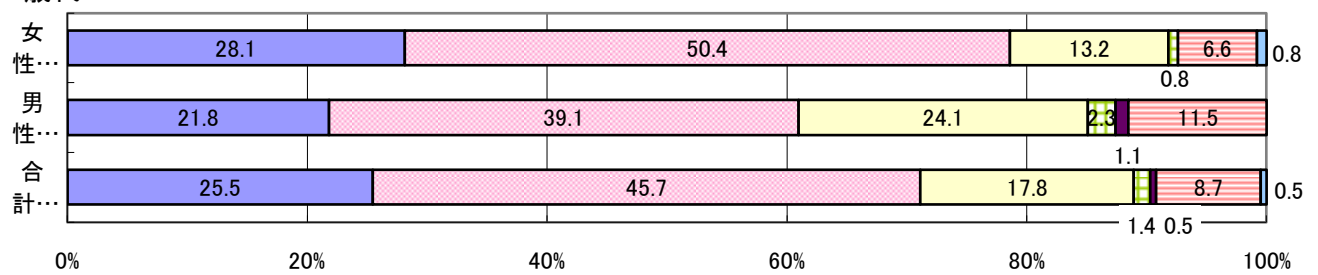
### 30歳代



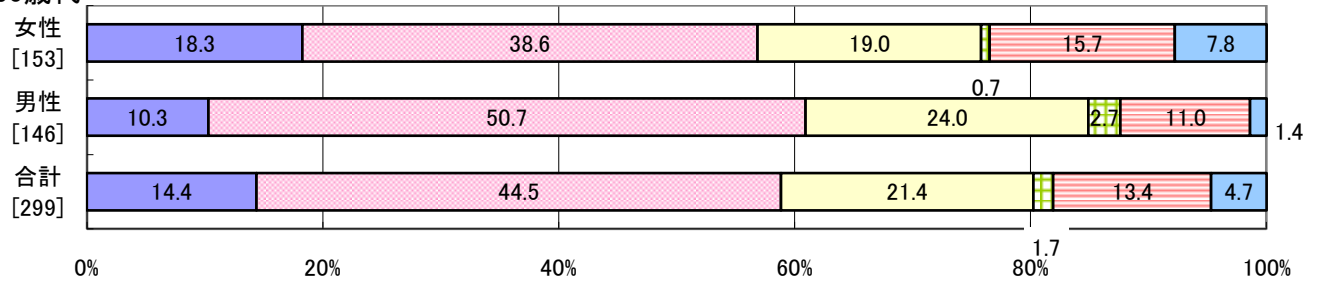
### 40歳代



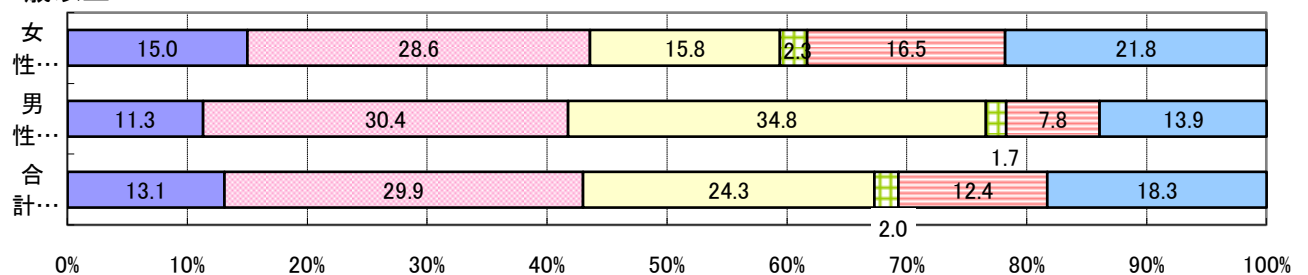
### 50歳代



### 60歳代



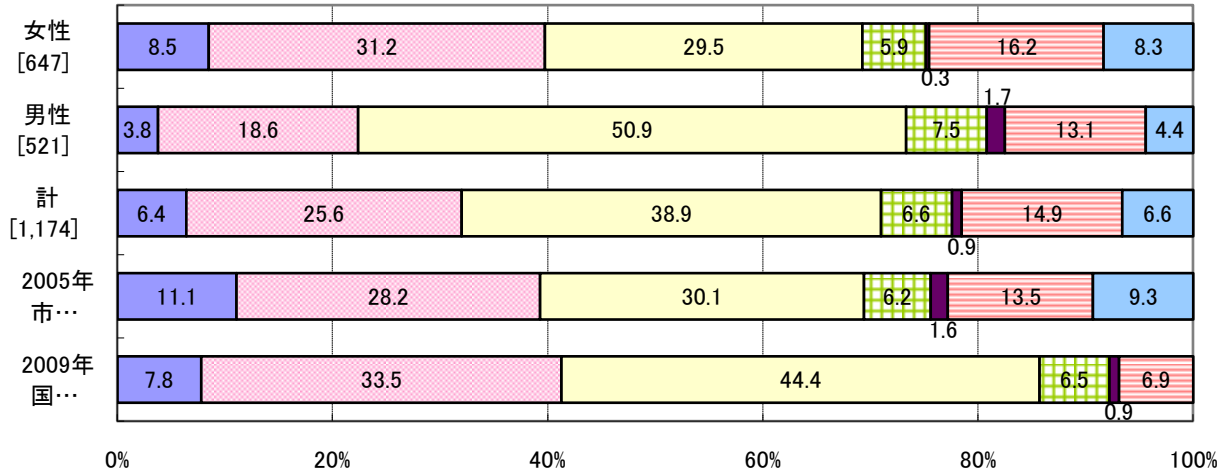
### 70歳以上



- 男性の方が非常に優遇されている
- 男性の方が非常に優遇されている
- 男女平等である
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 無回答
- わからない

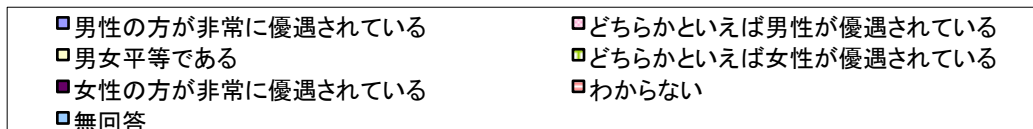
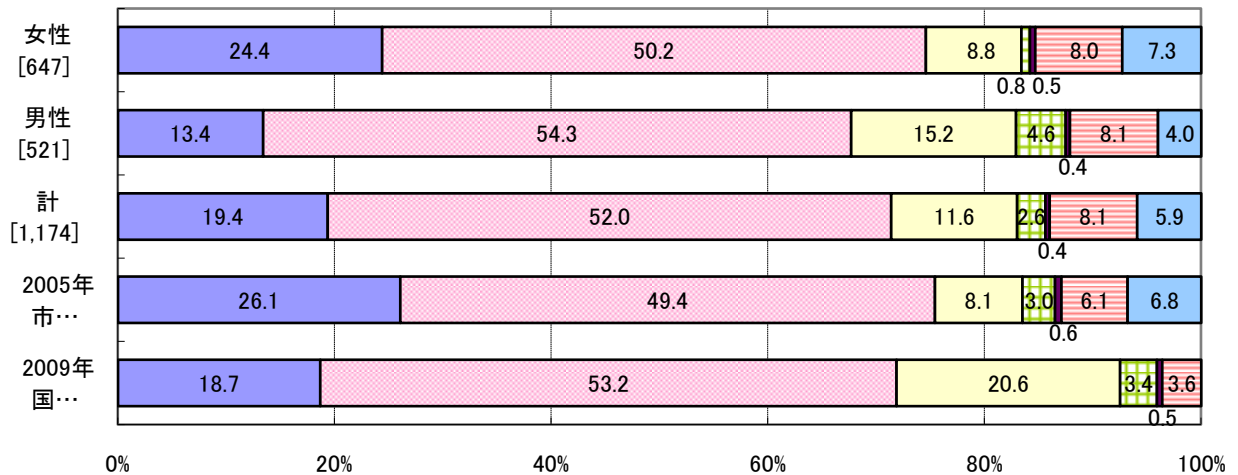
(オ) 法律や制度

|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 55  | 20  | 75    |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 202 | 97  | 301   |
| 男女平等である            | 191 | 265 | 457   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 38  | 39  | 77    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 2   | 9   | 11    |
| わからない              | 105 | 68  | 175   |
| 無回答                | 54  | 23  | 78    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



(カ) 社会通念・慣習・しきたり

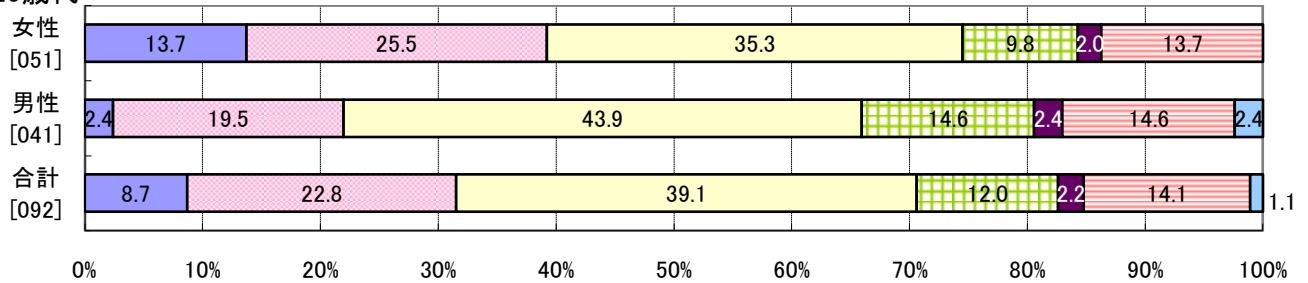
|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 158 | 70  | 228   |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 325 | 283 | 611   |
| 男女平等である            | 57  | 79  | 136   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 5   | 24  | 30    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 3   | 2   | 5     |
| わからない              | 52  | 42  | 95    |
| 無回答                | 47  | 21  | 69    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



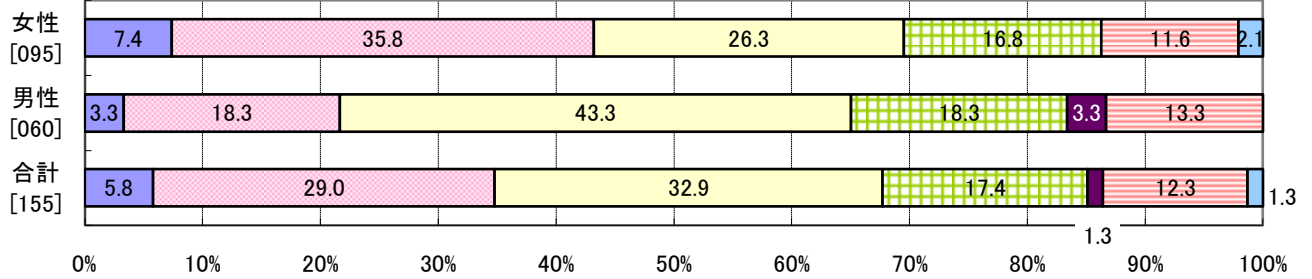
(問11 年代別)

才 法律や制度

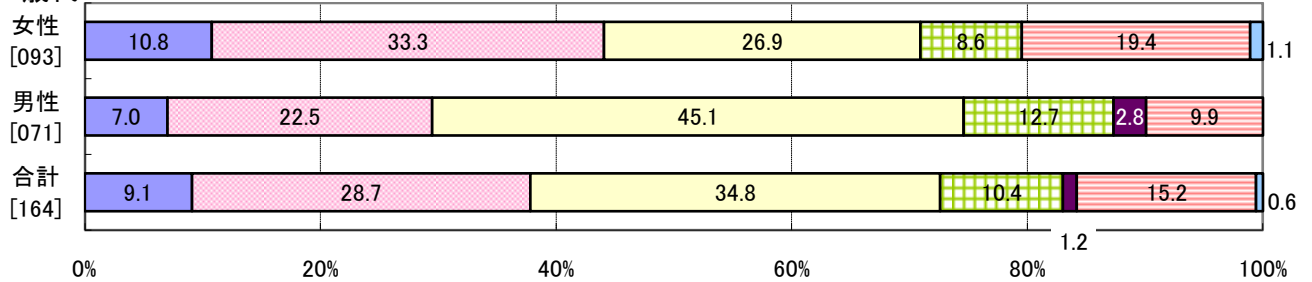
20歳代



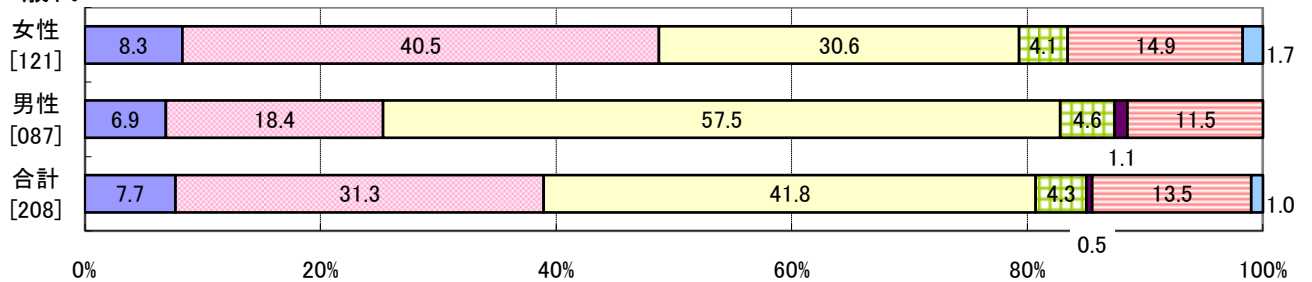
30歳代



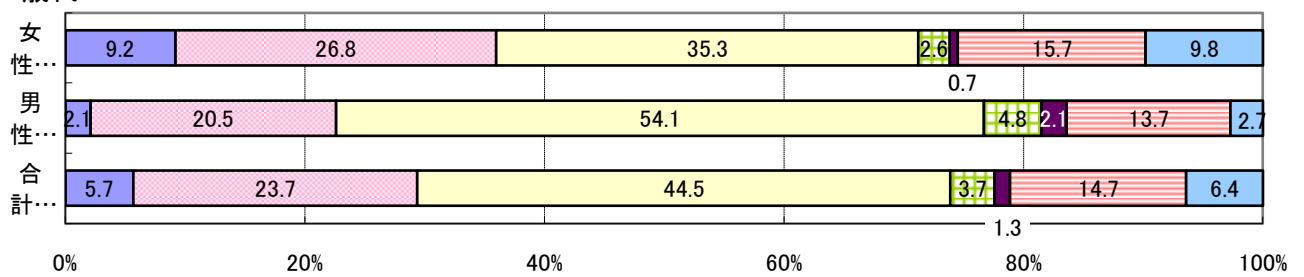
40歳代



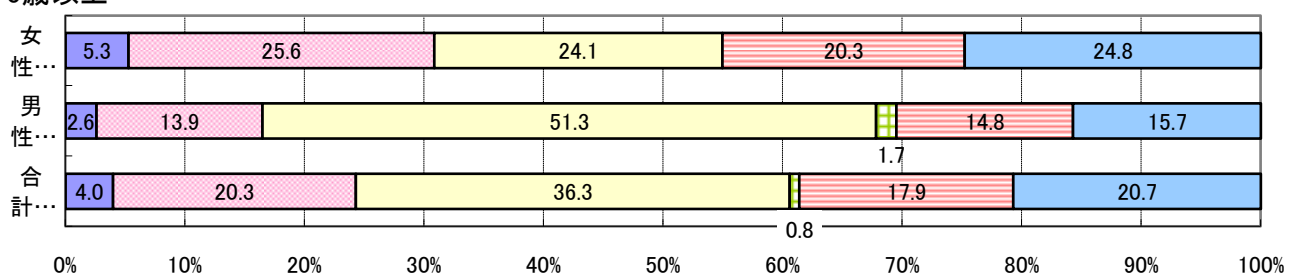
50歳代



60歳代



70歳以上

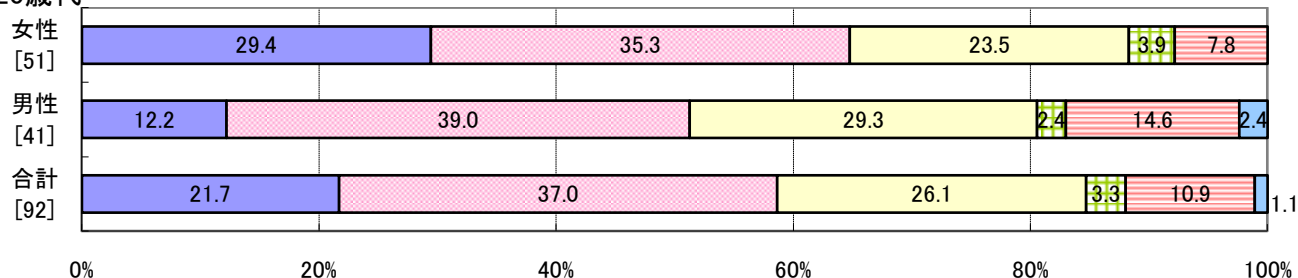


- 男性の方が非常に優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 男女平等である
- わからない
- 無回答

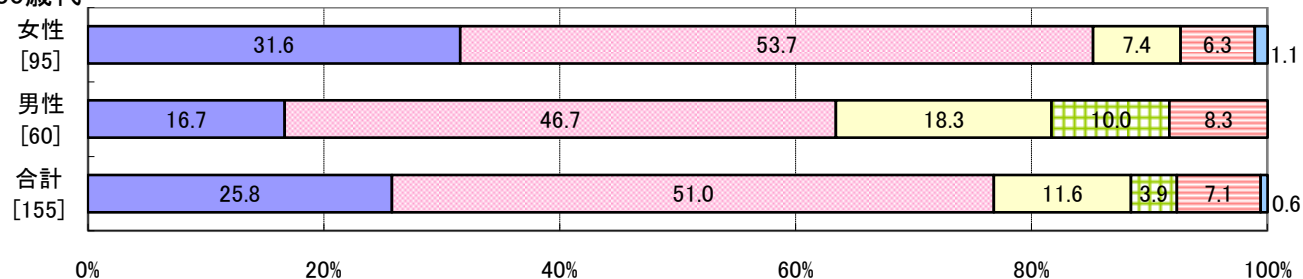
(問11 年代別)

### カ 社会通念・慣習・しきたりなど

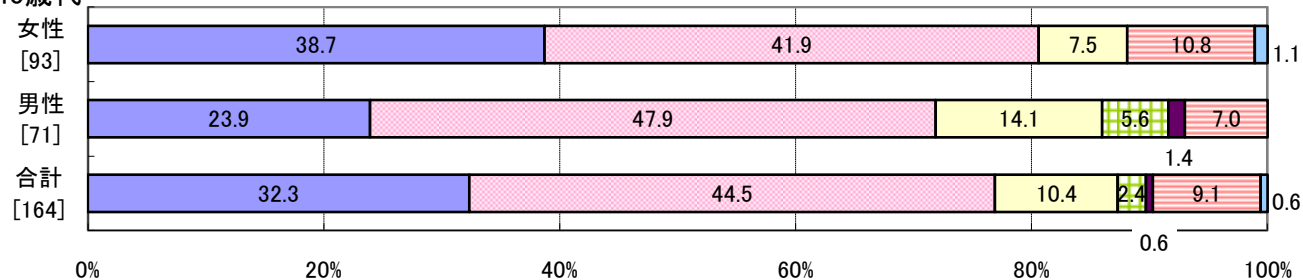
#### 20歳代



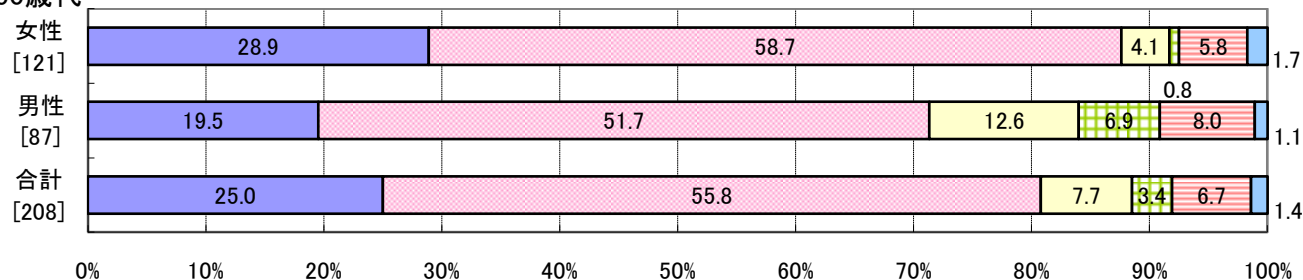
#### 30歳代



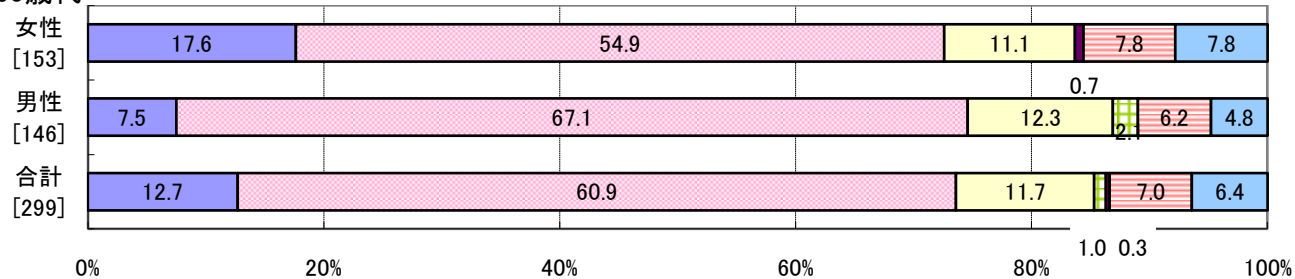
#### 40歳代



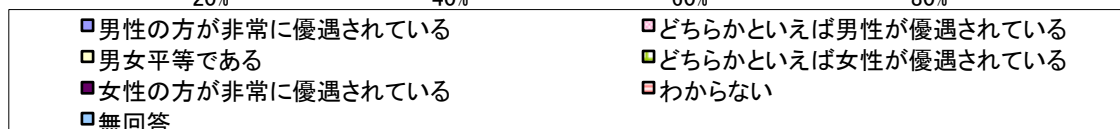
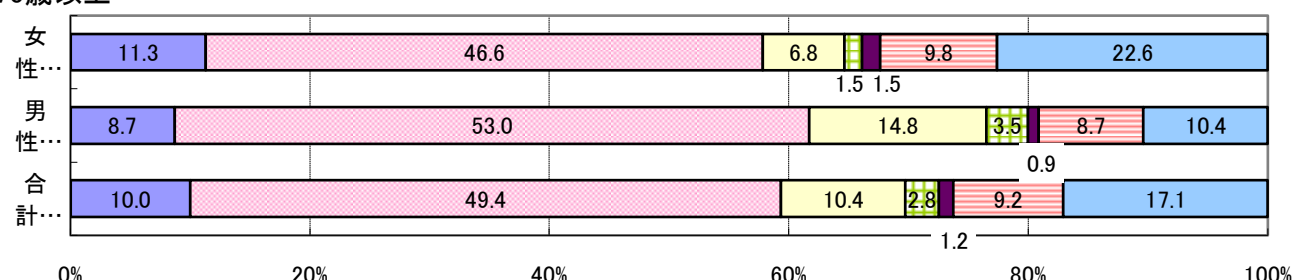
#### 50歳代



#### 60歳代

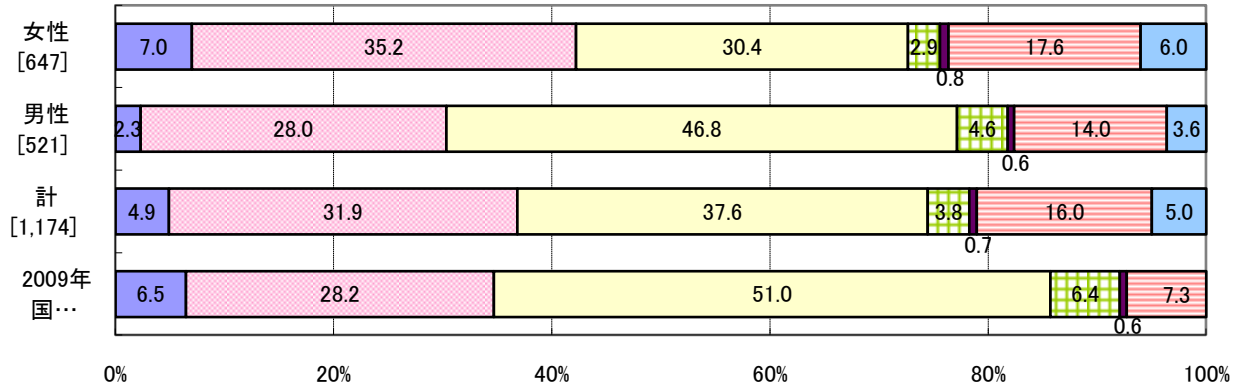


#### 70歳以上



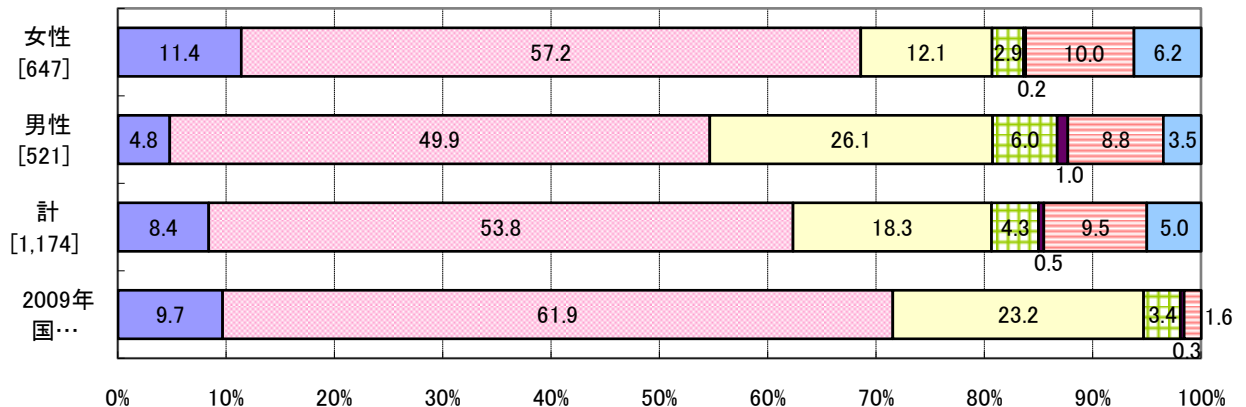
(キ) 自治会やNPOなどの地域活動の場

|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 45  | 12  | 57    |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 228 | 146 | 375   |
| 男女平等である            | 197 | 244 | 442   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 19  | 24  | 45    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 5   | 3   | 8     |
| わからない              | 114 | 73  | 188   |
| 無回答                | 39  | 19  | 59    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



(ク) 社会全体

|                    | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------------|-----|-----|-------|
| 男性の方が非常に優遇されている    | 74  | 25  | 99    |
| どちらかといえば男性が優遇されている | 370 | 260 | 632   |
| 男女平等である            | 78  | 136 | 215   |
| どちらかといえば女性が優遇されている | 19  | 31  | 51    |
| 女性の方が非常に優遇されている    | 1   | 5   | 6     |
| わからない              | 65  | 46  | 112   |
| 無回答                | 40  | 18  | 59    |
| 計                  | 647 | 521 | 1,174 |



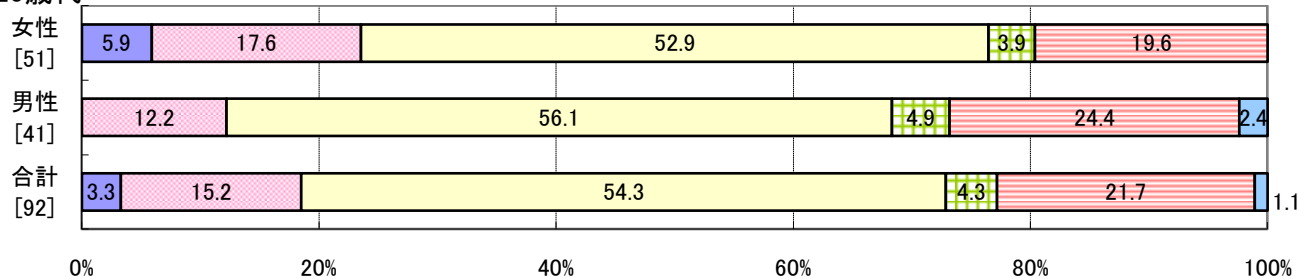
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 男女平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答

全体で「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高いのは、「(カ) 社会通念・慣習・しきたりなど」71.4%、「(エ) 政治の場」63.3%、「(ク) 社会全体」62.2%となっている。一方、「女性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合は、いずれも1割未満となっている。

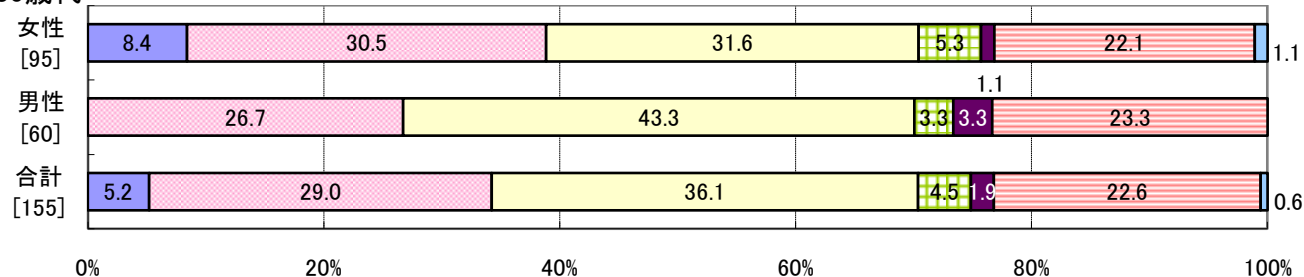
(問11 年代別)

### キ 自治会やNPOなどの地域活動の場

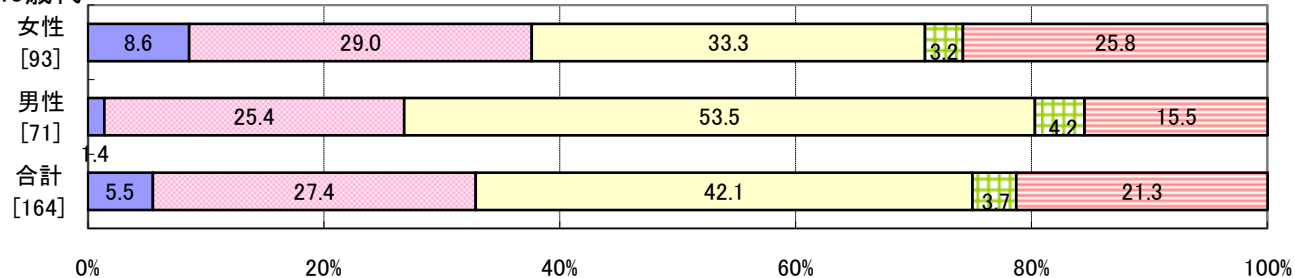
#### 20歳代



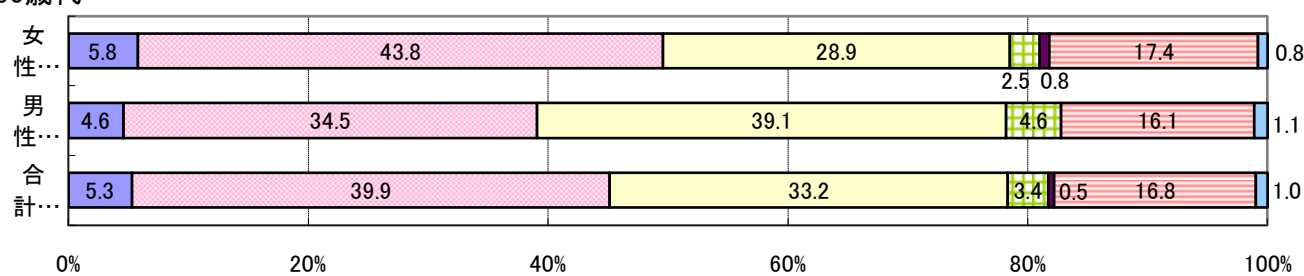
#### 30歳代



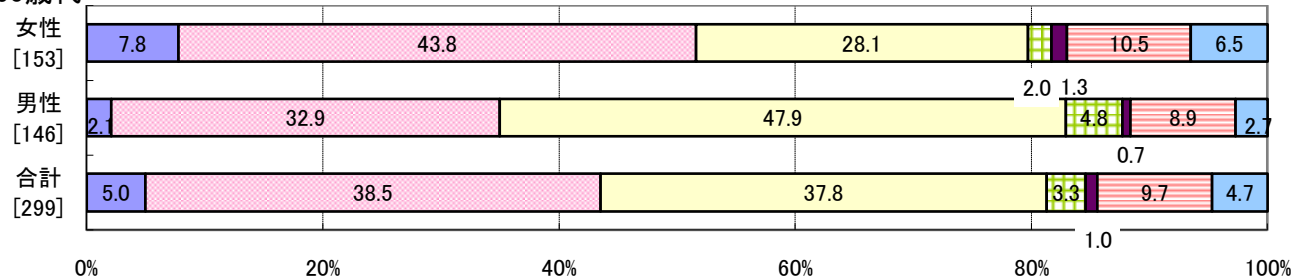
#### 40歳代



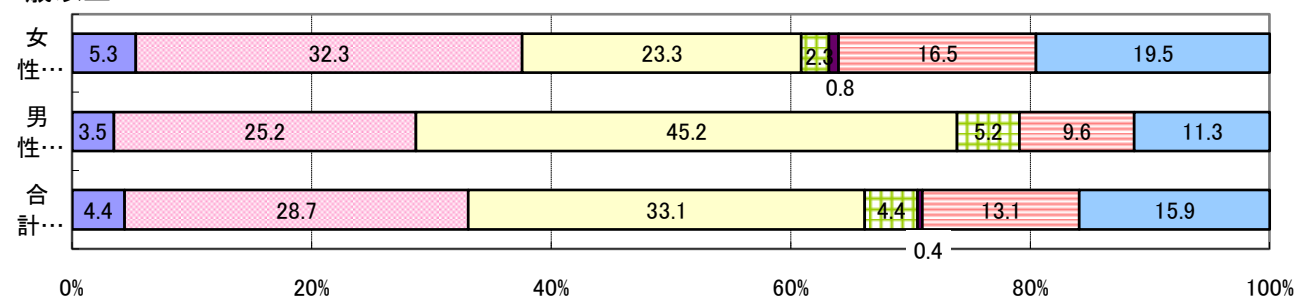
#### 50歳代



#### 60歳代



#### 70歳以上

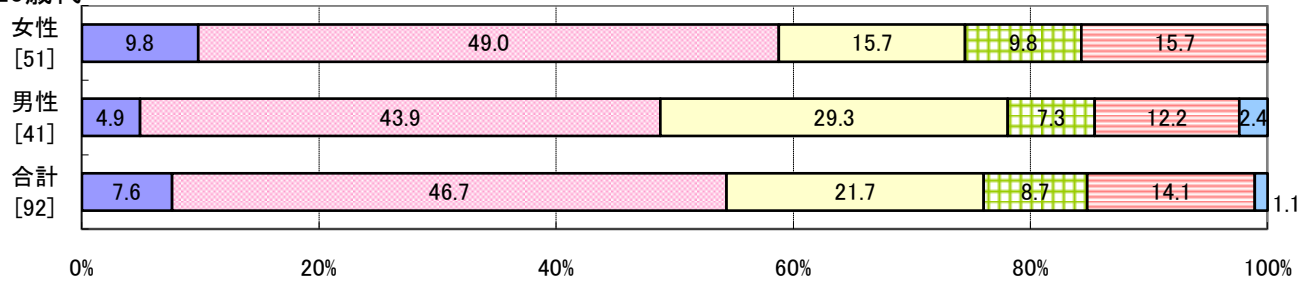


- 男性の方が非常に優遇されている
- 男性の方が非常に優遇されている
- 男女平等である
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

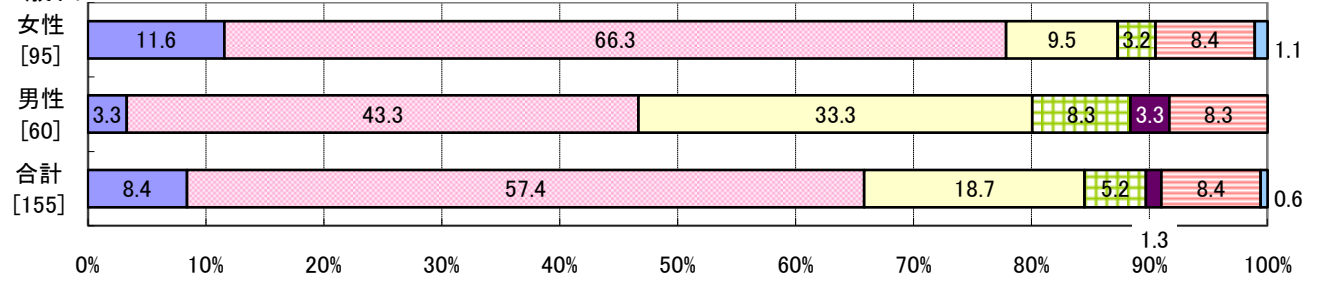
(問11 年代別)

### ク 社会全体

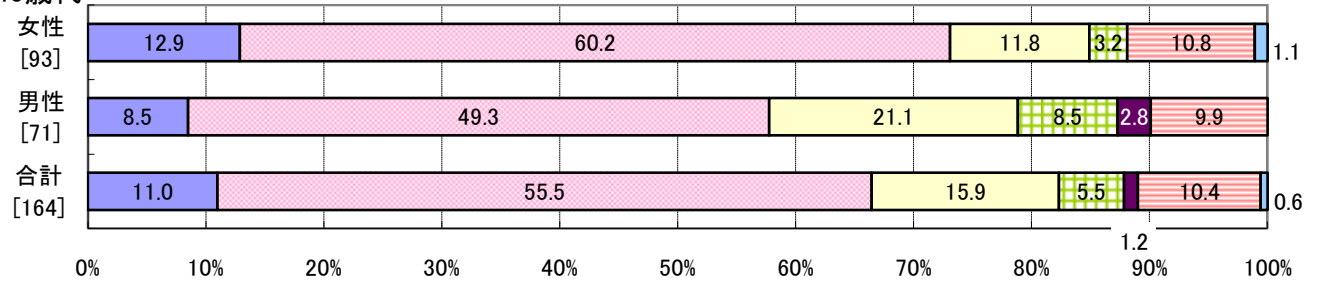
#### 20歳代



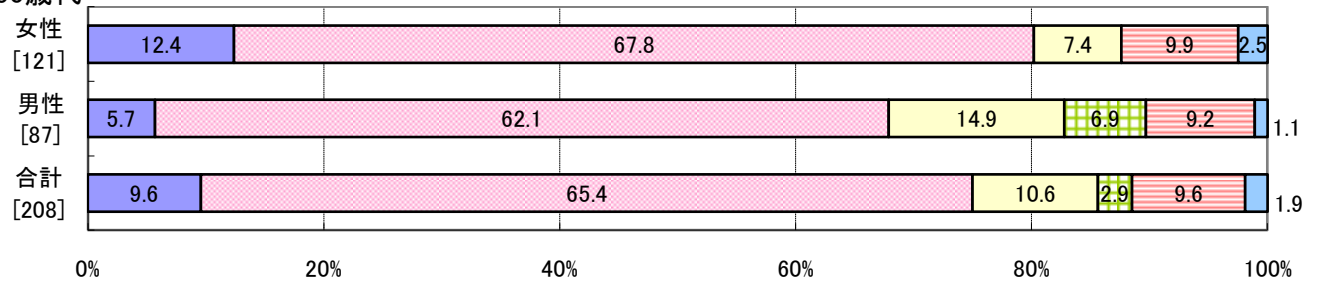
#### 30歳代



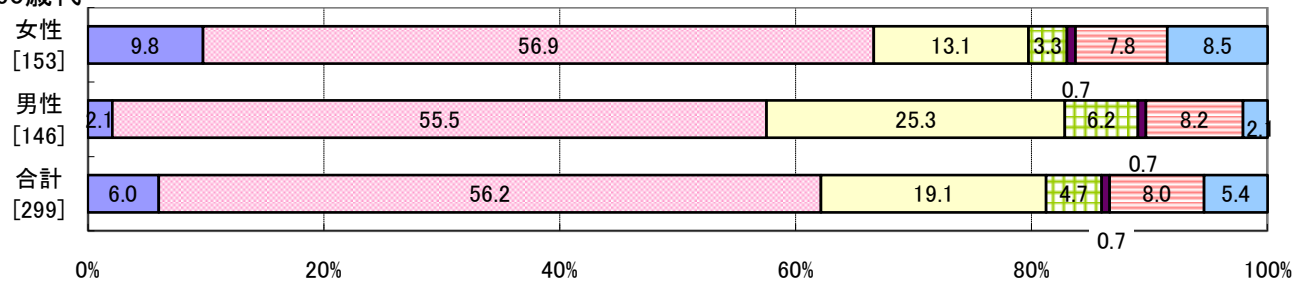
#### 40歳代



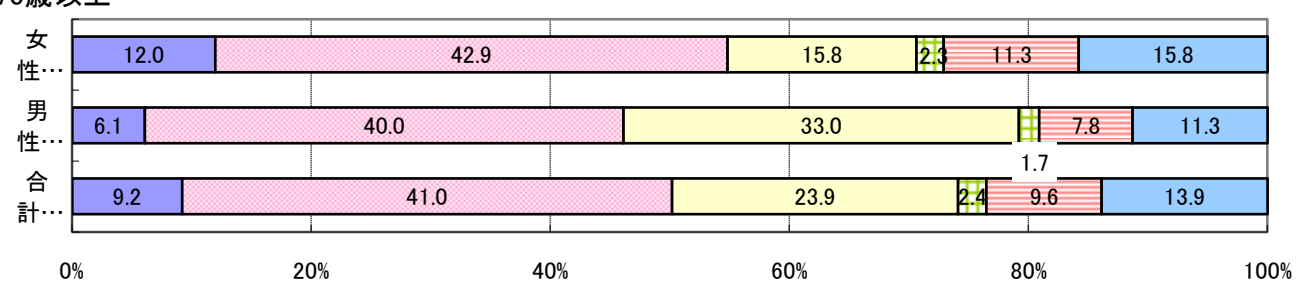
#### 50歳代



#### 60歳代



#### 70歳以上

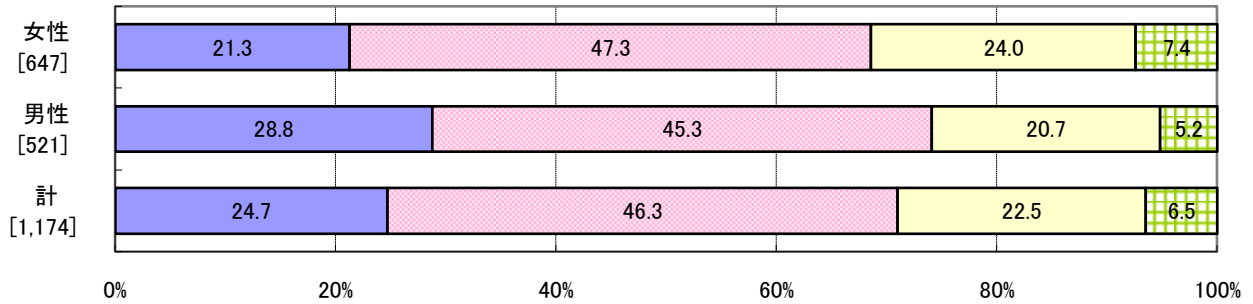


- 男性の方が非常に優遇されている
- 男女平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない

問12 あなたは、男女平等の社会をつくるために、学校教育の場で力を入れることは必要だと思います

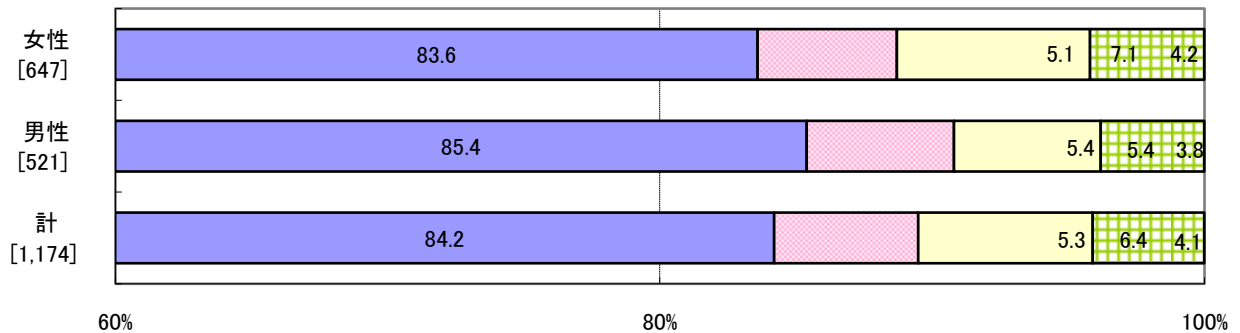
(ア) 男女混合名簿にする

|        | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------|-----|-----|-------|
| 必要だと思う | 138 | 150 | 290   |
| 必要ではない | 306 | 236 | 544   |
| わからない  | 155 | 108 | 264   |
| 無回答    | 48  | 27  | 76    |
| 計      | 647 | 521 | 1,174 |



(イ) 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する

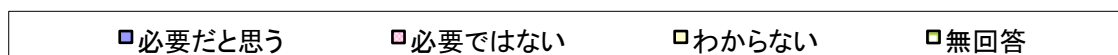
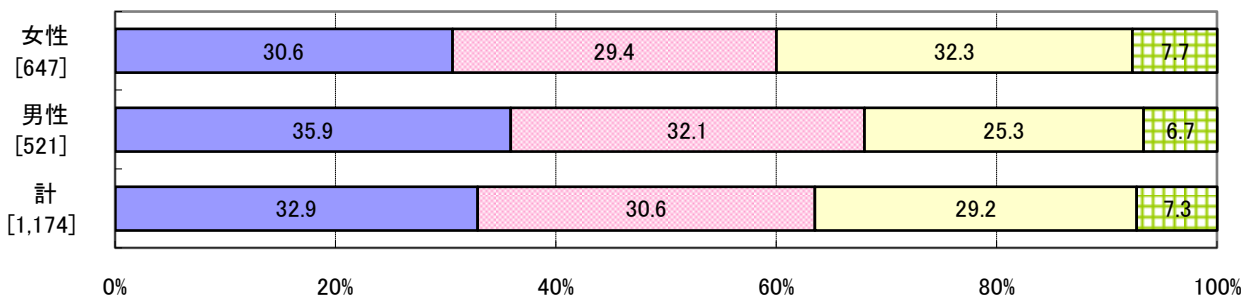
|        | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------|-----|-----|-------|
| 必要だと思う | 541 | 445 | 989   |
| 必要ではない | 33  | 28  | 62    |
| わからない  | 46  | 28  | 75    |
| 無回答    | 27  | 20  | 48    |
| 計      | 647 | 521 | 1,174 |



(ウ) 副読本(\*)等に性別で役割を固定するような表現がないかチェックする

|        | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------|-----|-----|-------|
| 必要だと思う | 198 | 187 | 386   |
| 必要ではない | 190 | 167 | 359   |
| わからない  | 209 | 132 | 343   |
| 無回答    | 50  | 35  | 86    |
| 計      | 647 | 521 | 1,174 |

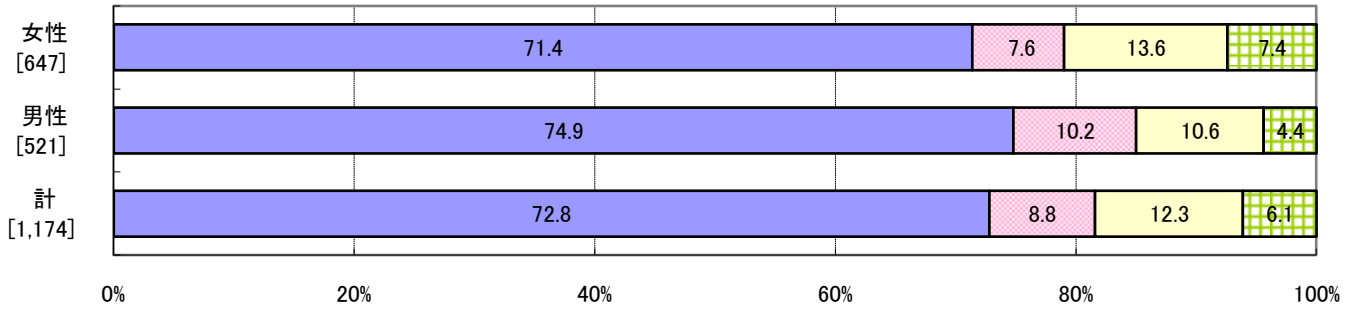
\* 副読本とは教科書を補助する読み物資料のことです。





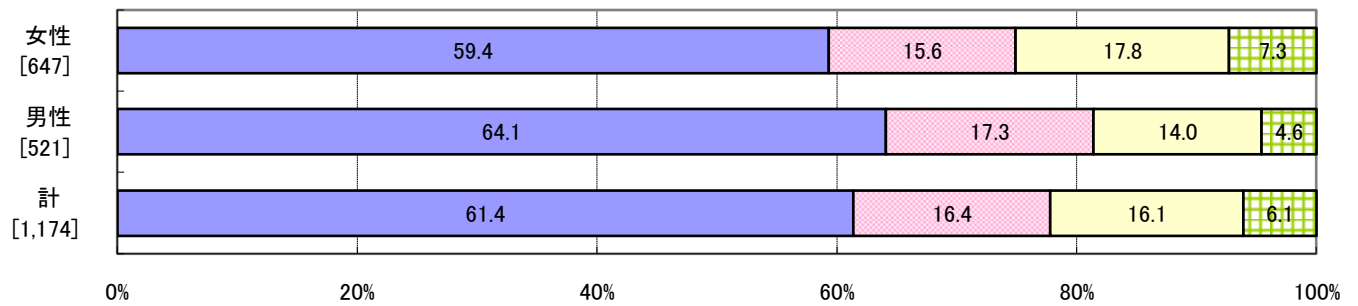
(エ) 男女の平等と相互の理解や協力について学習を充実する

|        | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------|-----|-----|-------|
| 必要だと思う | 462 | 390 | 855   |
| 必要ではない | 49  | 53  | 103   |
| わからない  | 88  | 55  | 144   |
| 無回答    | 48  | 23  | 72    |
| 計      | 647 | 521 | 1,174 |



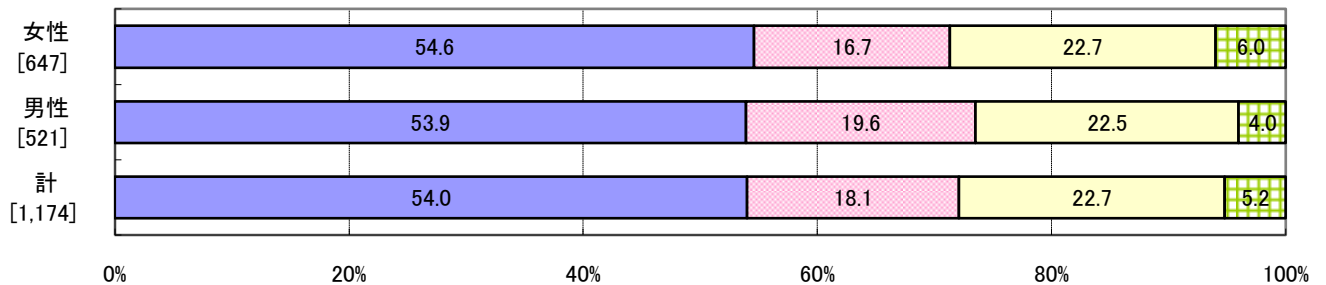
(オ) 教員に男女平等についての研修を推進する

|        | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------|-----|-----|-------|
| 必要だと思う | 384 | 334 | 721   |
| 必要ではない | 101 | 90  | 192   |
| わからない  | 115 | 73  | 189   |
| 無回答    | 47  | 24  | 72    |
| 計      | 647 | 521 | 1,174 |



(カ) 管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく

|        | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------|-----|-----|-------|
| 必要だと思う | 353 | 281 | 634   |
| 必要ではない | 108 | 102 | 213   |
| わからない  | 147 | 117 | 266   |
| 無回答    | 39  | 21  | 61    |
| 計      | 647 | 521 | 1,174 |

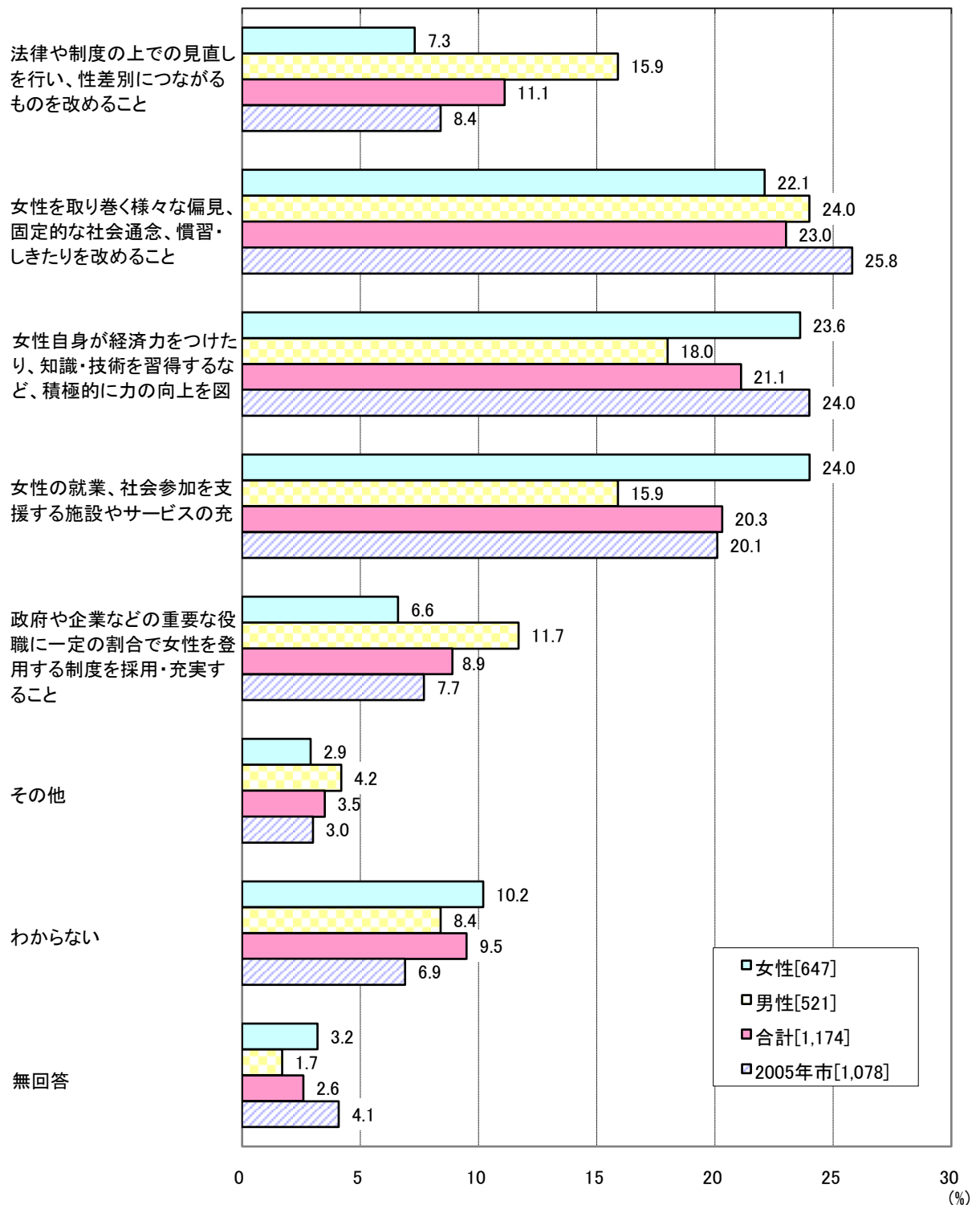


■必要だと思う □必要ではない □わからない ■無回答

学校教育の場で「必要だと思う」の割合が最も高いのは、「(イ) 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の84.2%となっている。次いで「(エ) 男女の平等と相互の理解や協力について学習を充実する」72.8%、「(オ) 教員に男女平等についての研修を推進する」61.4%の順となっている。一方、「必要でない」の割合が高いのは、「(ア) 男女混合名簿にする」46.3%となっている。

問13 今後、社会のあらゆる分野で男女がもっと平等になるために、最も重要なことは何だと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

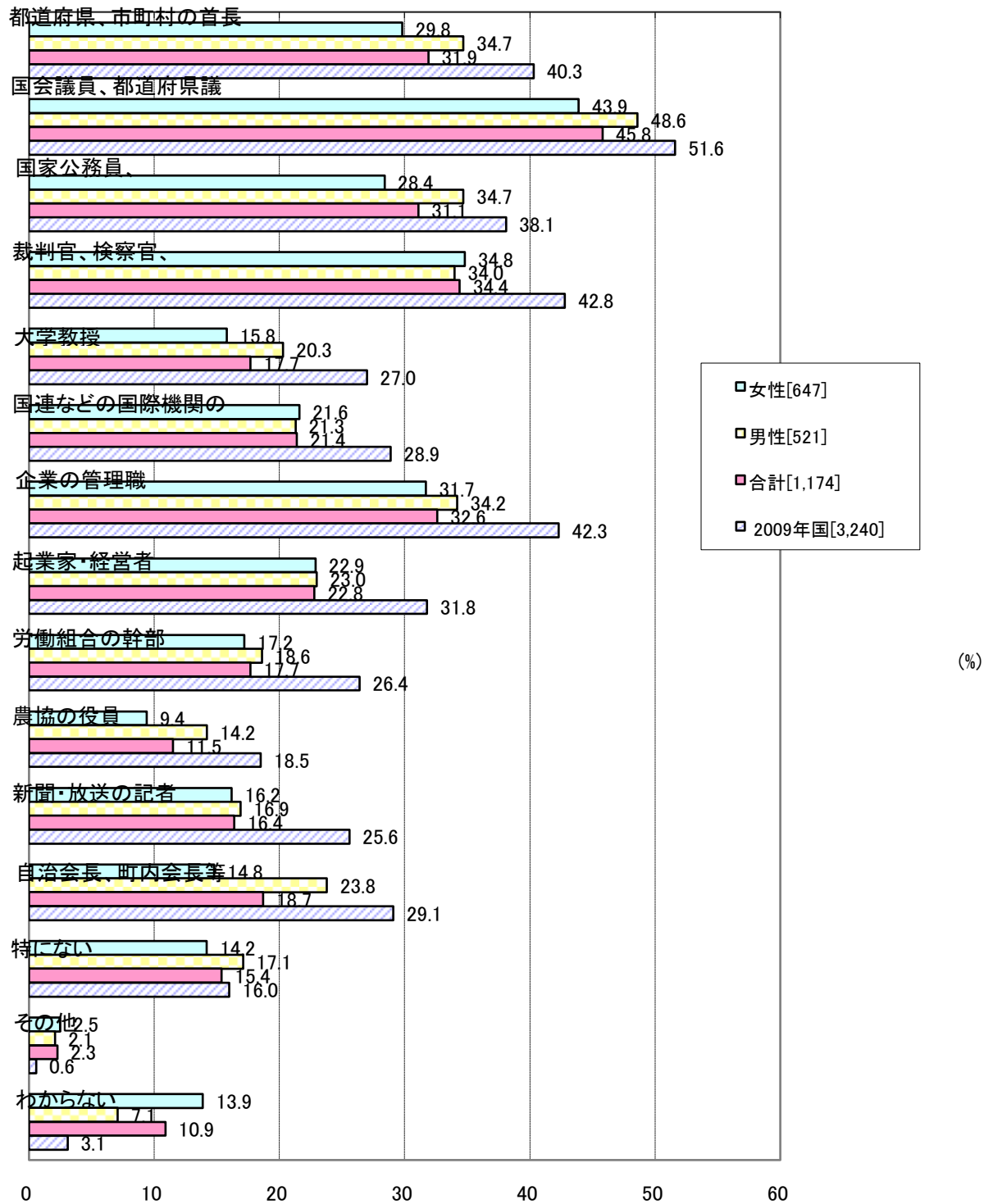
|  | 女性  | 男性  | 全体   |
|--|-----|-----|------|
| 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること         | 47  | 83  | 130  |
| 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること      | 143 | 125 | 270  |
| 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること | 153 | 94  | 248  |
| 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること           | 155 | 83  | 238  |
| 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること  | 43  | 61  | 105  |
| その他                                      | 19  | 22  | 41   |
| わからない                                    | 66  | 44  | 111  |
| 無回答                                      | 21  | 9   | 31   |
| 計  | 647 | 521 | 1174 |



「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が23.0%と最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」21.1%、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」20.3%となっている。

問14 あなたが、次にあげる職業や役職において今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれです

|                       | 女性  | 男性  |           | 女性    | 男性    |
|-----------------------|-----|-----|-----------|-------|-------|
| 都道府県、市町村の首長           | 193 | 181 | 労働組合の幹部   | 111   | 97    |
| 国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員 | 284 | 253 | 農協の役員     | 61    | 74    |
| 国家公務員、地方公務員の管理職       | 184 | 181 | 新聞・放送の記者  | 105   | 88    |
| 裁判官、検察官、弁護士           | 225 | 177 | 自治会長、町内会長 | 96    | 124   |
| 大学教授                  | 102 | 106 | 特にない      | 92    | 89    |
| 国連などの国際機関の管理職         | 140 | 111 | その他       | 16    | 11    |
| 企業の管理職                | 205 | 178 | わからない     | 90    | 37    |
| 起業家・経営者               | 148 | 120 | 計         | 2,052 | 1,827 |



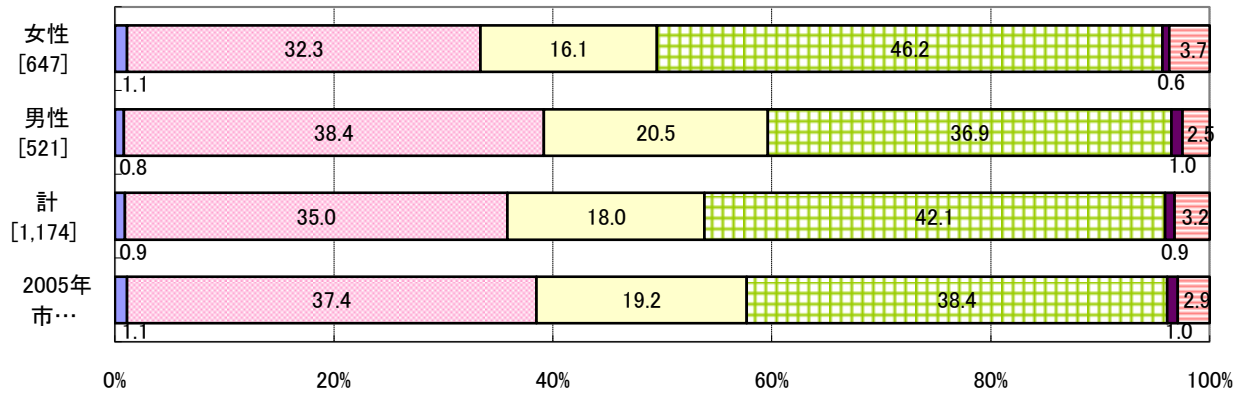
全体で最も高いのは、「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」45.8%、次いで「裁判官、検察官、弁護士」34.4%、「企業の管理職」32.6%の順となっている。

# 家庭生活や地域活動と仕事について

問15 あなたは、次にあげる家事は、誰が分担するのが望ましいと思いますか。(ア)から(カ)について、

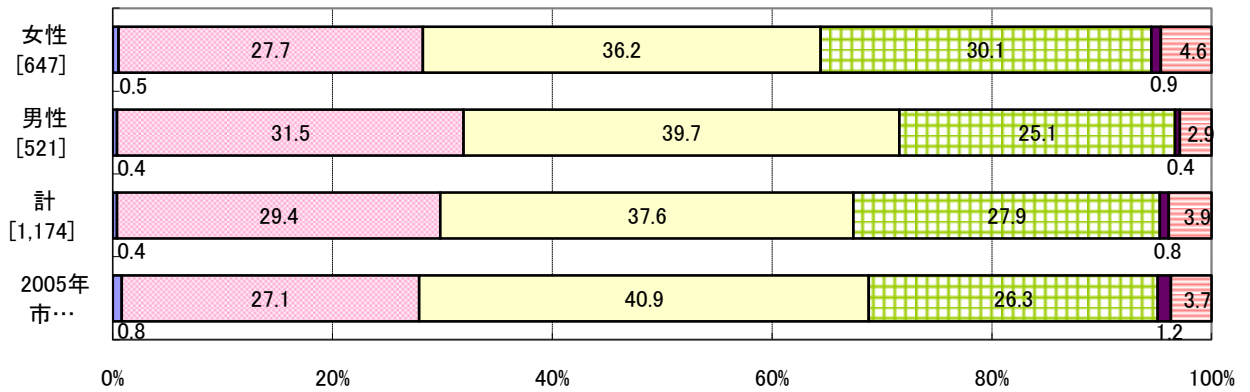
## (ア) 掃除

|         | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------|-----|-----|-------|
| 主に夫     | 7   | 4   | 11    |
| 夫婦が協力して | 209 | 200 | 411   |
| 主に妻     | 104 | 107 | 211   |
| 家族が協力して | 299 | 192 | 494   |
| その他     | 4   | 5   | 10    |
| 無回答     | 24  | 13  | 37    |
| 計       | 647 | 521 | 1,174 |



## (イ) 洗濯

|         | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------|-----|-----|-------|
| 主に夫     | 3   | 2   | 5     |
| 夫婦が協力して | 179 | 164 | 345   |
| 主に妻     | 234 | 207 | 442   |
| 家族が協力して | 195 | 131 | 327   |
| その他     | 6   | 2   | 9     |
| 無回答     | 30  | 15  | 46    |
| 計       | 647 | 521 | 1,174 |

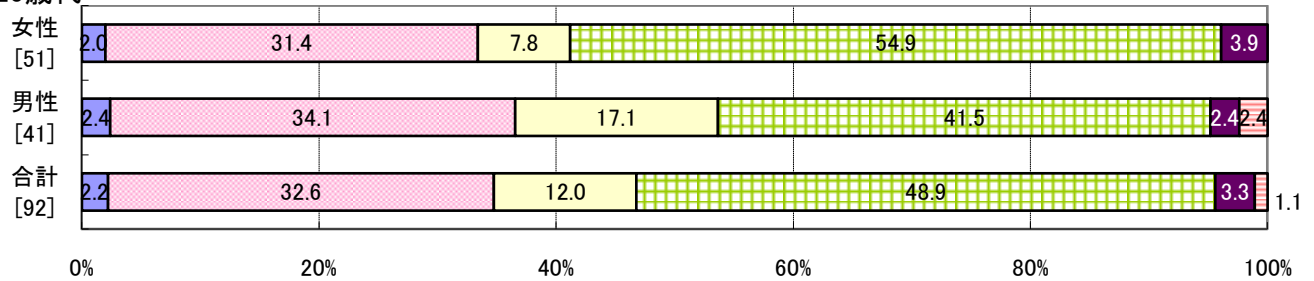


■主に夫 ■夫婦が協力して ■主に妻 ■家族が協力して ■その他 ■無回答

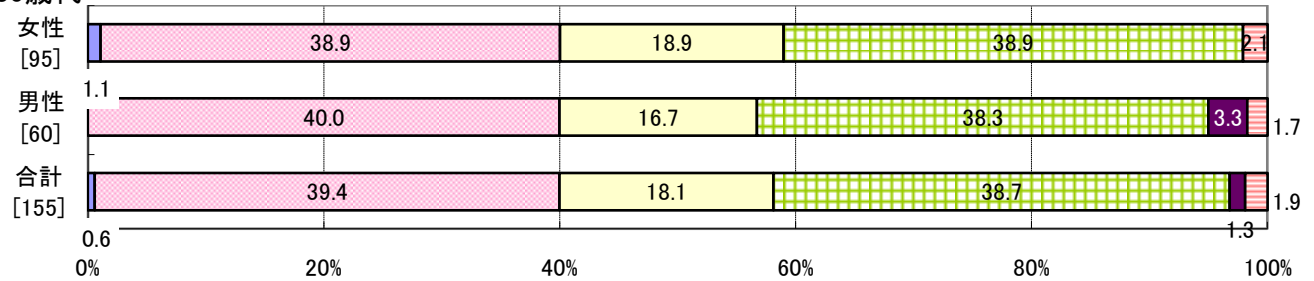
(問15 年代別)

ア 掃除

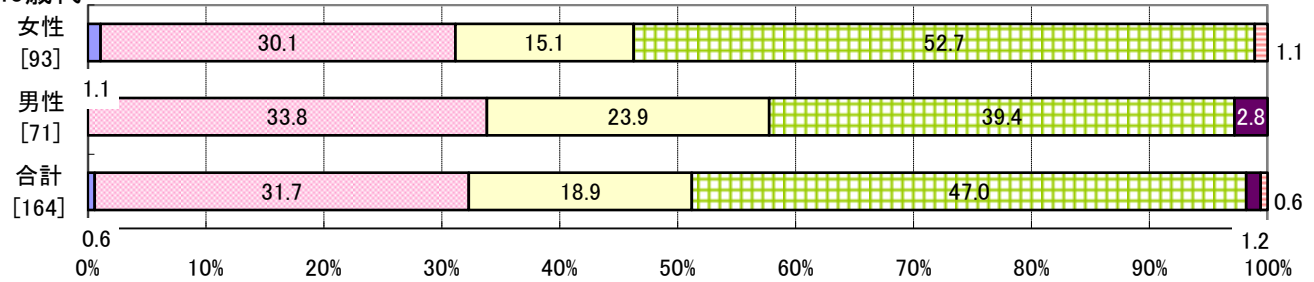
20歳代



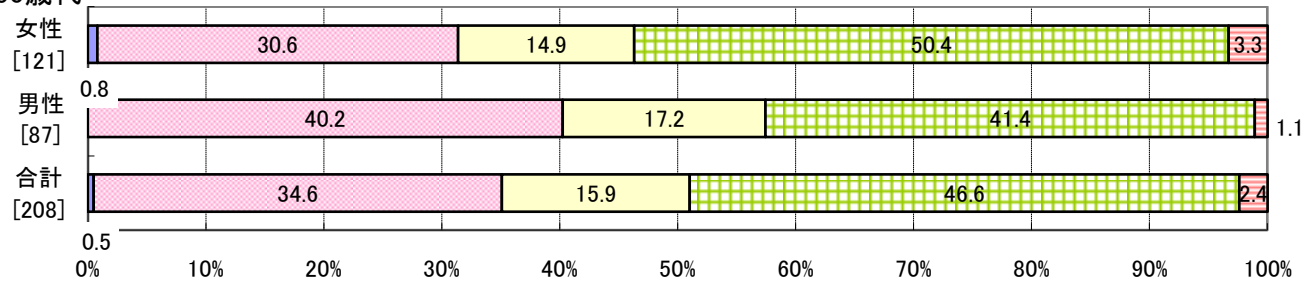
30歳代



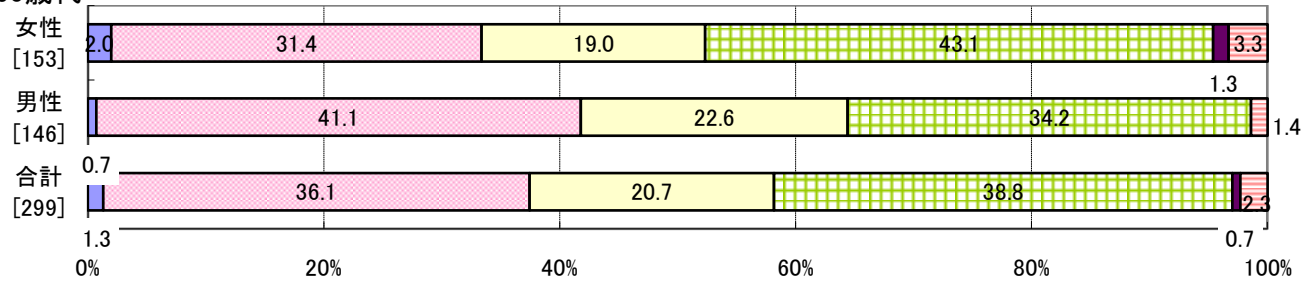
40歳代



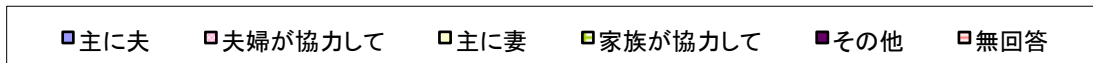
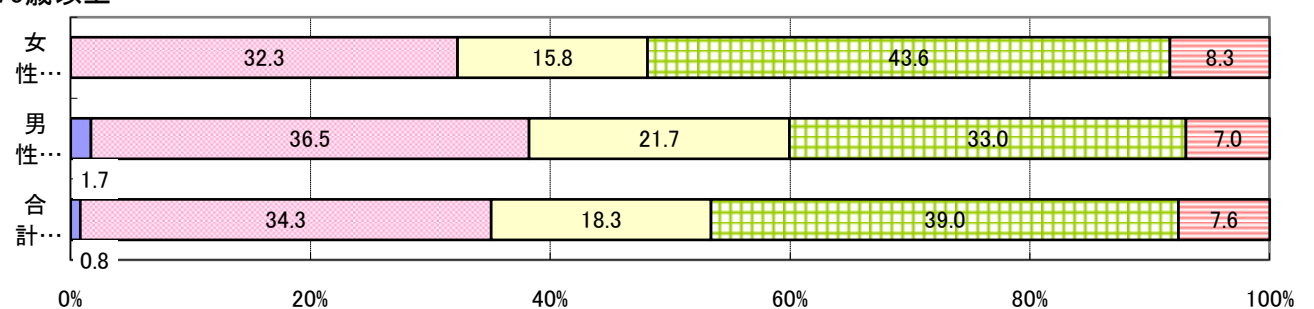
50歳代



60歳代



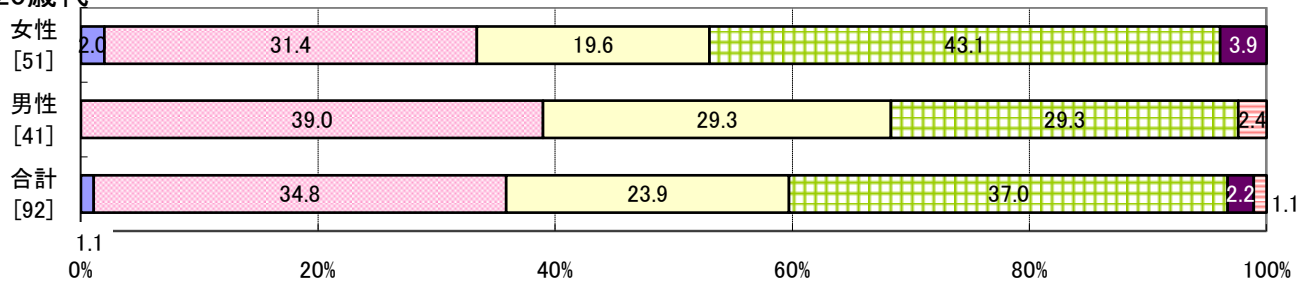
70歳以上



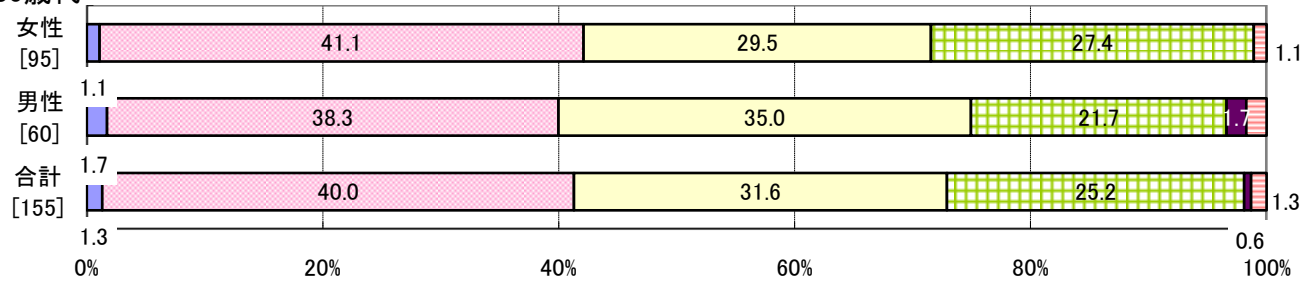
(問15 年代別)

## イ 洗濯

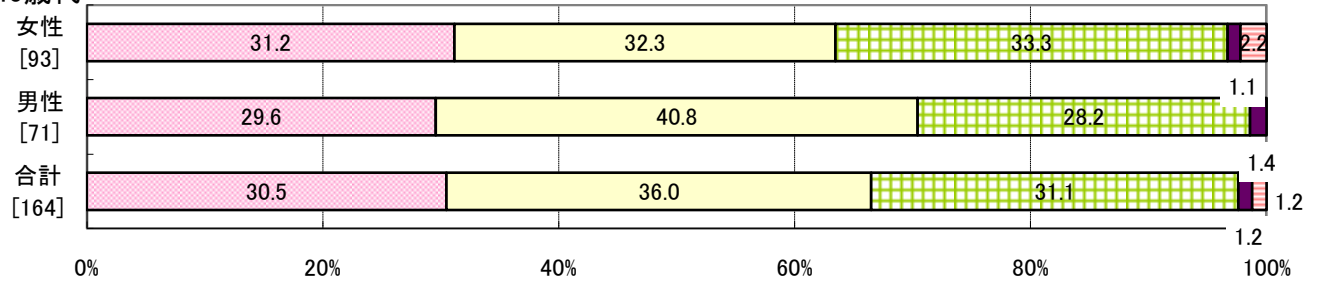
### 20歳代



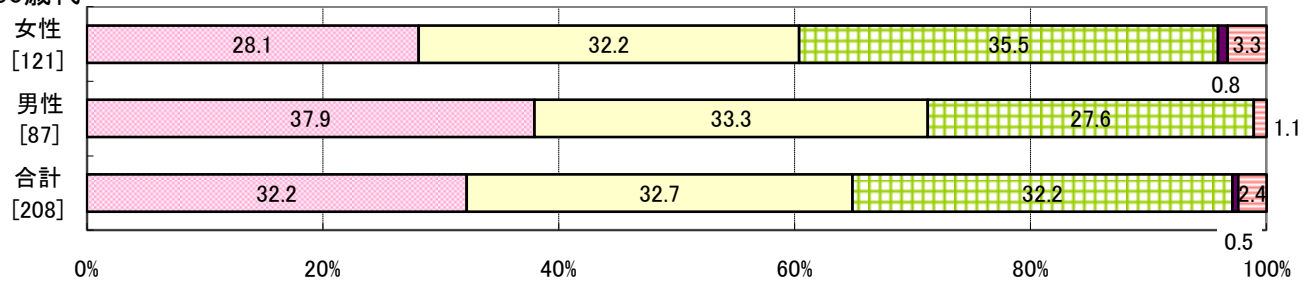
### 30歳代



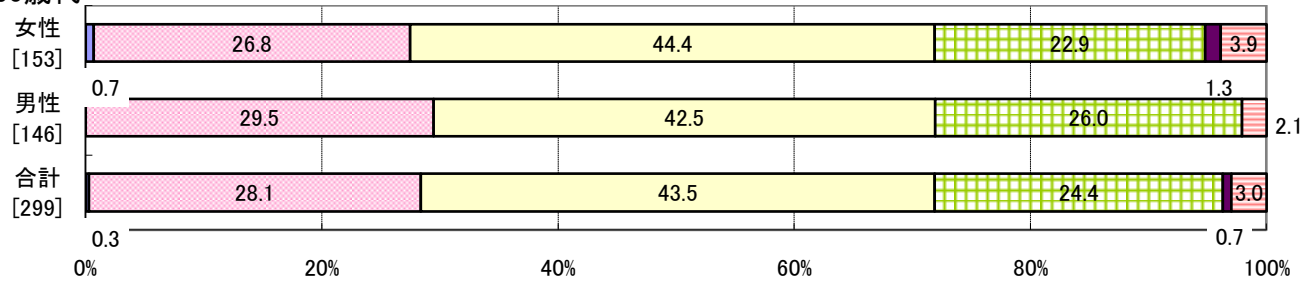
### 40歳代



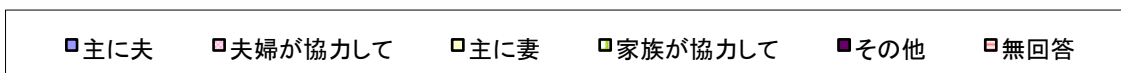
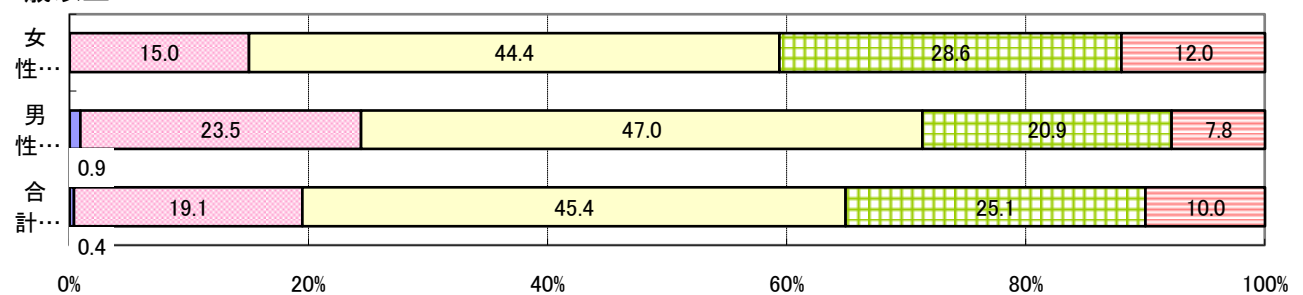
### 50歳代



### 60歳代

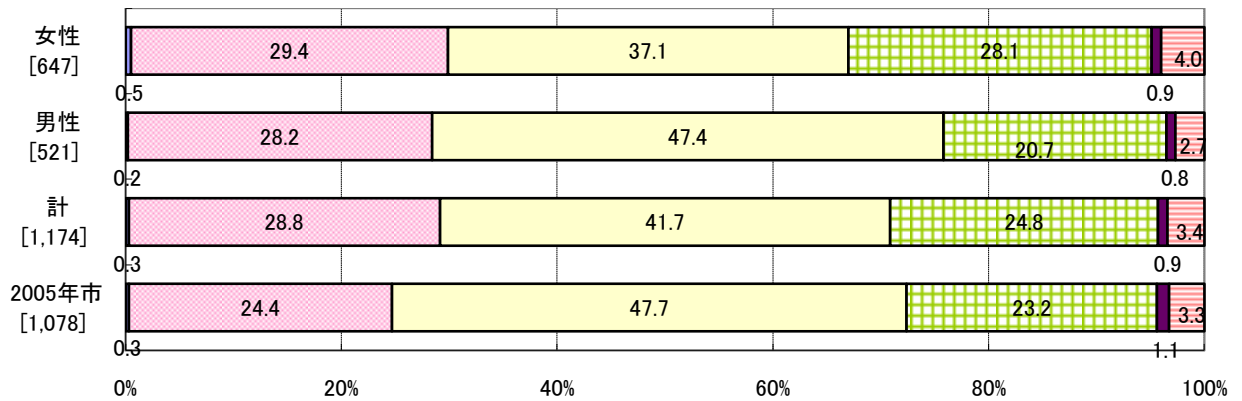


### 70歳以上



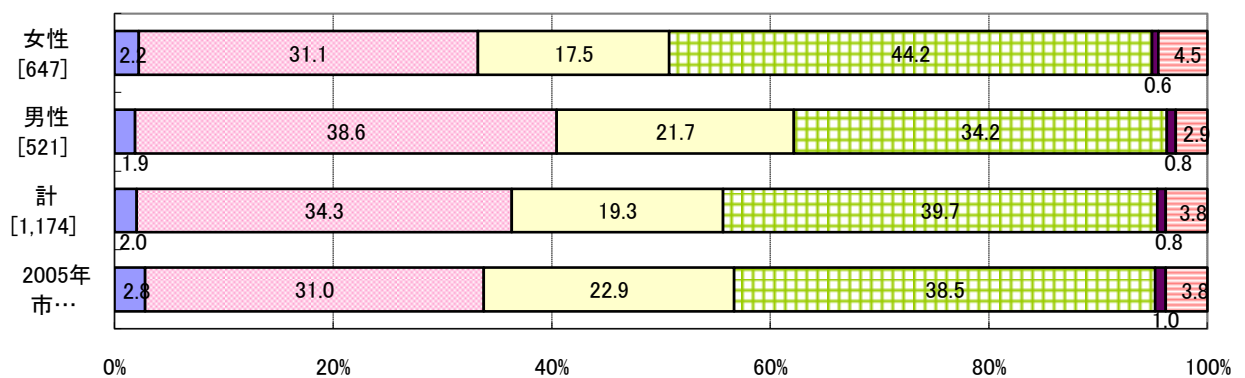
(ウ) 食事のしたく

|         | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------|-----|-----|-------|
| 主に夫     | 3   | 1   | 4     |
| 夫婦が協力して | 190 | 147 | 338   |
| 主に妻     | 240 | 247 | 490   |
| 家族が協力して | 182 | 108 | 291   |
| その他     | 6   | 4   | 11    |
| 無回答     | 26  | 14  | 40    |
| 計       | 647 | 521 | 1,174 |



(エ) 食事の後かたづけ

|         | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------|-----|-----|-------|
| 主に夫     | 14  | 10  | 24    |
| 夫婦が協力して | 201 | 201 | 403   |
| 主に妻     | 113 | 113 | 227   |
| 家族が協力して | 286 | 178 | 466   |
| その他     | 4   | 4   | 9     |
| 無回答     | 29  | 15  | 45    |
| 計       | 647 | 521 | 1,174 |

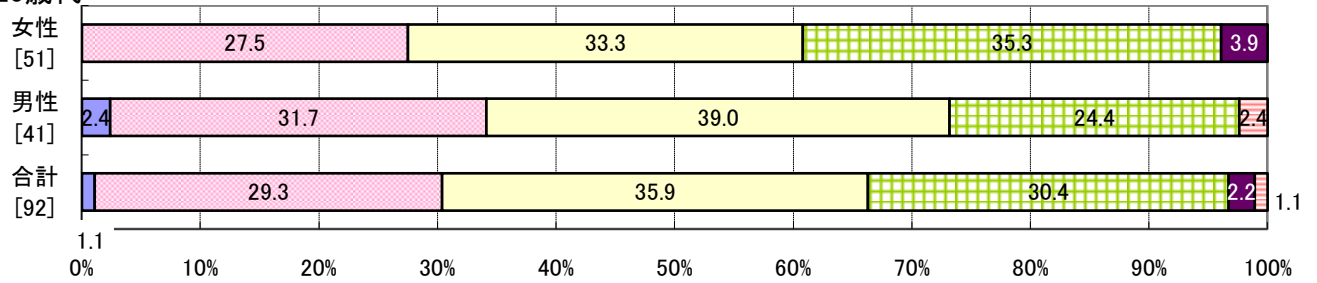


主に夫  
  夫婦が協力して  
  主に妻  
  家族が協力して  
  その他  
  無回答

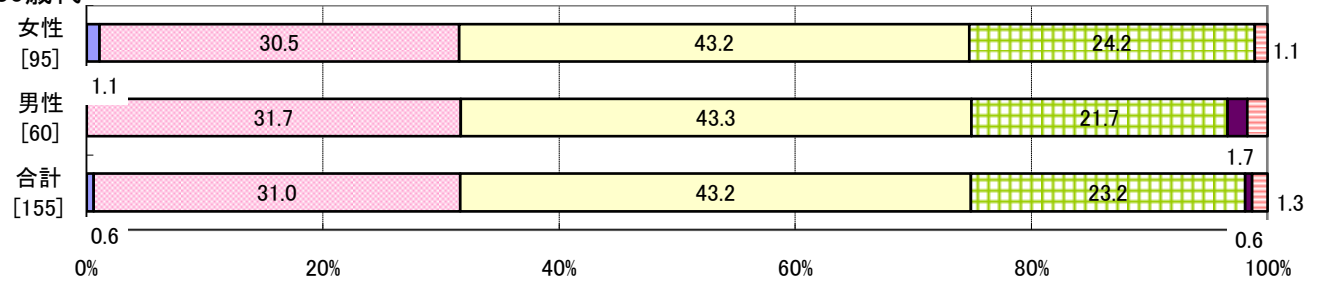
(問15 年代別)

### ウ 食事のしたく

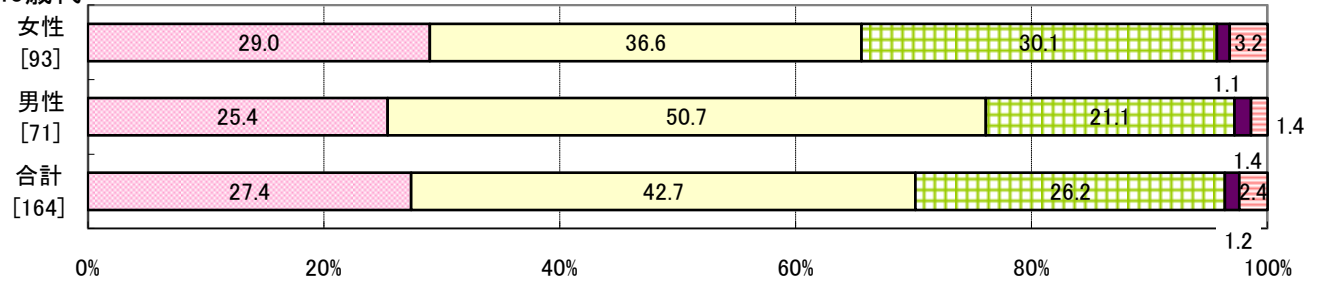
#### 20歳代



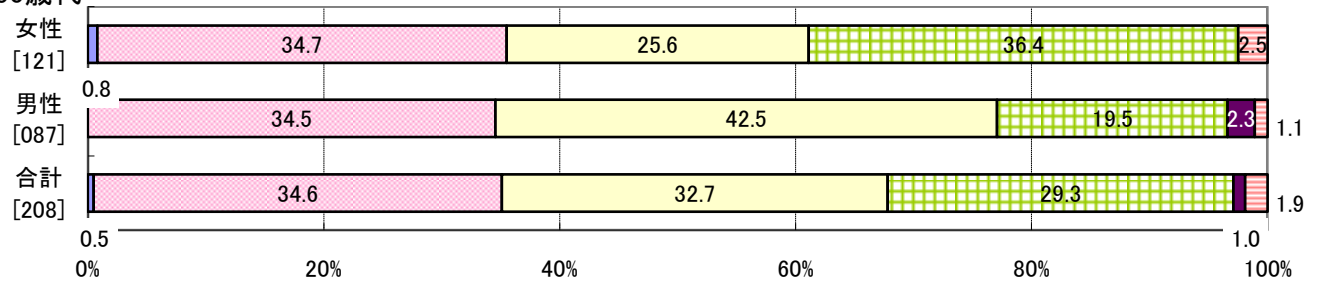
#### 30歳代



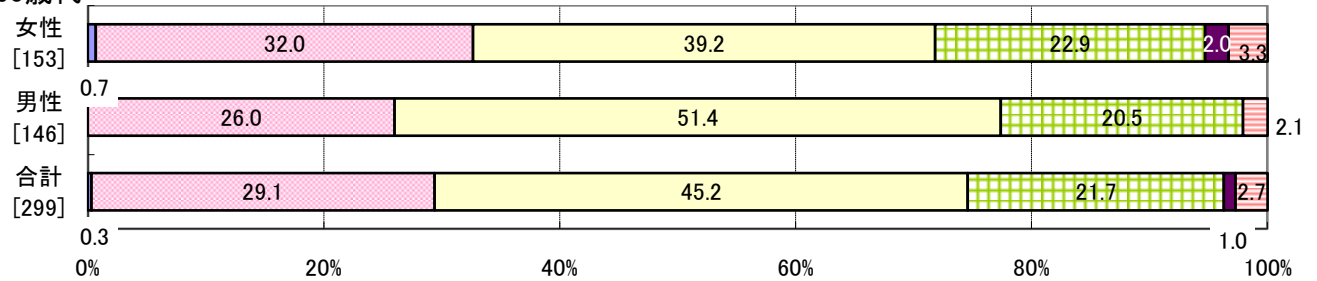
#### 40歳代



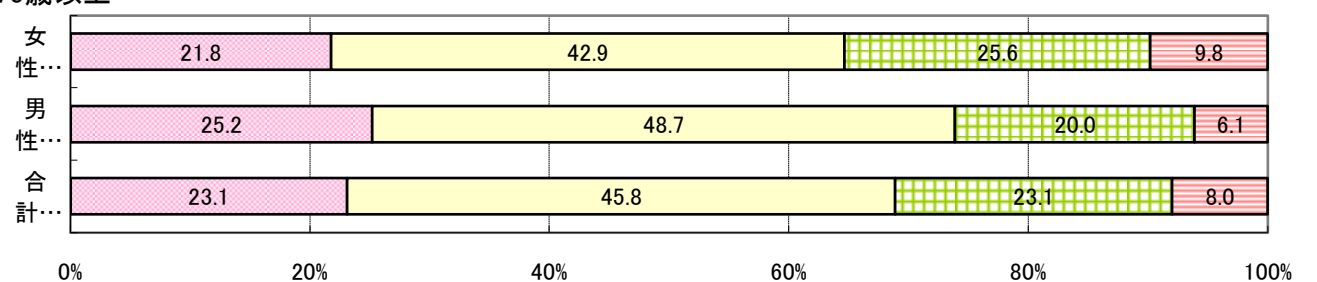
#### 50歳代



#### 60歳代



#### 70歳以上



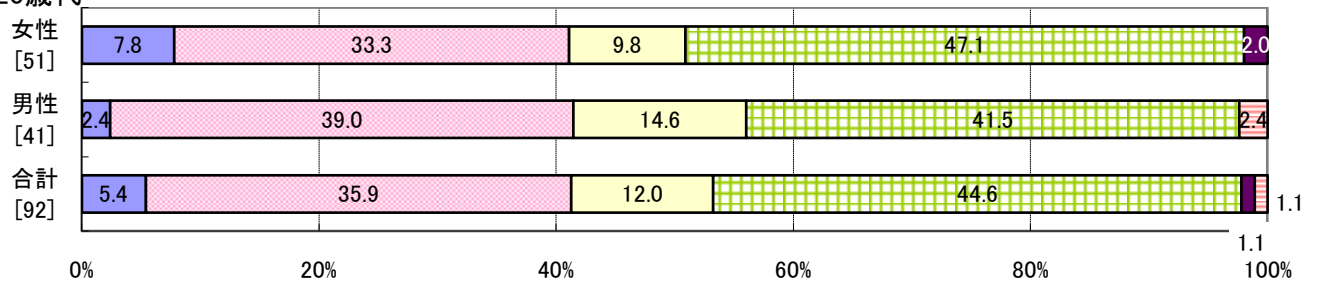
■主に夫 ■夫婦が協力して ■主に妻 ■家族が協力して ■その他 ■無回答



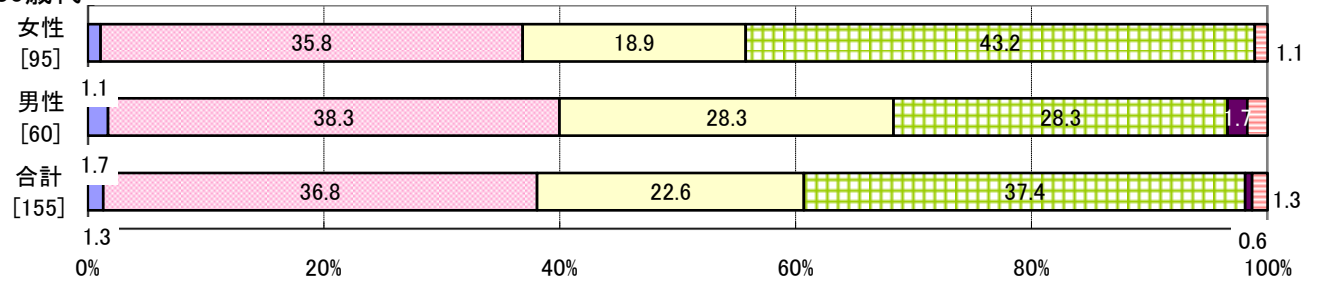
(問15 年代別)

### エ 食事の後かたづけ

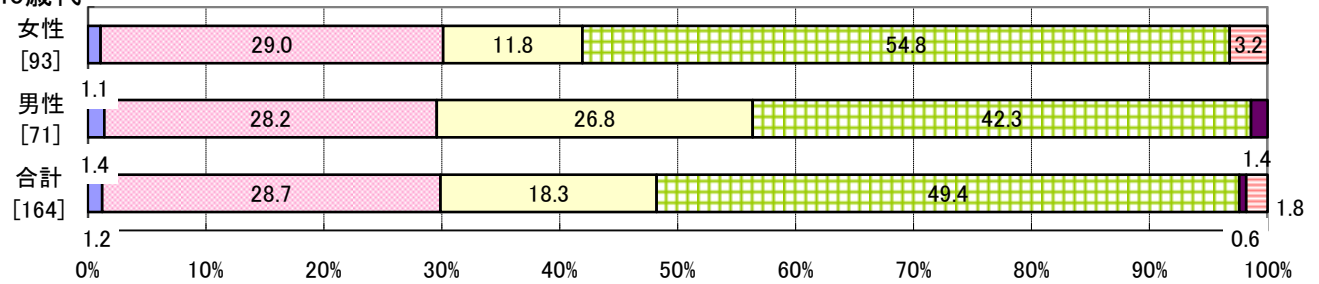
#### 20歳代



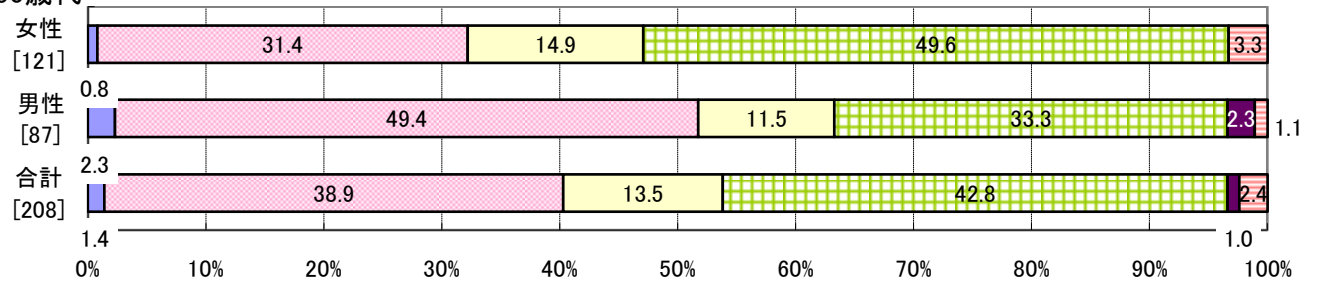
#### 30歳代



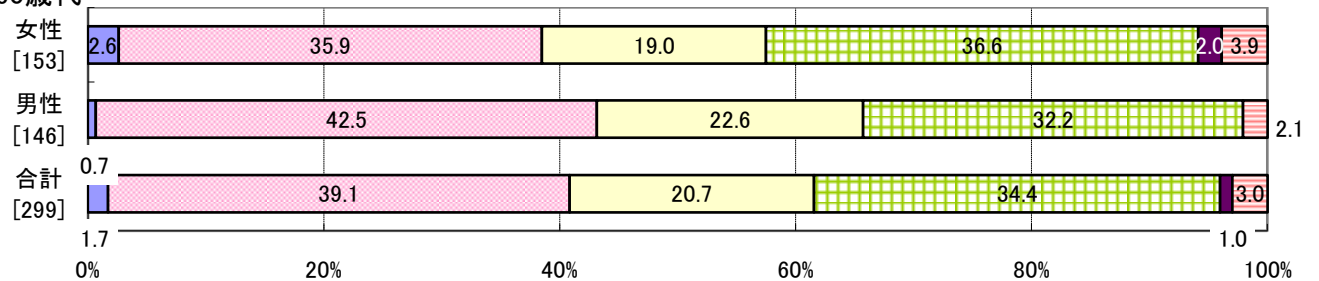
#### 40歳代



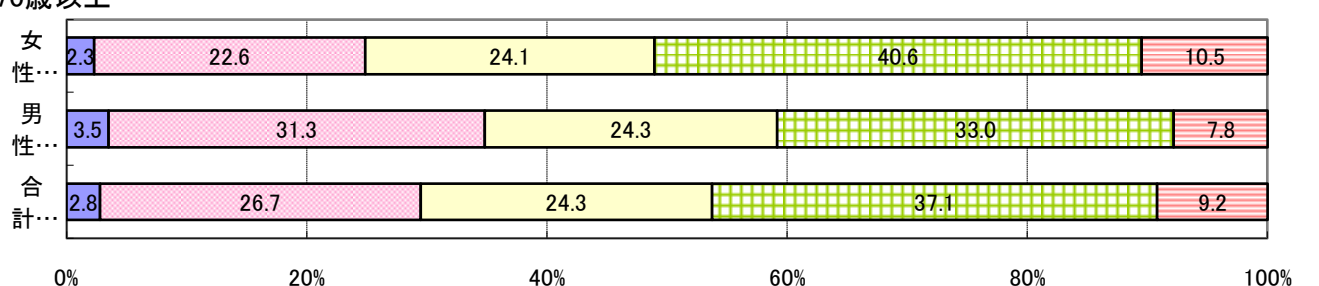
#### 50歳代



#### 60歳代



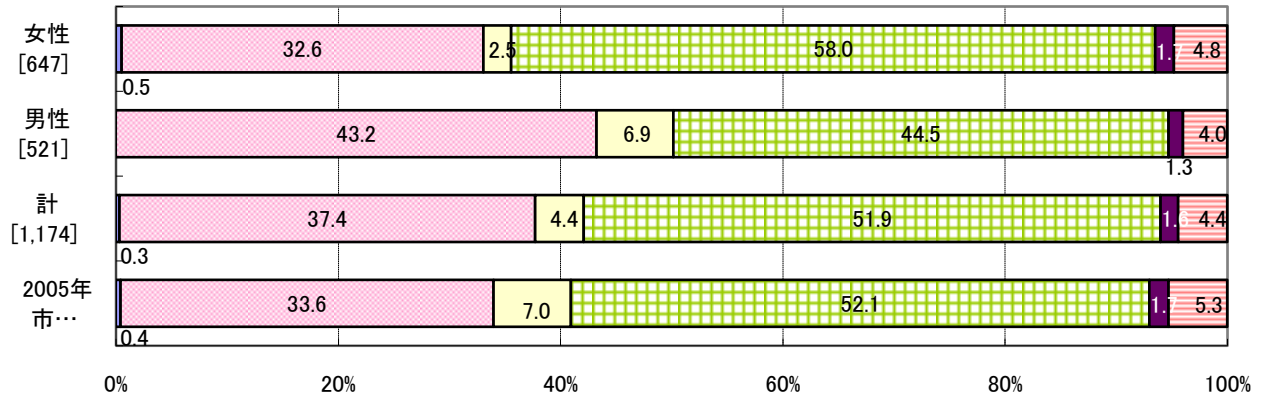
#### 70歳以上



■主に夫 ■夫婦が協力して ■主に妻 ■家族が協力して ■その他 ■無回答

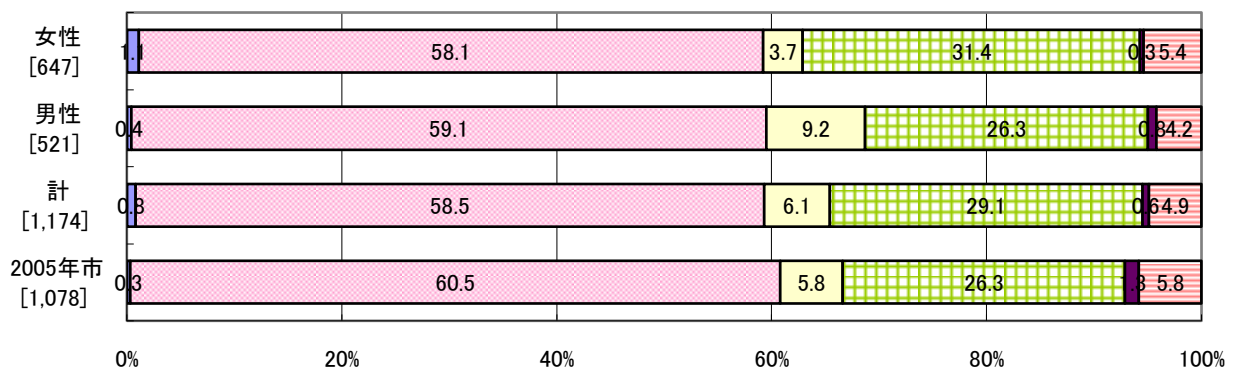
(オ) 家族の介護

|         | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------|-----|-----|-------|
| 主に夫     | 3   | 0   | 3     |
| 夫婦が協力して | 211 | 225 | 439   |
| 主に妻     | 16  | 36  | 52    |
| 家族が協力して | 375 | 232 | 609   |
| その他     | 11  | 7   | 19    |
| 無回答     | 31  | 21  | 52    |
| 計       | 647 | 521 | 1,174 |



(カ) 子どもの育児・教育

|         | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------|-----|-----|-------|
| 主に夫     | 7   | 2   | 9     |
| 夫婦が協力して | 376 | 308 | 687   |
| 主に妻     | 24  | 48  | 72    |
| 家族が協力して | 203 | 137 | 342   |
| その他     | 2   | 4   | 7     |
| 無回答     | 35  | 22  | 57    |
| 計       | 647 | 521 | 1,174 |



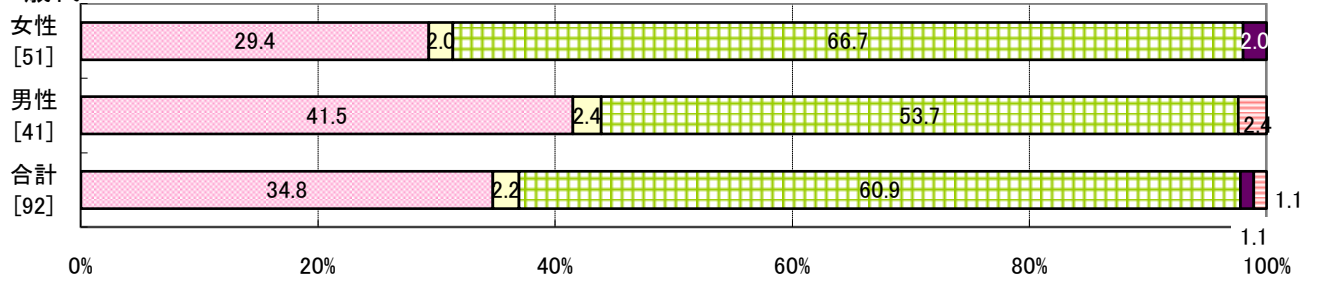
■主に夫 □夫婦が協力して □主に妻 □家族が協力して ■その他 □無回答

全体で「(イ) 洗濯」と「(ウ) 食事のしたく」については、「主に妻」が分担するのが望ましい割合が高いが、その他の項目については、「夫婦が協力して」・「家族が協力して」の割合が高くなっている。

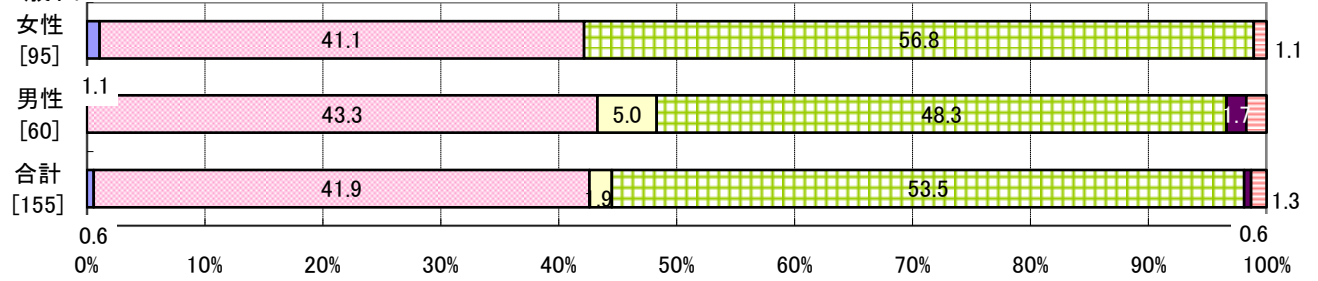
(問15 年代別)

オ 家族の介護

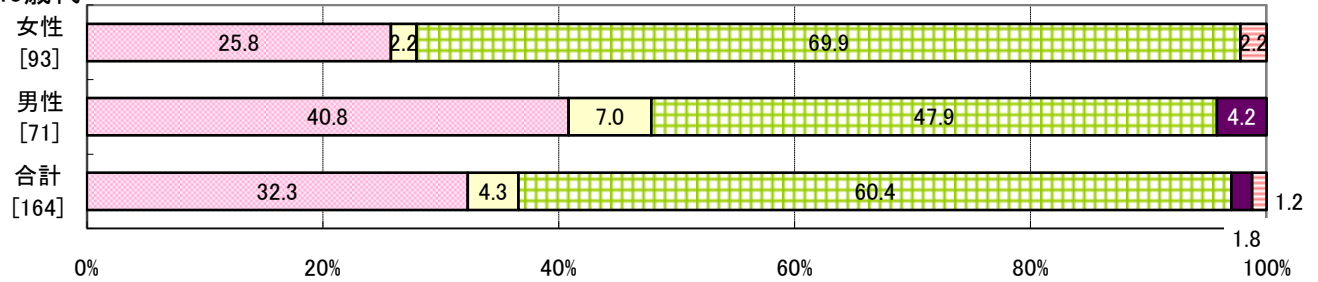
20歳代



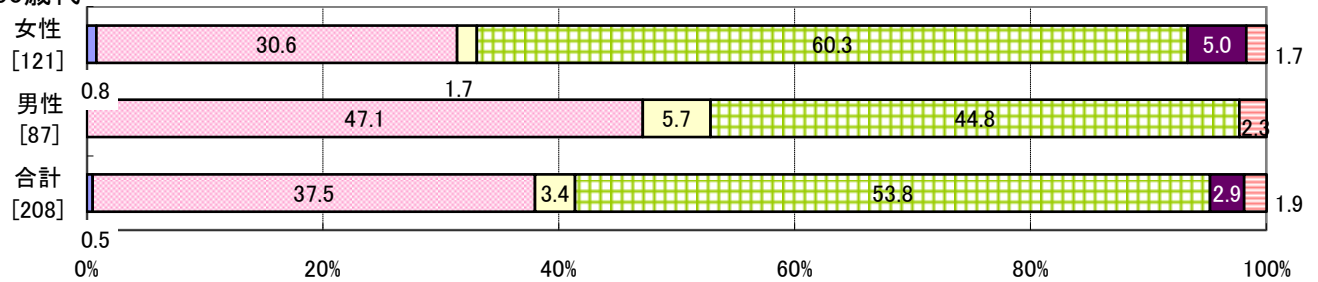
30歳代



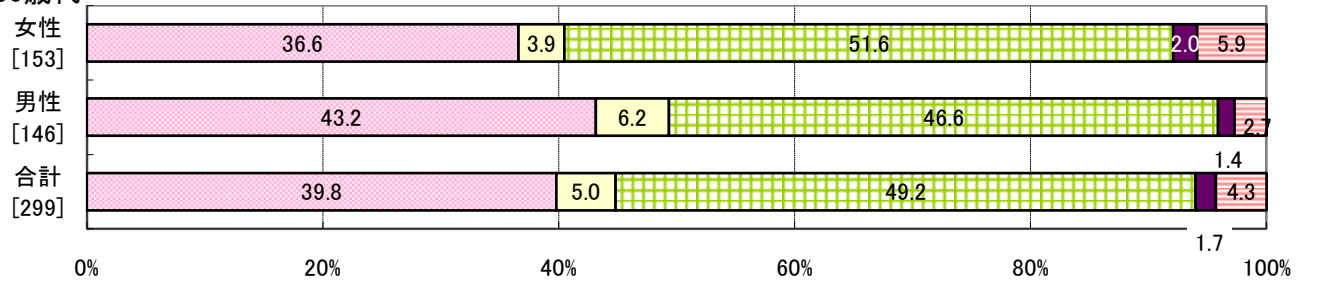
40歳代



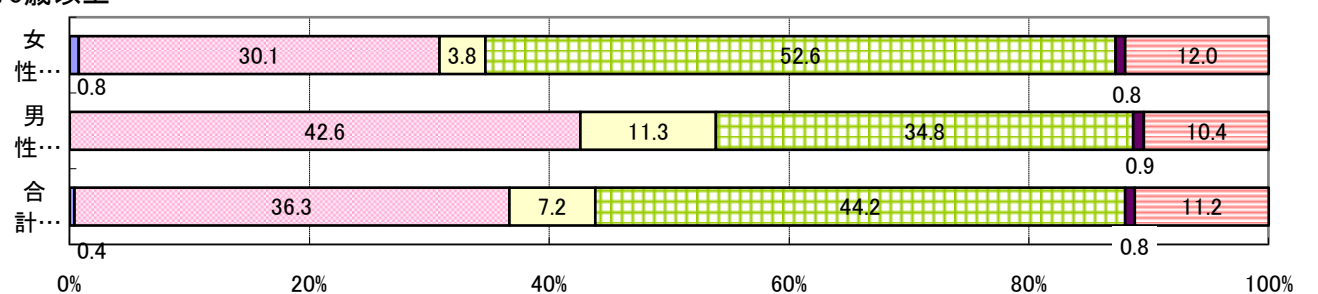
50歳代



60歳代



70歳以上

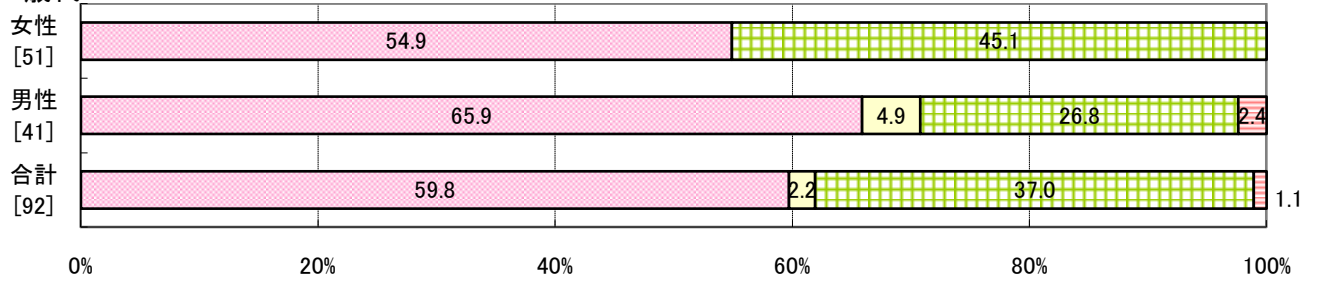


主に夫  
  夫婦が協力して  
  主に妻  
  家族が協力して  
  その他  
  無回答

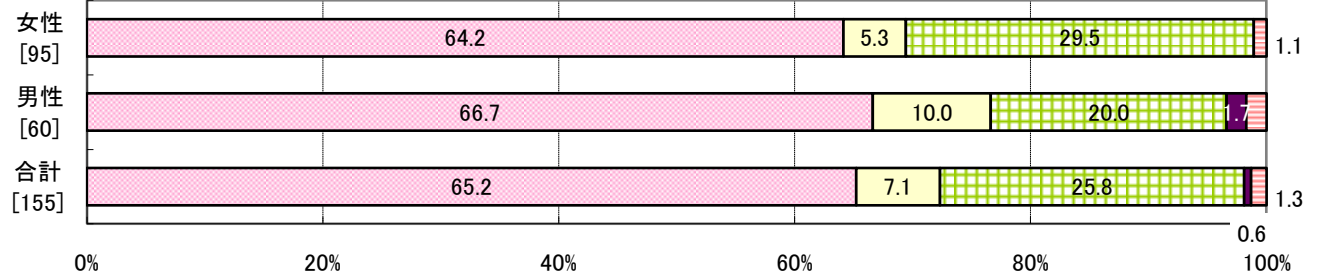
(問15 年代別)

### 子どもの育児・教育

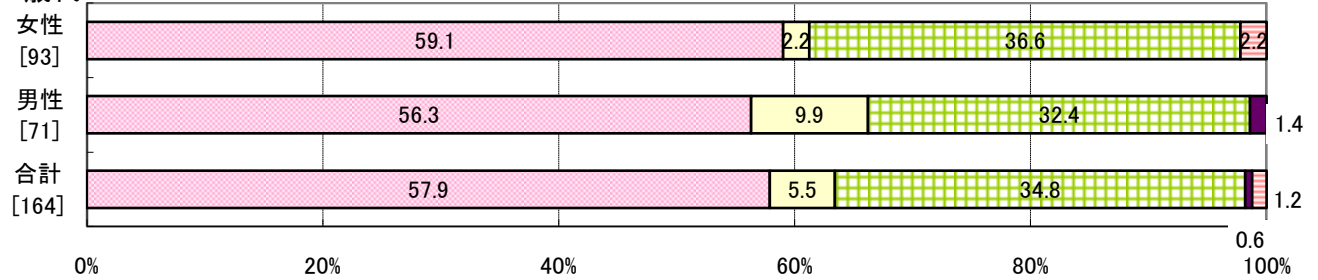
#### 20歳代



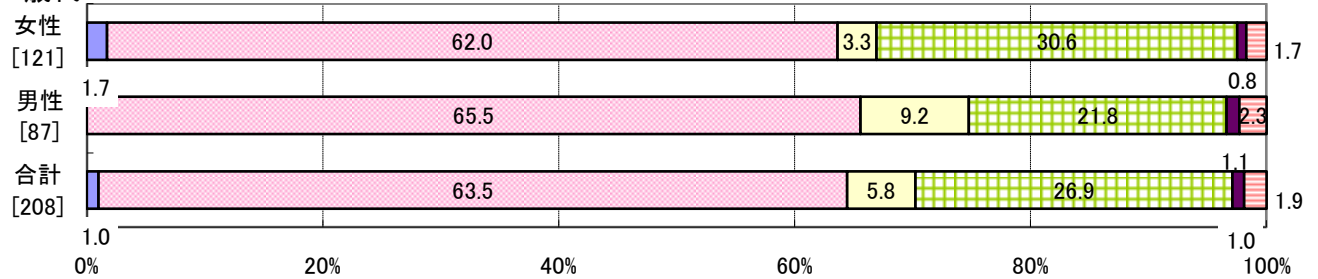
#### 30歳代



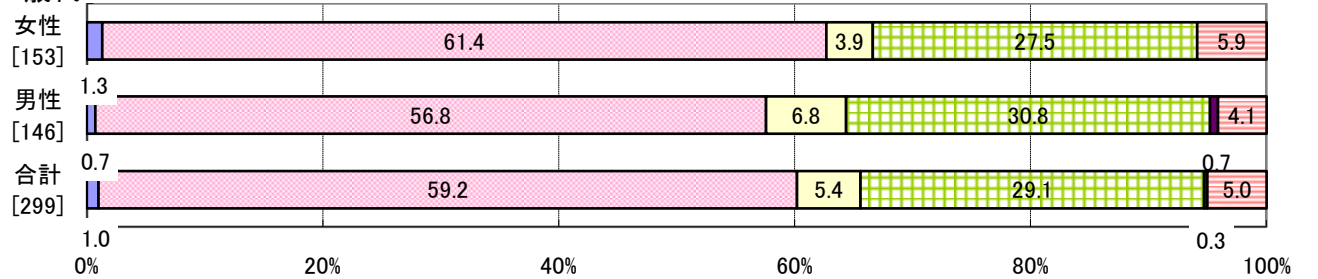
#### 40歳代



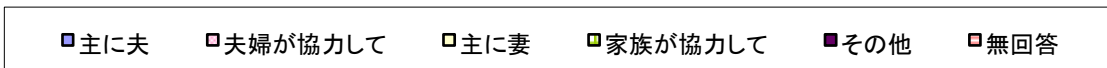
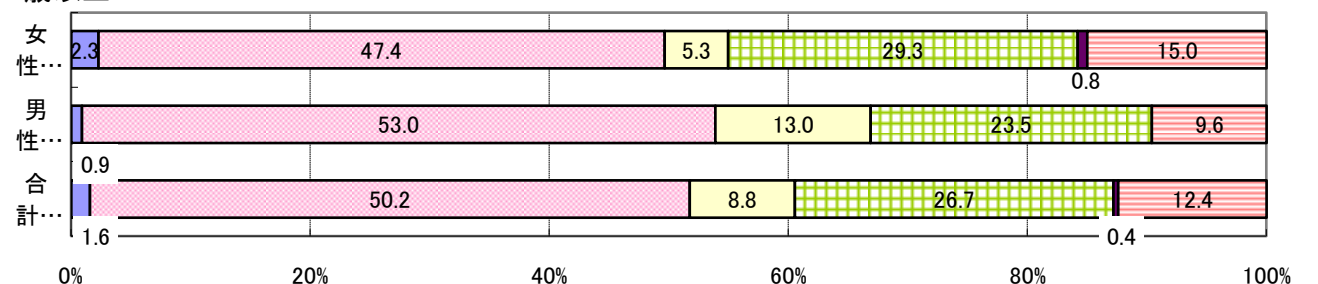
#### 50歳代



#### 60歳代



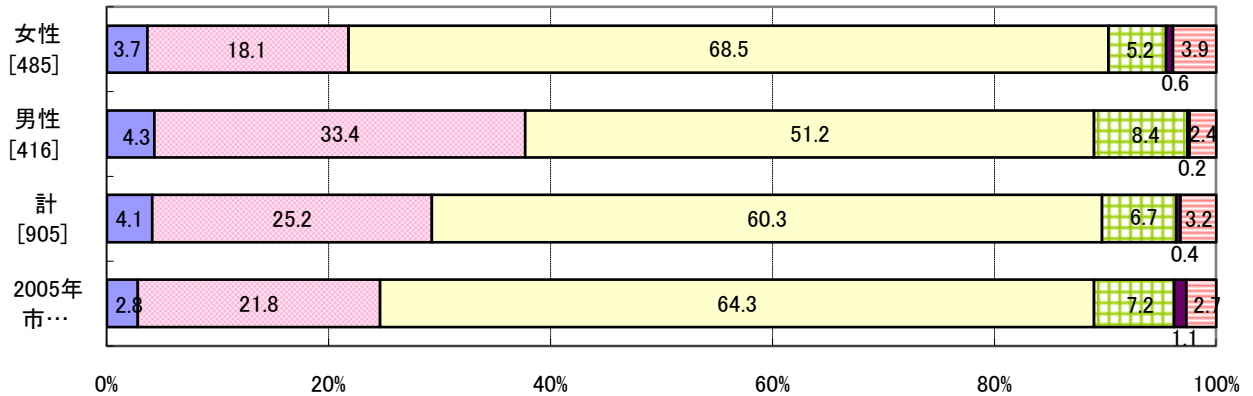
#### 70歳以上



問16 問3で「1. 結婚している」と答えた方におたずねします。実際にあなたの家庭では、家事は誰が分担していますか。(ア)から(カ)について、あてはまる番号に○をつけてください。(オ)・(カ)の項目

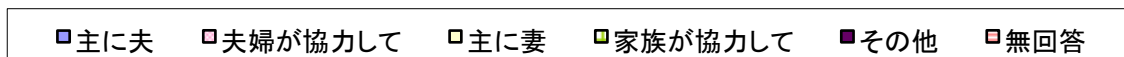
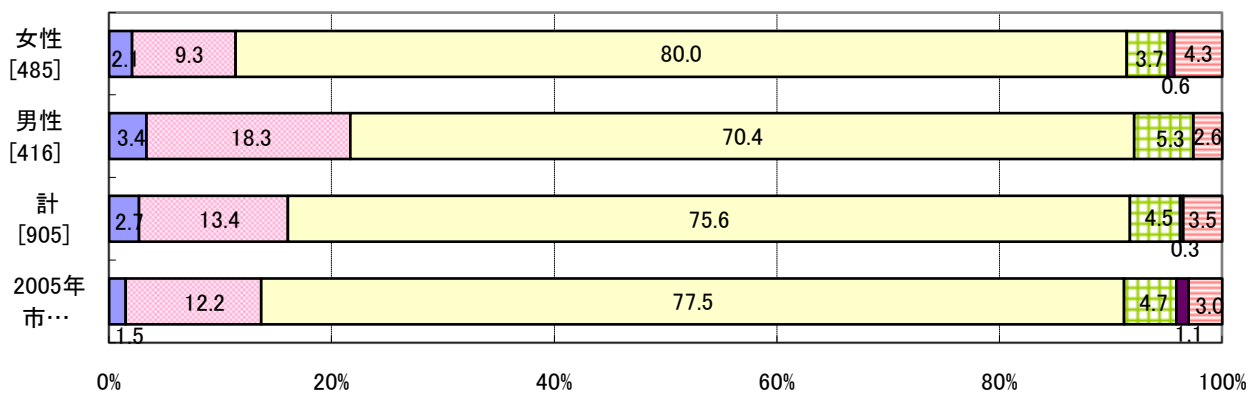
(ア) 掃除

|         | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------|-----|-----|-----|
| 主に夫     | 18  | 18  | 37  |
| 夫婦が協力して | 88  | 139 | 228 |
| 主に妻     | 332 | 213 | 546 |
| 家族が協力して | 25  | 35  | 61  |
| その他     | 3   | 1   | 4   |
| 無回答     | 19  | 10  | 29  |
| 計       | 485 | 416 | 905 |



(イ) 洗濯

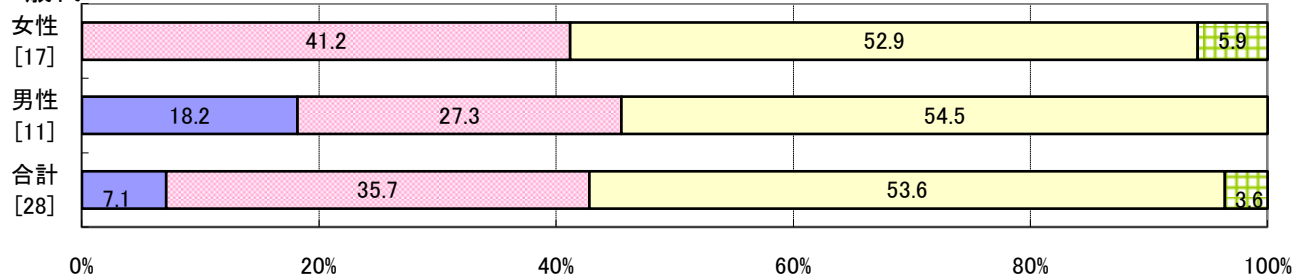
|         | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------|-----|-----|-----|
| 主に夫     | 10  | 14  | 24  |
| 夫婦が協力して | 45  | 76  | 121 |
| 主に妻     | 388 | 293 | 684 |
| 家族が協力して | 18  | 22  | 41  |
| その他     | 3   | 0   | 3   |
| 無回答     | 21  | 11  | 32  |
| 計       | 485 | 416 | 905 |



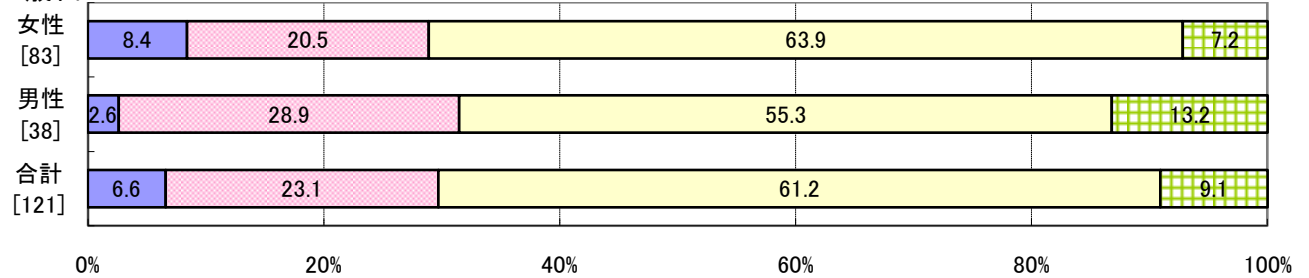
(問16 年代別)

ア 掃除

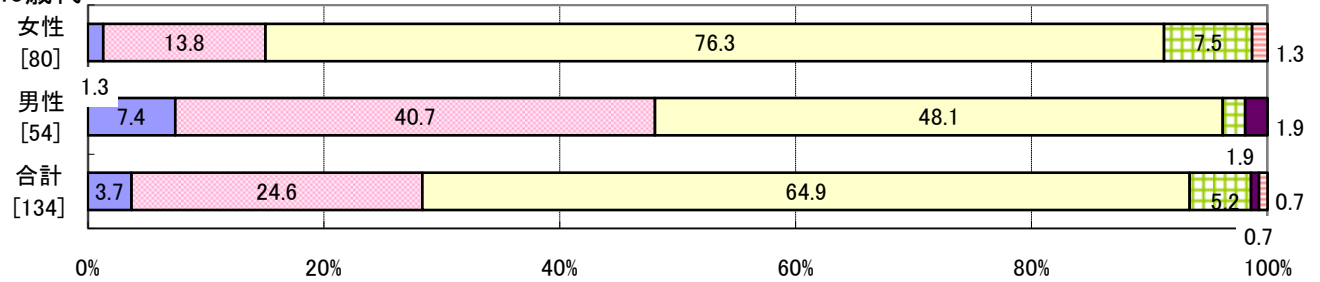
20歳代



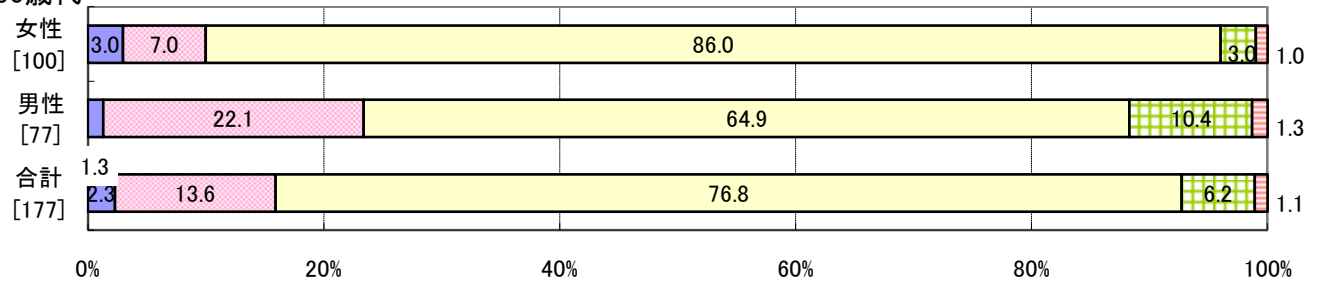
30歳代



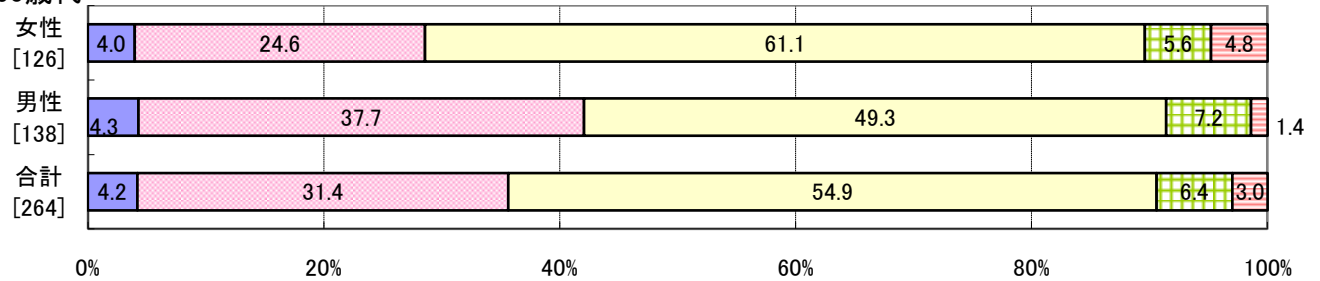
40歳代



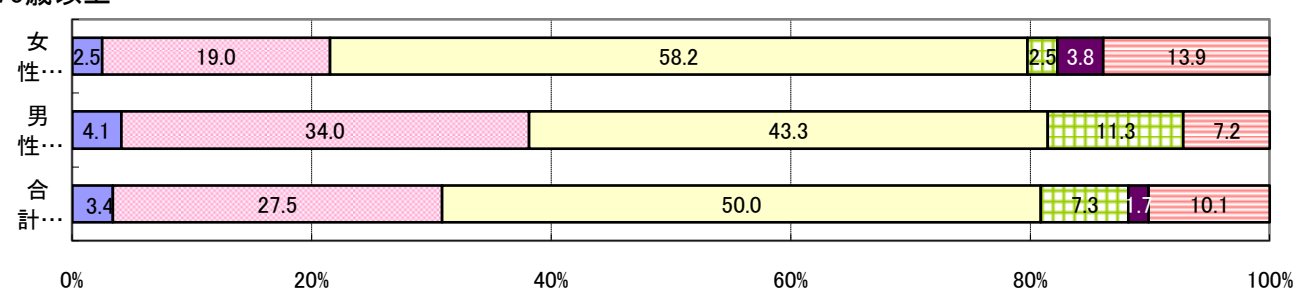
50歳代



60歳代



70歳以上

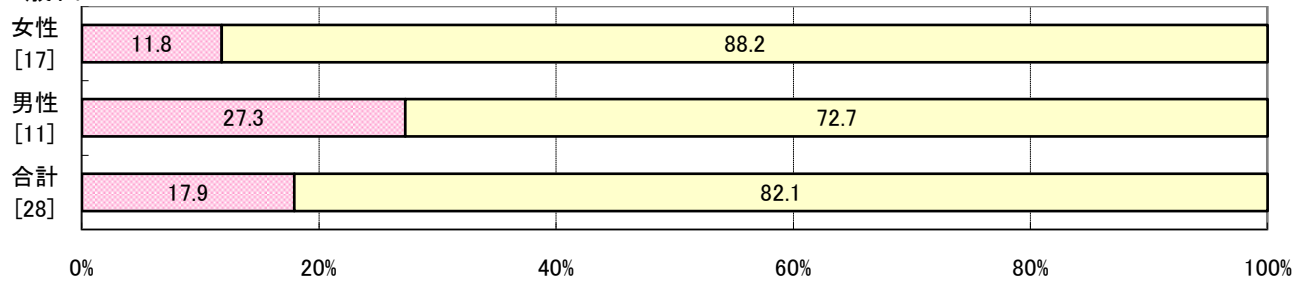


■主に夫 □夫婦が協力して □主に妻 ■家族が協力して ■その他 □無回答

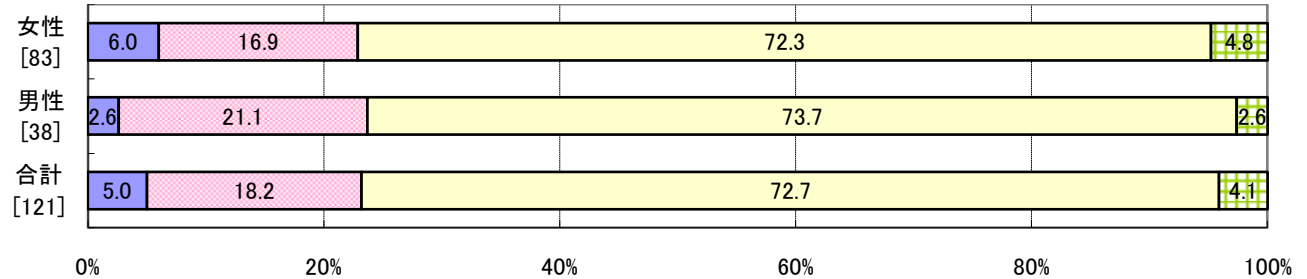
(問16 年代別)

## イ 洗濯

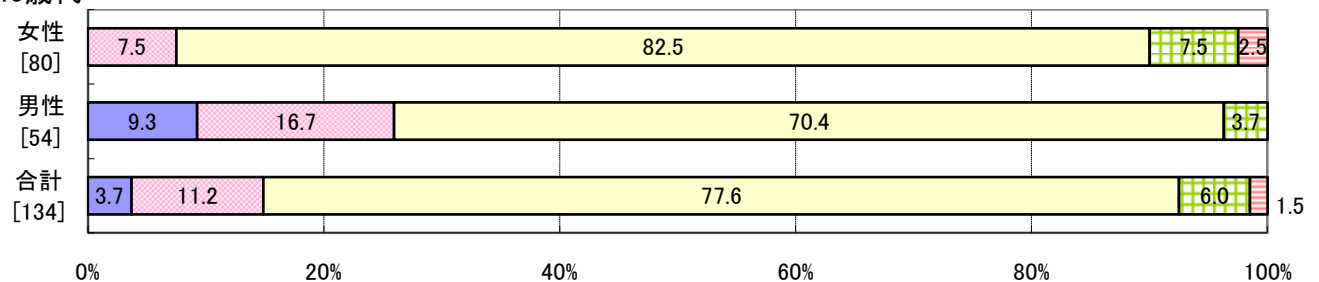
### 20歳代



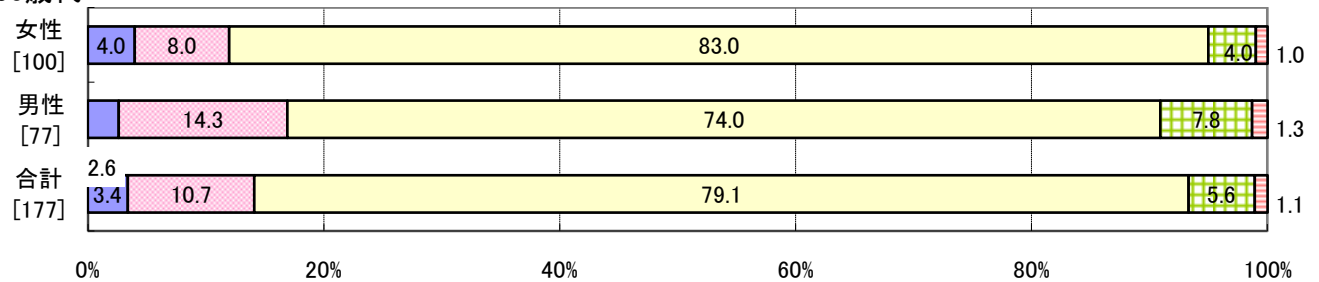
### 30歳代



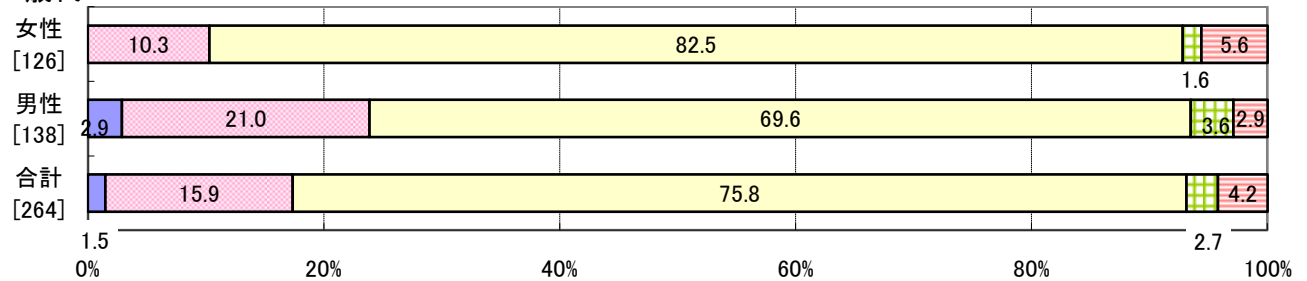
### 40歳代



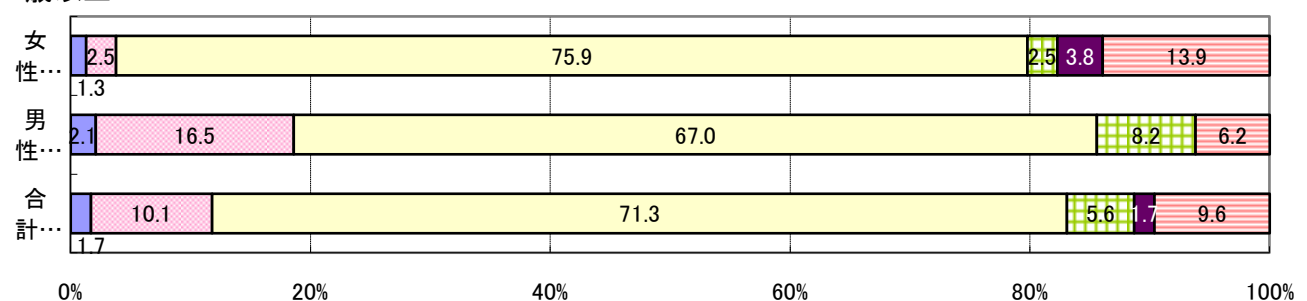
### 50歳代



### 60歳代



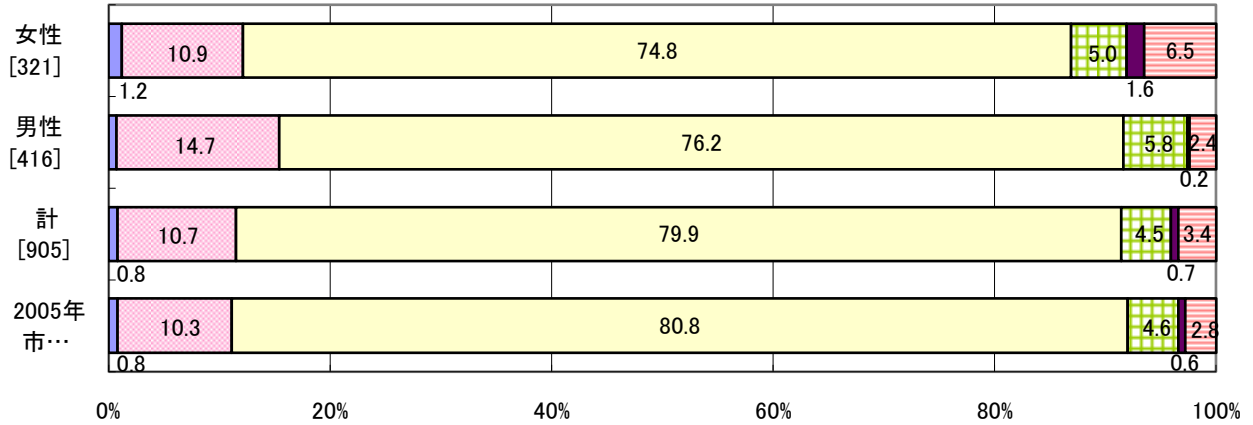
### 70歳以上



■主に夫 ■夫婦が協力して ■主に妻 ■家族が協力して ■その他 ■無回答

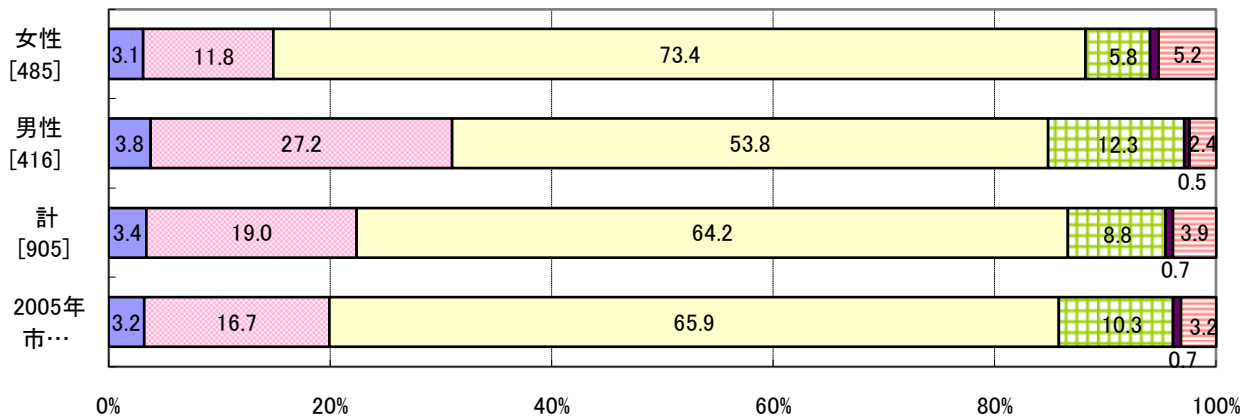
(ウ) 食事のしたく

|         | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------|-----|-----|-----|
| 主に夫     | 4   | 3   | 7   |
| 夫婦が協力して | 35  | 61  | 97  |
| 主に妻     | 240 | 317 | 723 |
| 家族が協力して | 16  | 24  | 41  |
| その他     | 5   | 1   | 6   |
| 無回答     | 21  | 10  | 31  |
| 計       | 321 | 416 | 905 |



(エ) 食事の後かたづけ

|         | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------|-----|-----|-----|
| 主に夫     | 15  | 16  | 31  |
| 夫婦が協力して | 57  | 113 | 172 |
| 主に妻     | 356 | 224 | 581 |
| 家族が協力して | 28  | 51  | 80  |
| その他     | 4   | 2   | 6   |
| 無回答     | 25  | 10  | 35  |
| 計       | 485 | 416 | 905 |



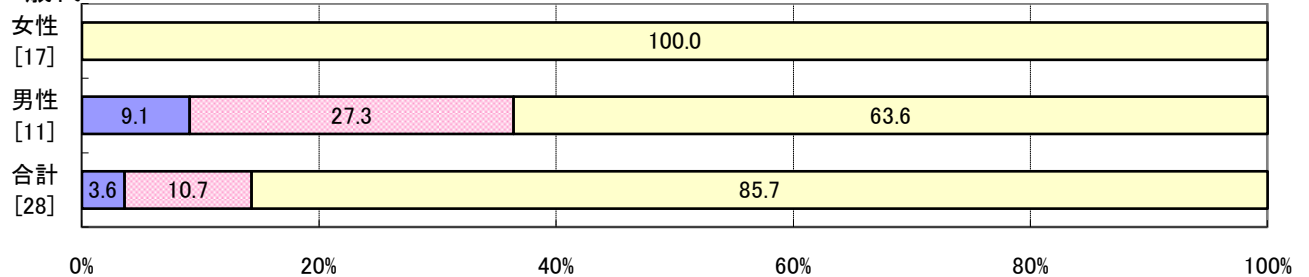
主に夫  
  夫婦が協力して  
  主に妻  
  家族が協力して  
  その他  
  無回答



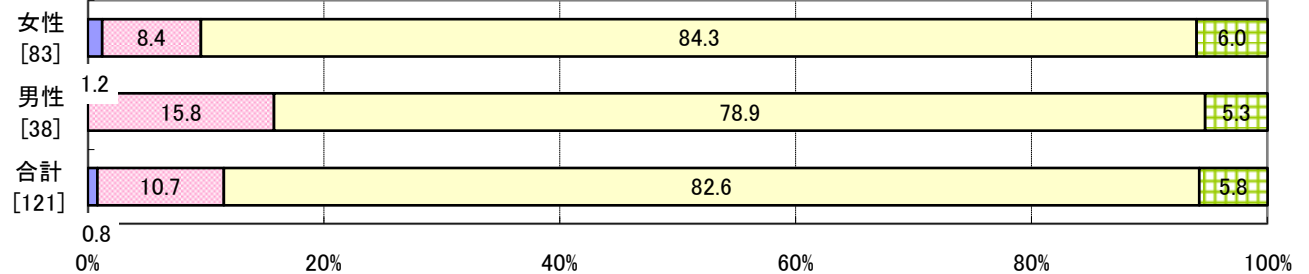
(問16 年代別)

### ウ 食事のしたく

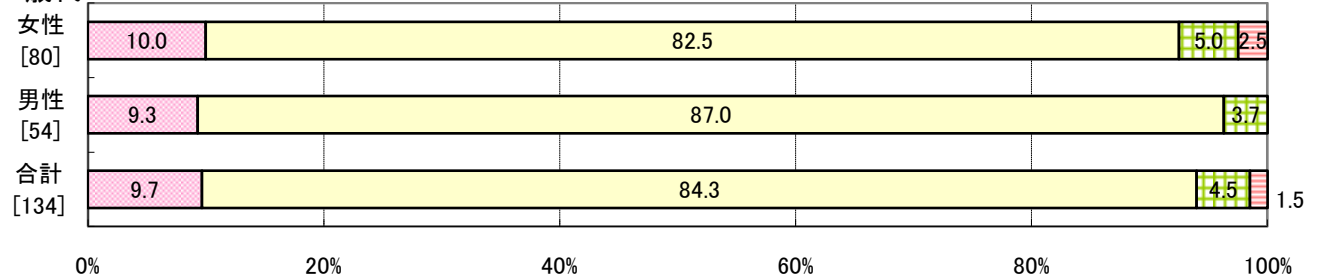
#### 20歳代



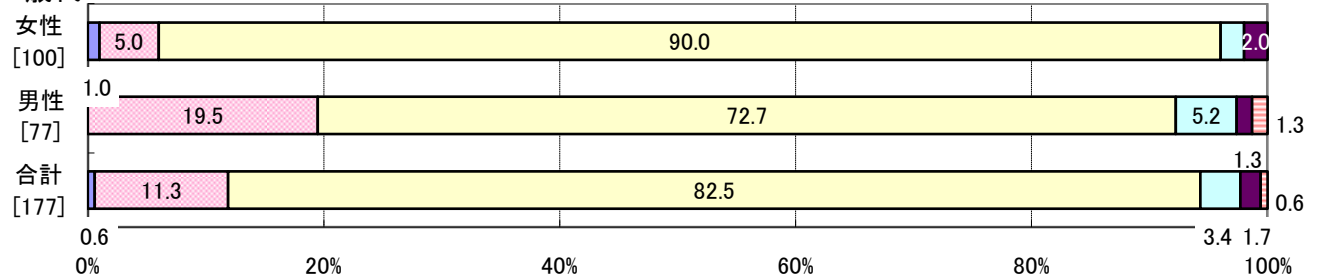
#### 30歳代



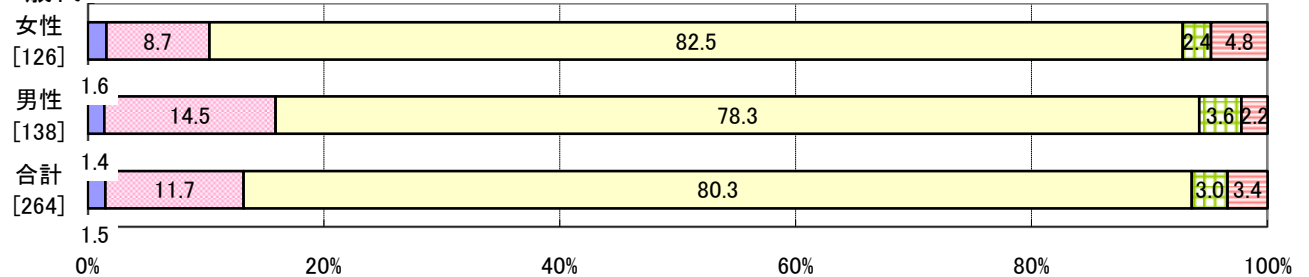
#### 40歳代



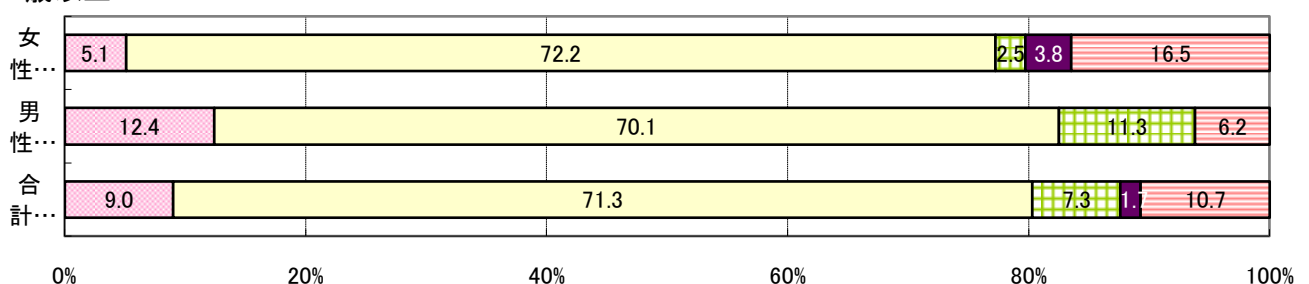
#### 50歳代



#### 60歳代



#### 70歳以上

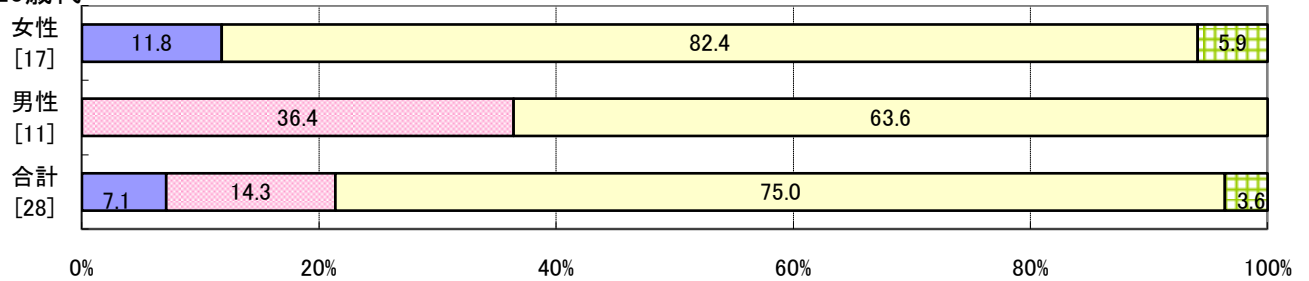


主に夫  
  夫婦が協力して  
  主に妻  
  家族が協力して  
  その他  
  無回答

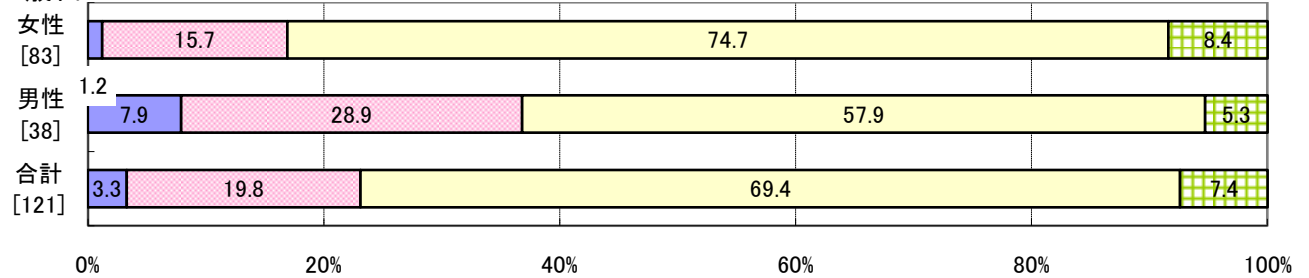
(問16 年代別)

## エ 食事の後かたづけ

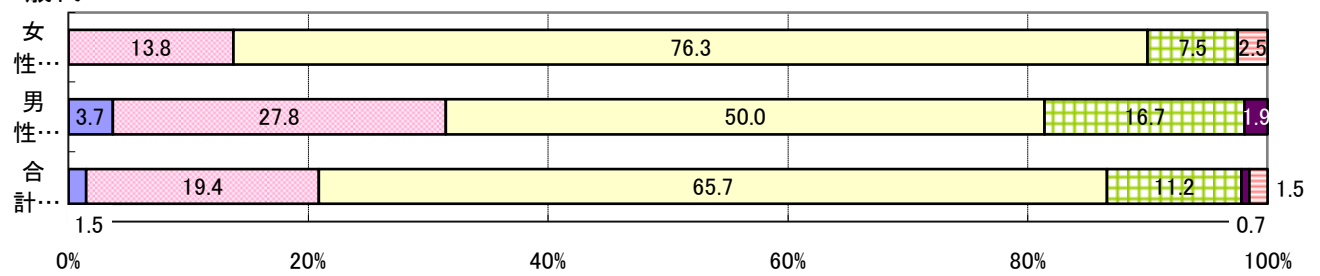
### 20歳代



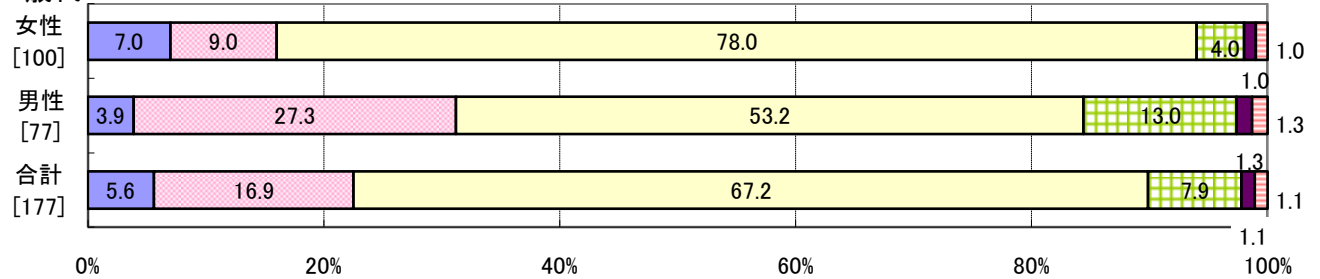
### 30歳代



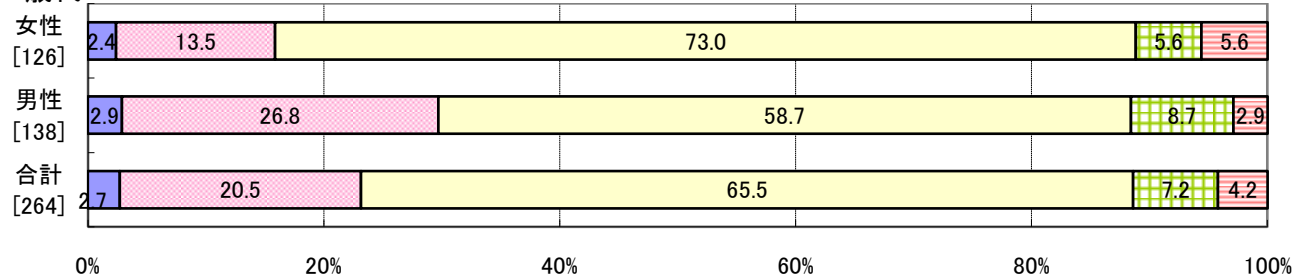
### 40歳代



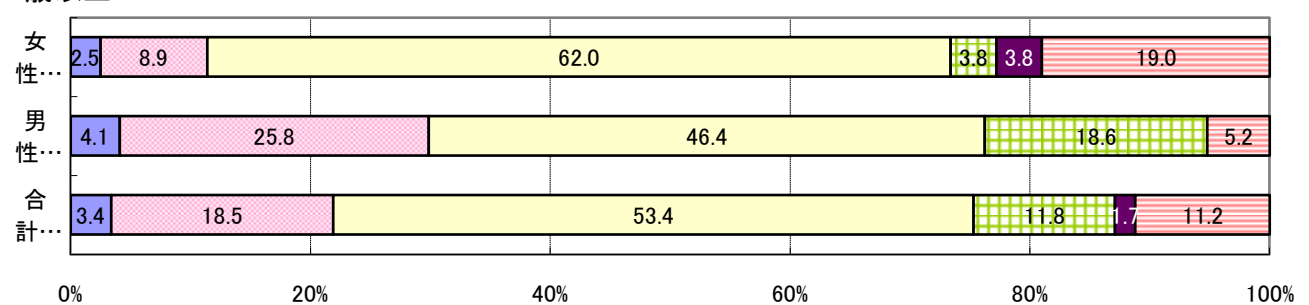
### 50歳代



### 60歳代



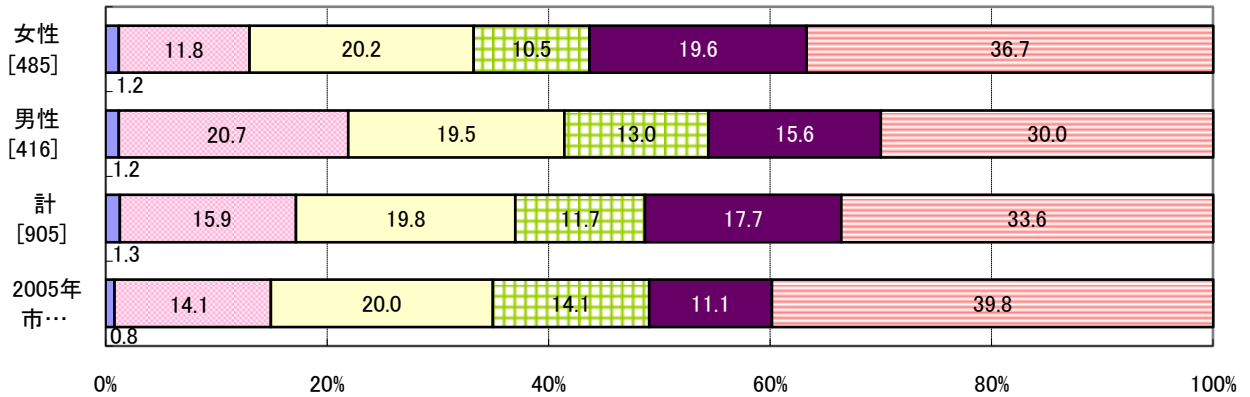
### 70歳以上



■主に夫 ■夫婦が協力して ■主に妻 ■家族が協力して ■その他 ■無回答

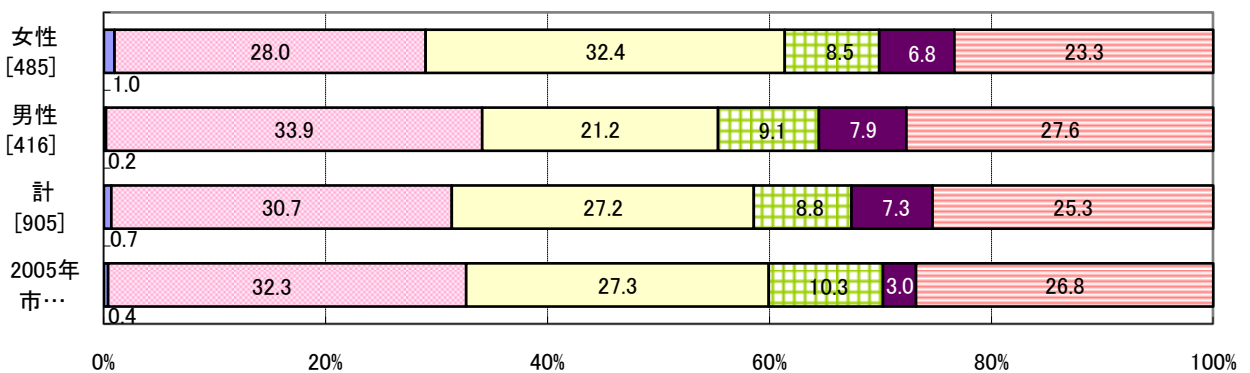
(オ) 家族の介護

|         | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------|-----|-----|-----|
| 主に夫     | 6   | 5   | 12  |
| 夫婦が協力して | 57  | 86  | 144 |
| 主に妻     | 98  | 81  | 179 |
| 家族が協力して | 51  | 54  | 106 |
| その他     | 95  | 65  | 160 |
| 無回答     | 178 | 125 | 304 |
| 計       | 485 | 416 | 905 |



(カ) 子どもの育児・教育

|         | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------|-----|-----|-----|
| 主に夫     | 5   | 1   | 6   |
| 夫婦が協力して | 136 | 141 | 278 |
| 主に妻     | 157 | 88  | 246 |
| 家族が協力して | 41  | 38  | 80  |
| その他     | 33  | 33  | 66  |
| 無回答     | 113 | 115 | 229 |
| 計       | 485 | 416 | 905 |



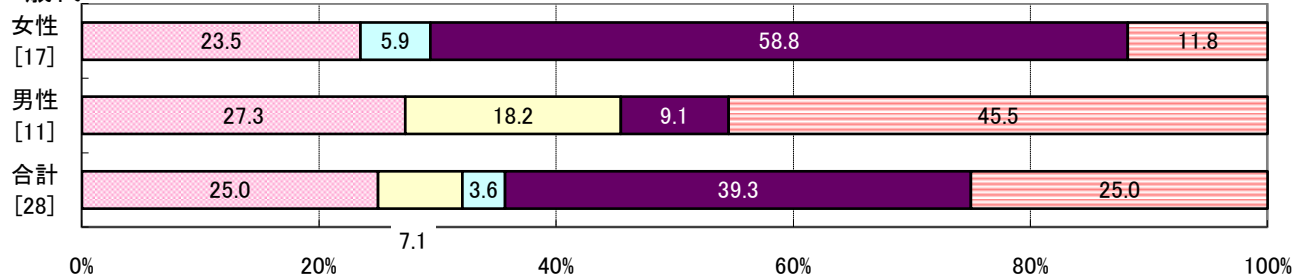
主に夫  
  夫婦が協力して  
  主に妻  
  家族が協力して  
  その他  
  無回答

「(カ) 子どもの育児・教育」については、「夫婦が協力して」行なっているが30.7%と最も高いが、その他の項目については、「主に妻」が行なっている割合が高くなっている。

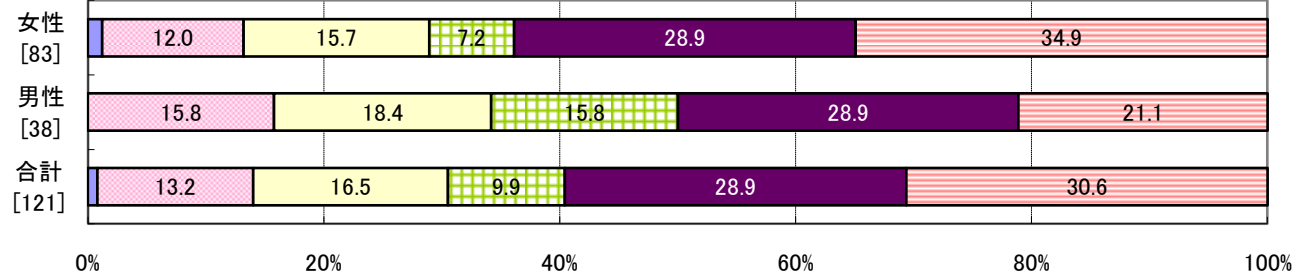
(問16 年代別)

## オ 家族の介護

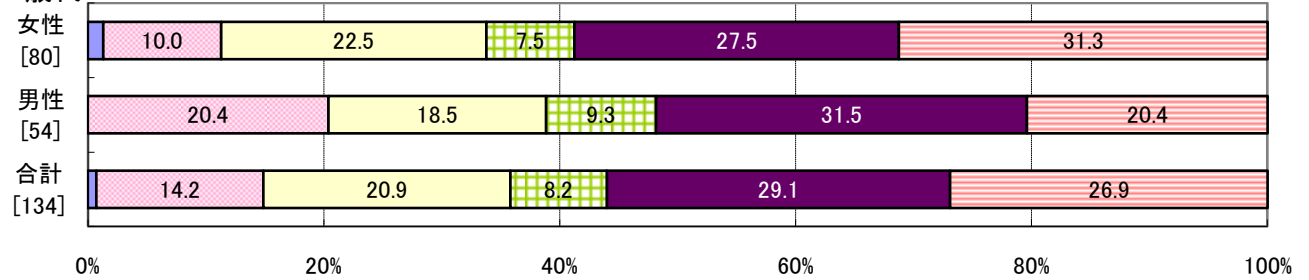
### 20歳代



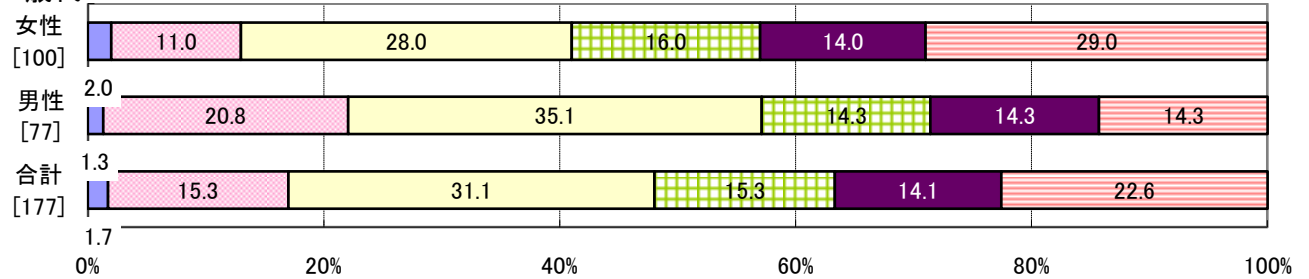
### 30歳代



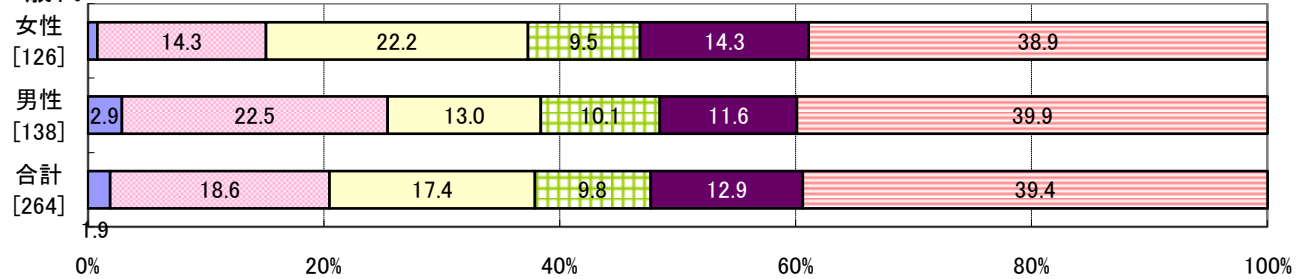
### 40歳代



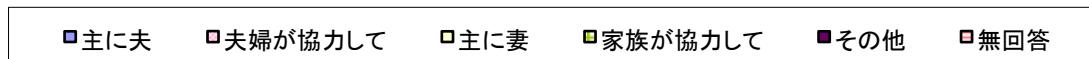
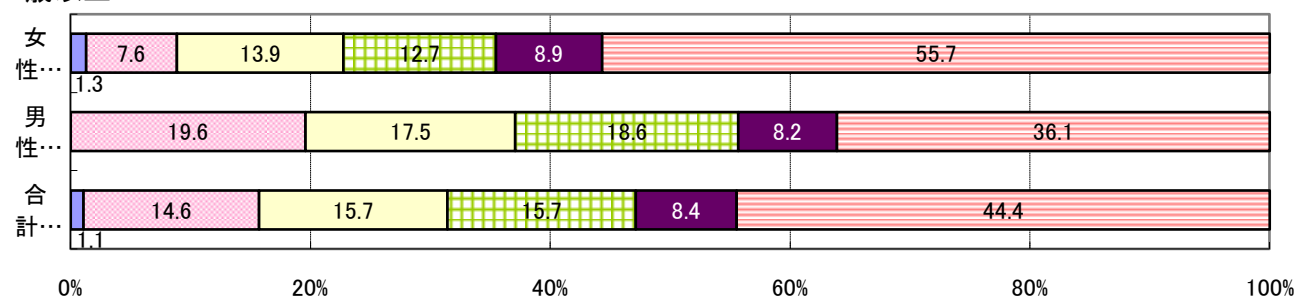
### 50歳代



### 60歳代



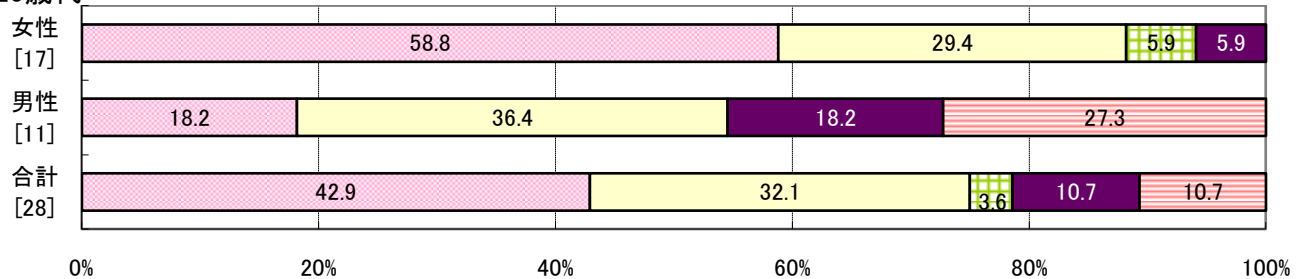
### 70歳以上



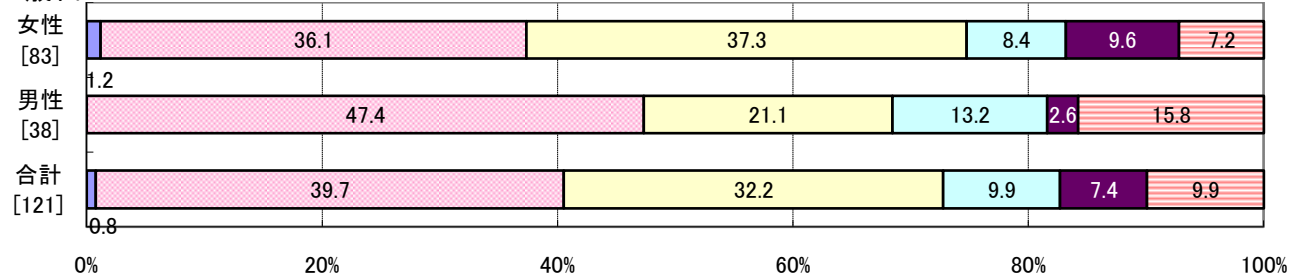
(問16 年代別)

### 子どもの育児・教育

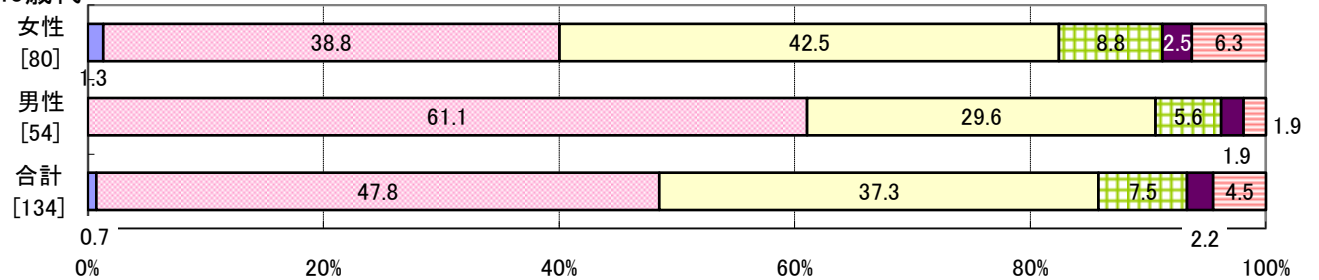
#### 20歳代



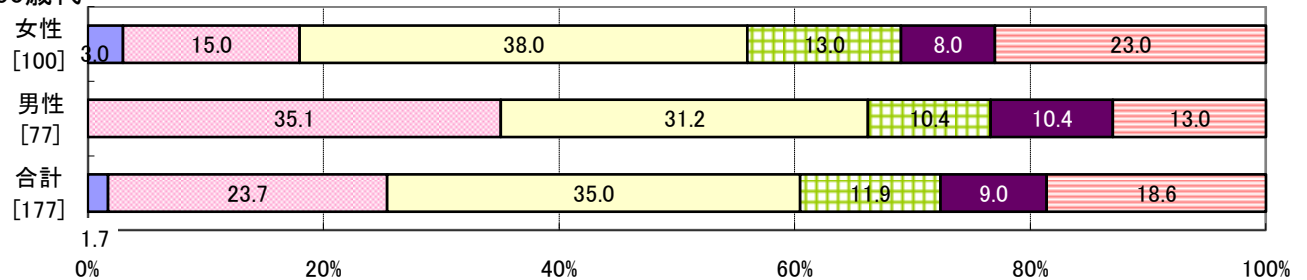
#### 30歳代



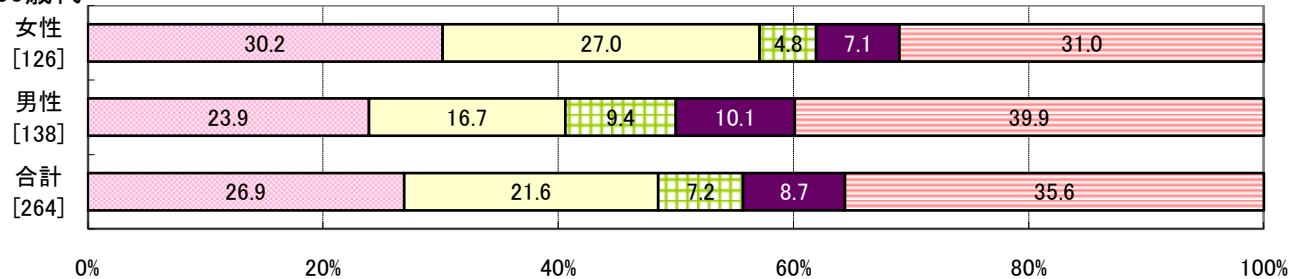
#### 40歳代



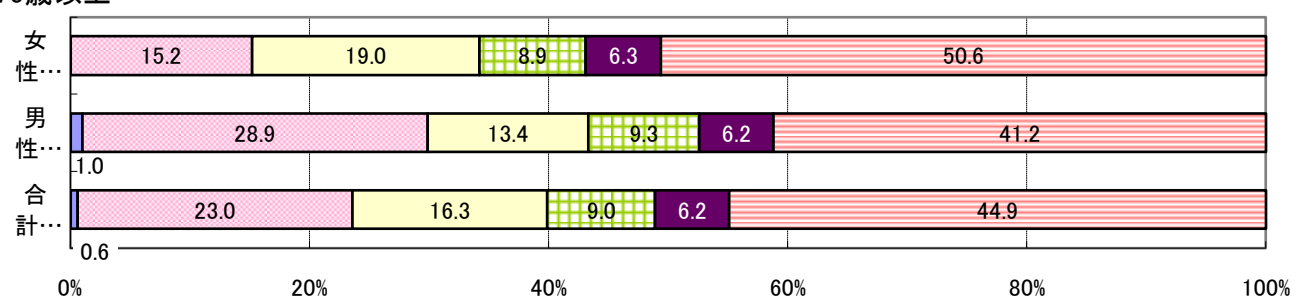
#### 50歳代



#### 60歳代



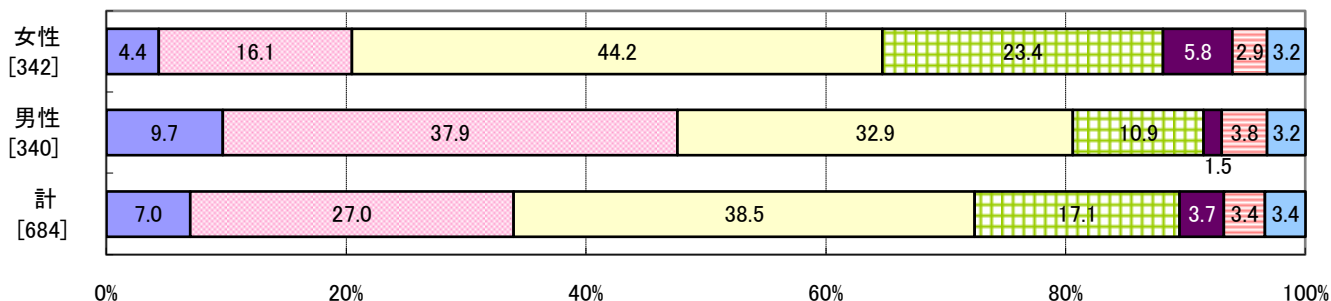
#### 70歳以上



■主に夫 ■夫婦が協力して ■主に妻 ■家族が協力して ■その他 ■無回答

問17 問5で「1. 4. 5.」のいずれかに○をつけた方(現在何らかの仕事をしている方)におたずねしま

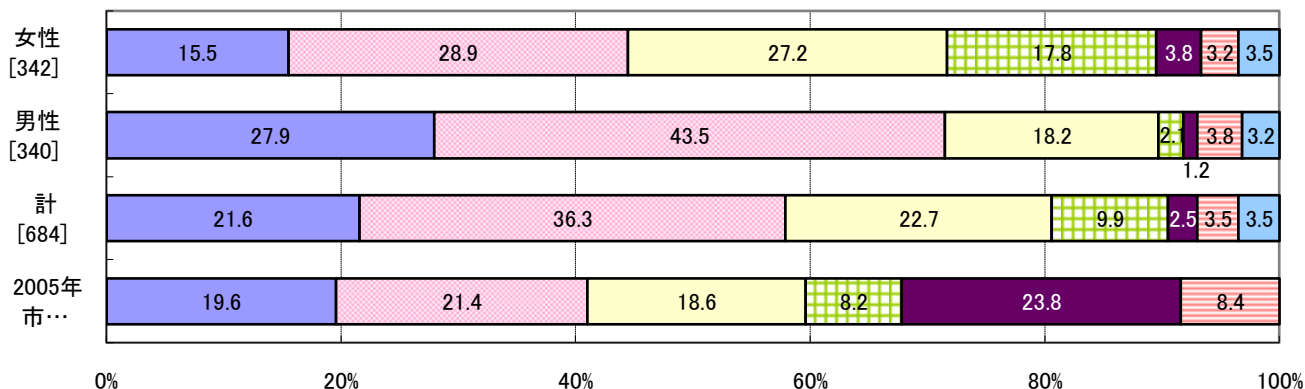
|                               | 女性  | 男性  | 全体  |
|-------------------------------|-----|-----|-----|
| 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念したい        | 15  | 33  | 48  |
| 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先したい | 55  | 129 | 185 |
| 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立したい     | 151 | 112 | 263 |
| 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先したい     | 80  | 37  | 117 |
| 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念したい        | 20  | 5   | 25  |
| わからない                         | 10  | 13  | 23  |
| 無回答                           | 11  | 11  | 23  |
| 計                             | 342 | 340 | 684 |



- 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念したい
- 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先したい
- 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立したい
- 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先したい
- 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念したい
- わからない
- 無回答

問18 問5で「1. 4. 5.」のいずれかに○をつけた方(現在何らかの仕事をしている方)におたずねします。あなたの現実(現状)に最も近いものを、次の中から1つ選んで○をつけてください。

|                                 | 女性  | 男性  | 全体  |
|---------------------------------|-----|-----|-----|
| 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している         | 53  | 95  | 148 |
| 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている | 99  | 148 | 248 |
| 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立させている     | 93  | 62  | 155 |
| 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている     | 61  | 7   | 68  |
| 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している         | 13  | 4   | 17  |
| わからない                           | 11  | 13  | 24  |
| 無回答                             | 12  | 11  | 24  |
| 計                               | 342 | 340 | 684 |

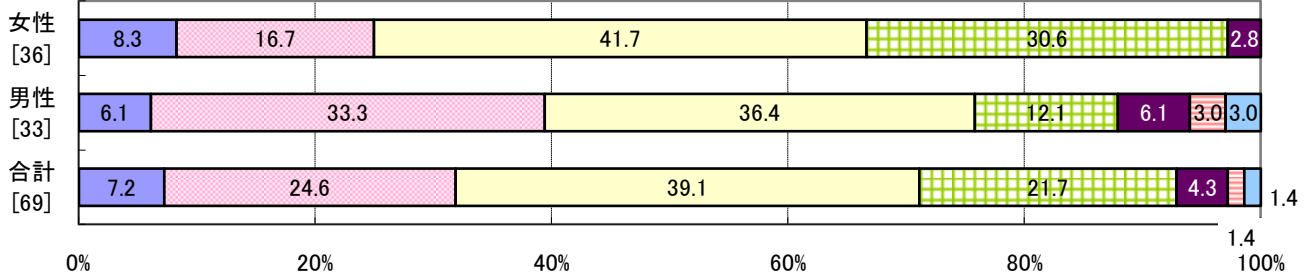


- 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している
- 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている
- 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立させている
- 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている
- 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している
- わからない
- 無回答

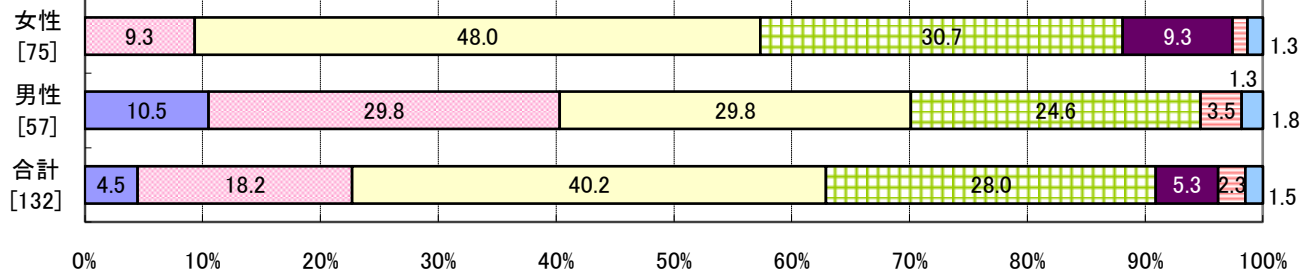
「家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立したい」と希望する割合が38.5%と最も高いが、現実では「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている」割合が最も高く36.3%となっている。

(問17 年代別)

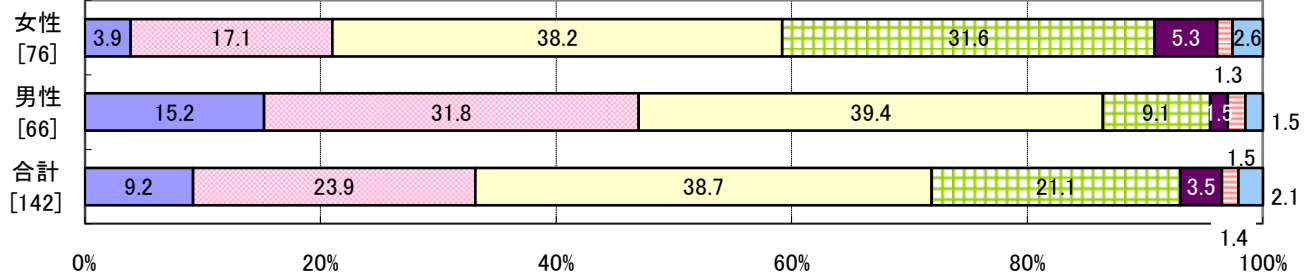
20歳代



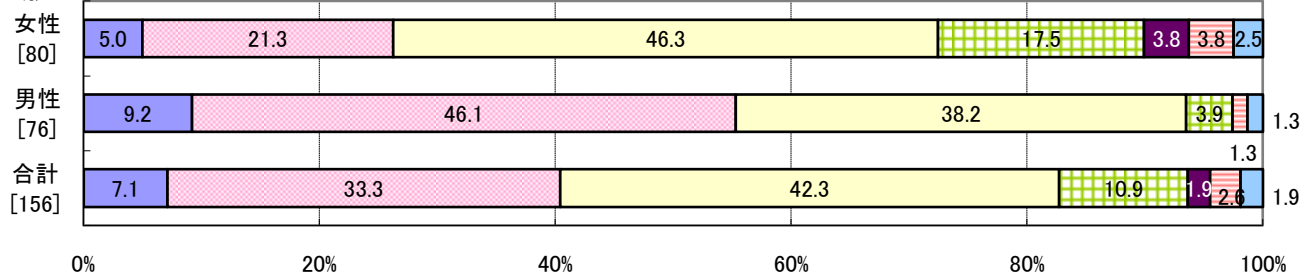
30歳代



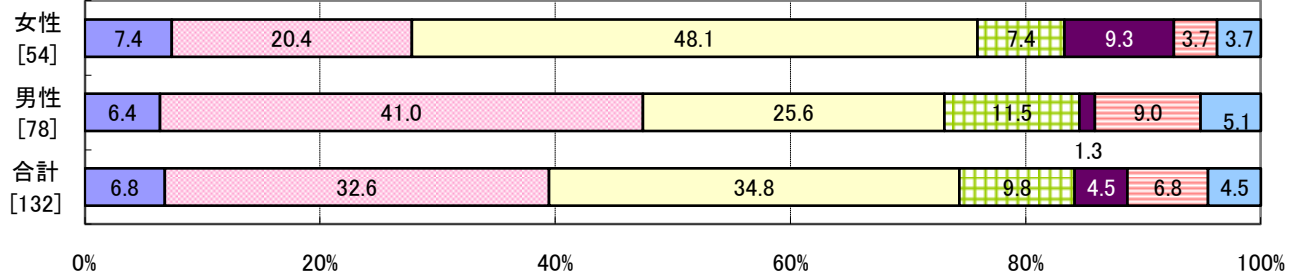
40歳代



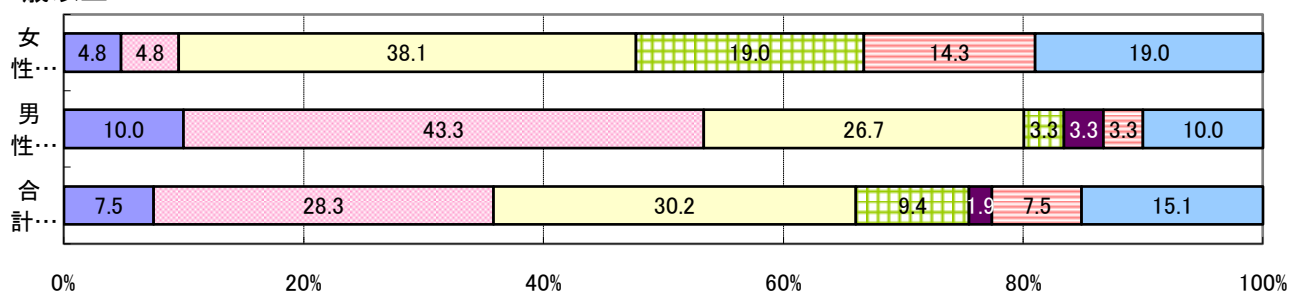
50歳代



60歳代



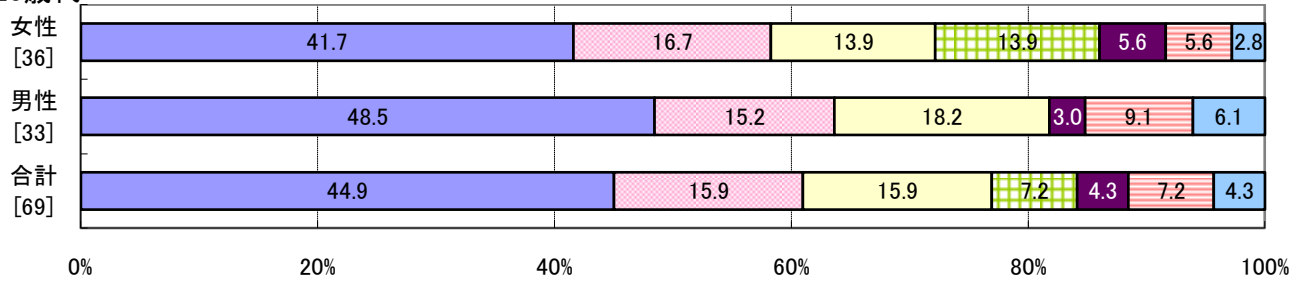
70歳以上



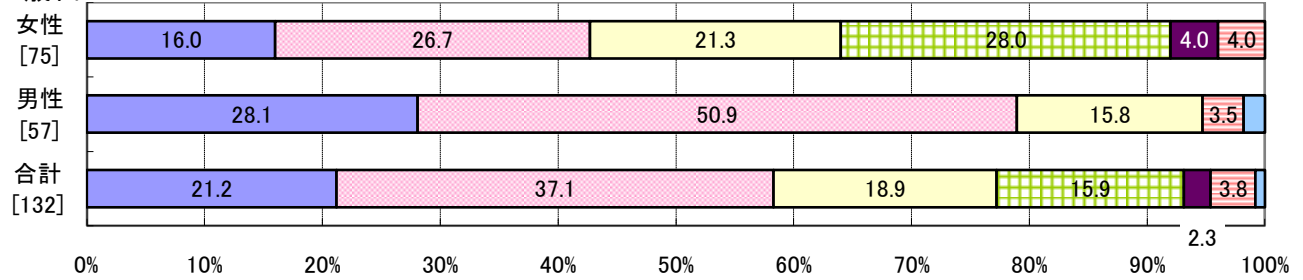
- 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念したい
- 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先したい
- 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立したい
- 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先したい
- 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念したい
- わからない
- 無回答

(問18 年代別)

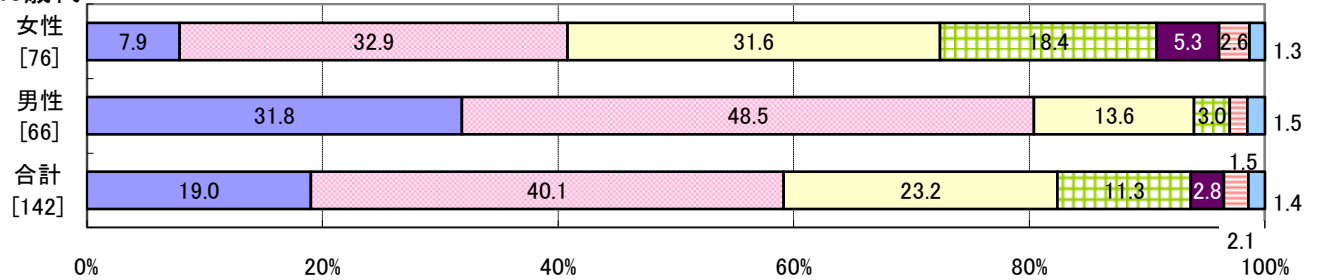
20歳代



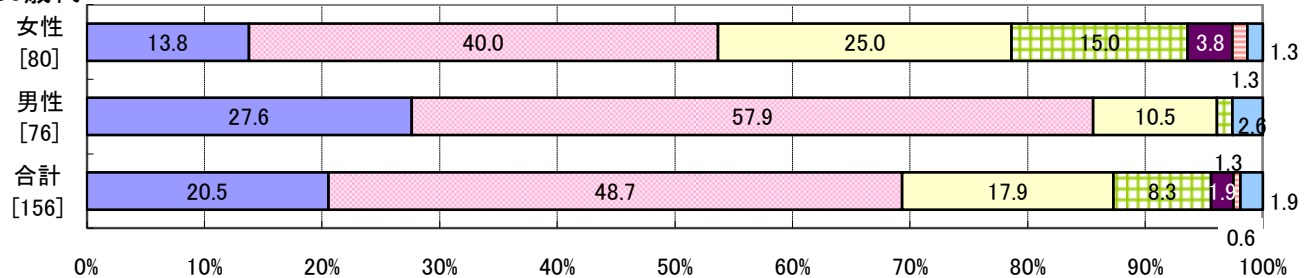
30歳代



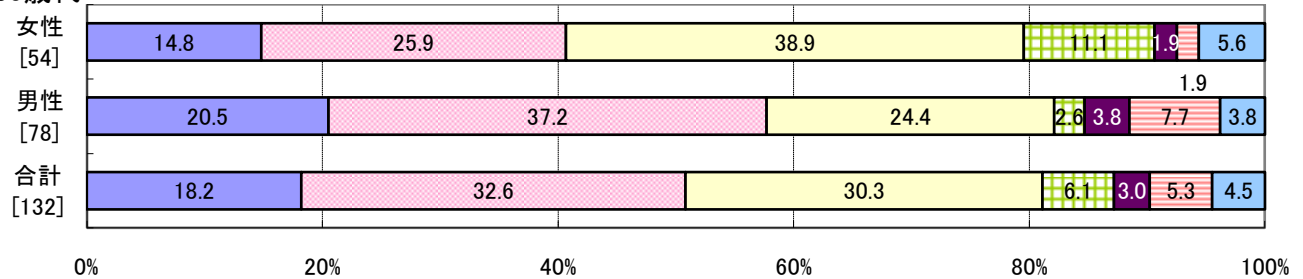
40歳代



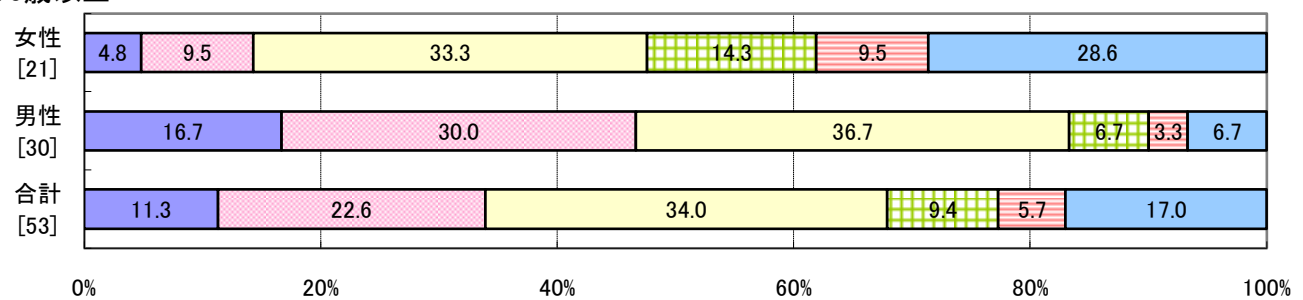
50歳代



60歳代



70歳以上

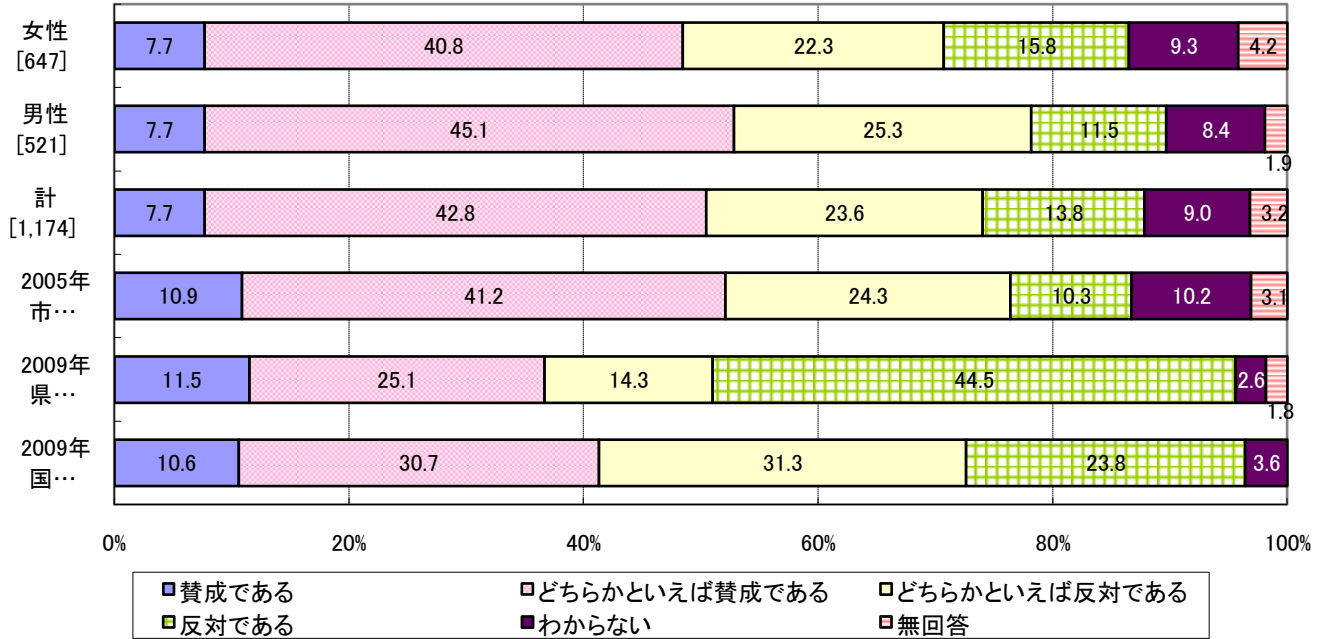


- 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している
- 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先している
- 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立している
- 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先している
- 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している
- わからない
- 無回答



問19 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成しますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

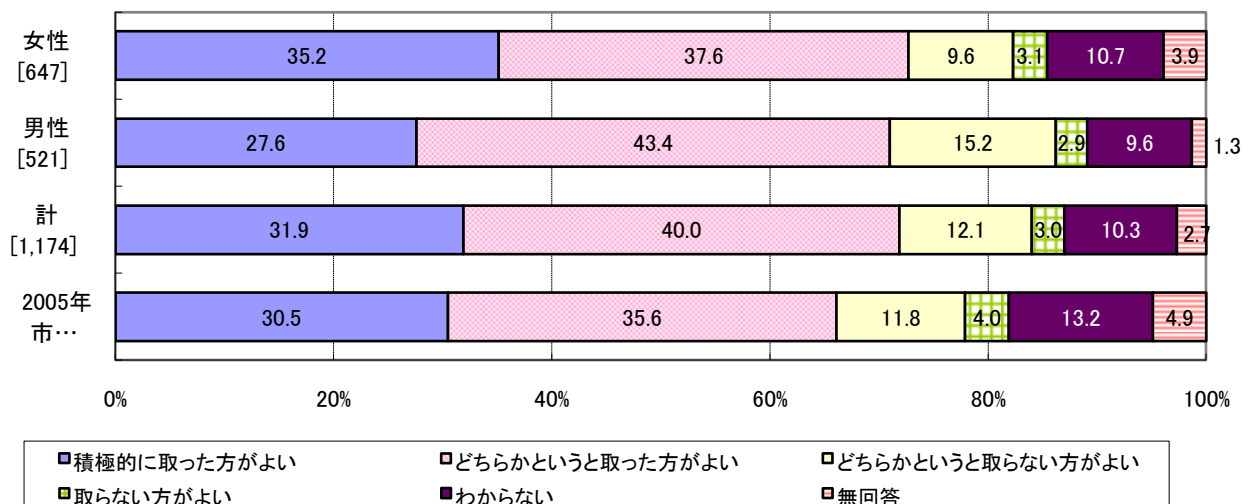
|               | 女性  | 男性  | 全体    |
|---------------|-----|-----|-------|
| 賛成である         | 50  | 40  | 90    |
| どちらかといえば賛成である | 264 | 235 | 502   |
| どちらかといえば反対である | 144 | 132 | 277   |
| 反対である         | 102 | 60  | 162   |
| わからない         | 60  | 44  | 106   |
| 無回答           | 27  | 10  | 37    |
| 計             | 647 | 521 | 1,174 |



「賛成である」・「どちらかといえば賛成である」の割合は半数を超えている。国・県の調査では、半数以上が「反対である」・「どちらかといえば反対である」と回答している。

問20 育児や家族の介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、あなたはどのように思いますか。次の中から

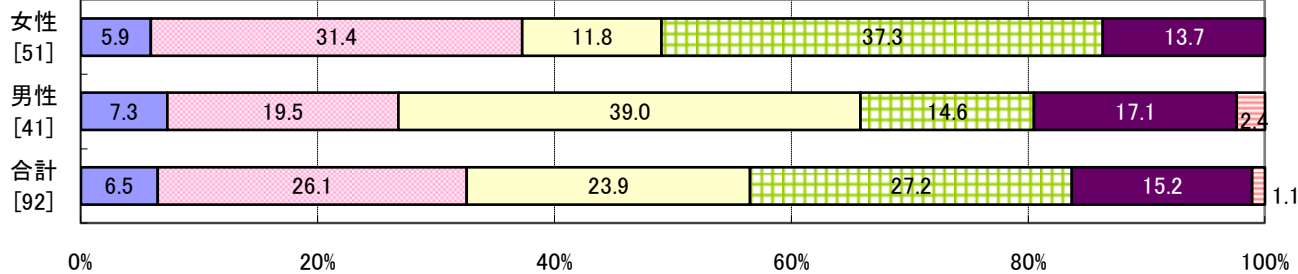
|                 | 女性  | 男性  | 全体    |
|-----------------|-----|-----|-------|
| 積極的に取った方がよい     | 228 | 144 | 374   |
| どちらかという取った方がよい  | 243 | 226 | 470   |
| どちらかという取らない方がよい | 62  | 79  | 142   |
| 取らない方がよい        | 20  | 15  | 35    |
| わからない           | 69  | 50  | 121   |
| 無回答             | 25  | 7   | 32    |
| 計               | 647 | 521 | 1,174 |



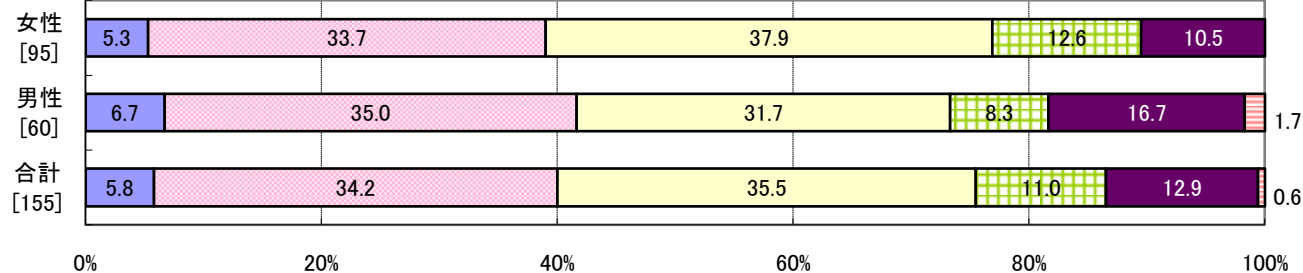
全体の71.9%が、「積極的に取った方がよい」・「どちらかという取った方がよい」と回答している。

(問19 年代別)

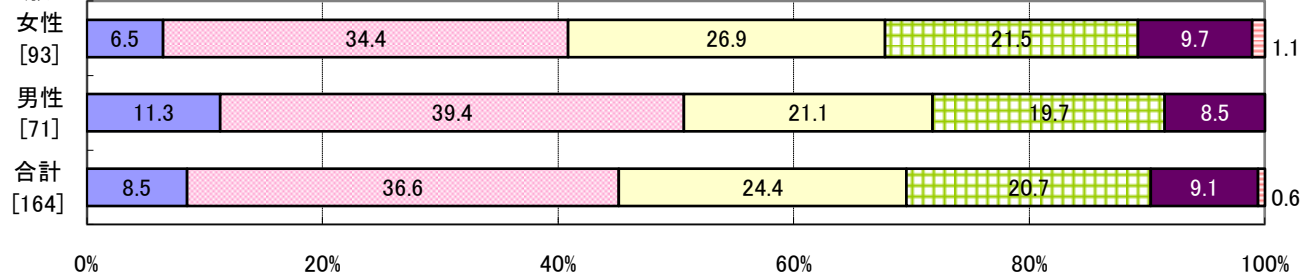
20歳代



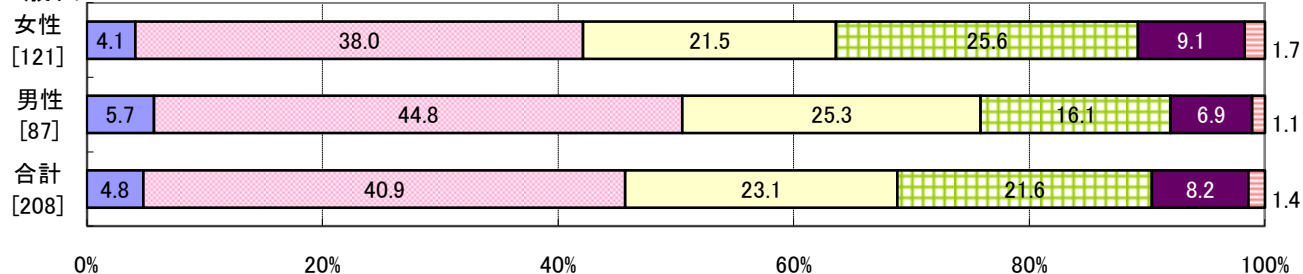
30歳代



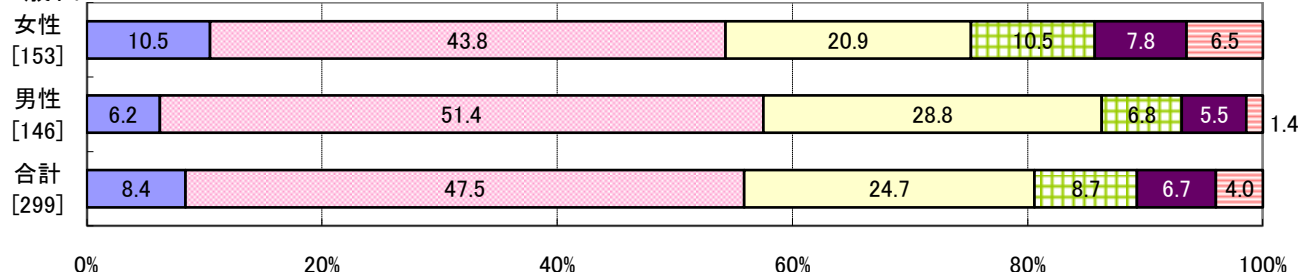
40歳代



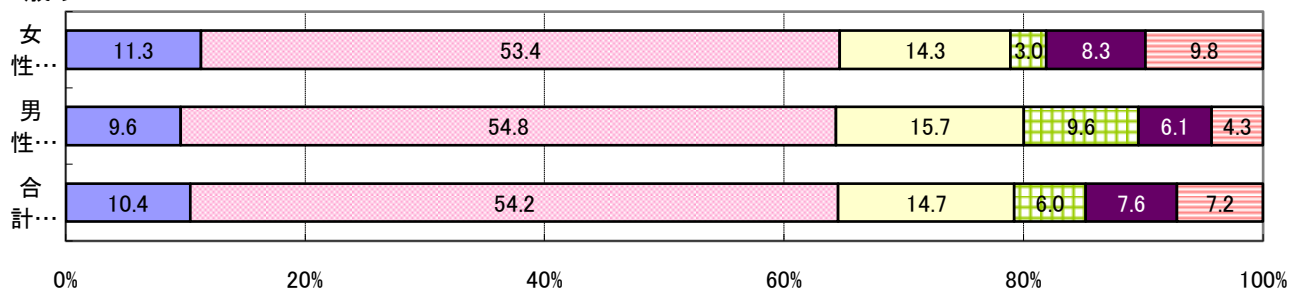
50歳代



60歳代



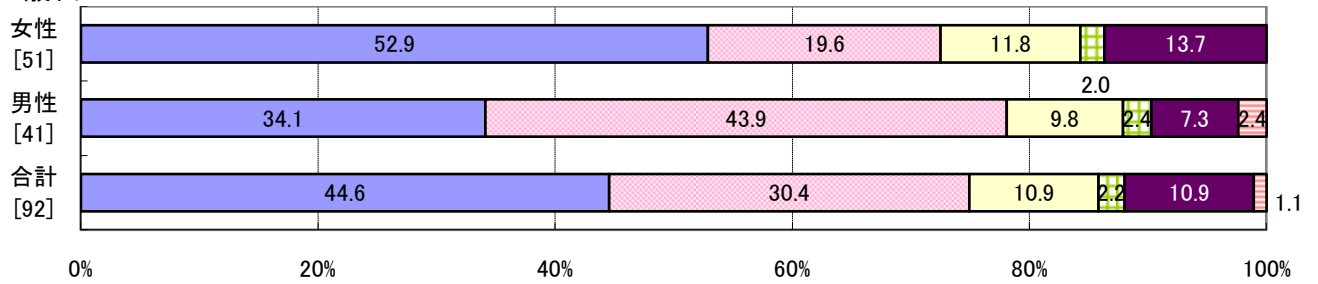
70歳以上



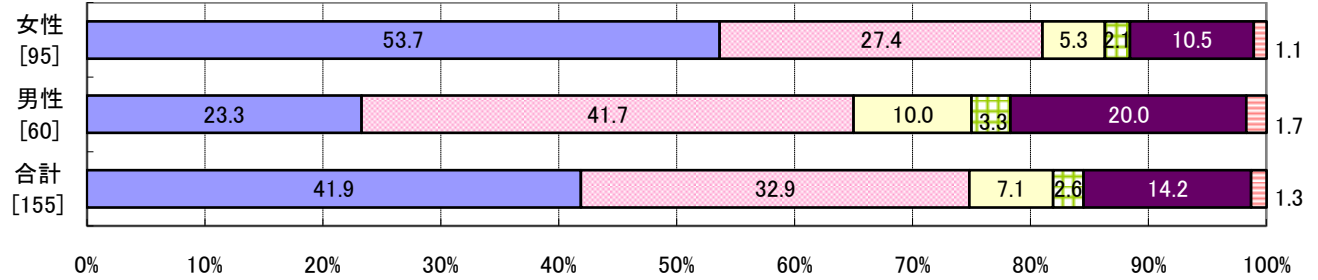
賛成である
  どちらかといえば賛成である
  どちらかといえば反対である
  反対である
  わからない
  無回答

(問20 年代別)

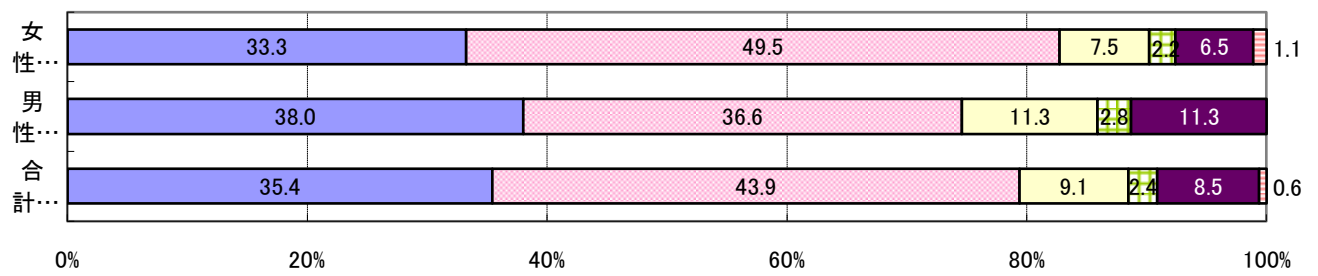
20歳代



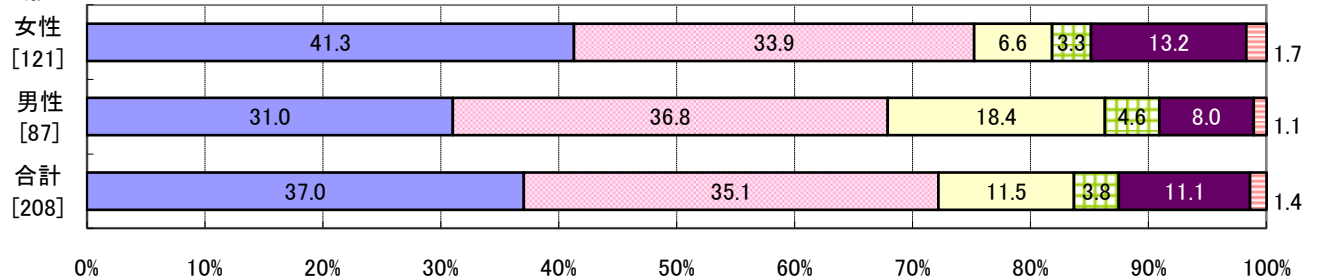
30歳代



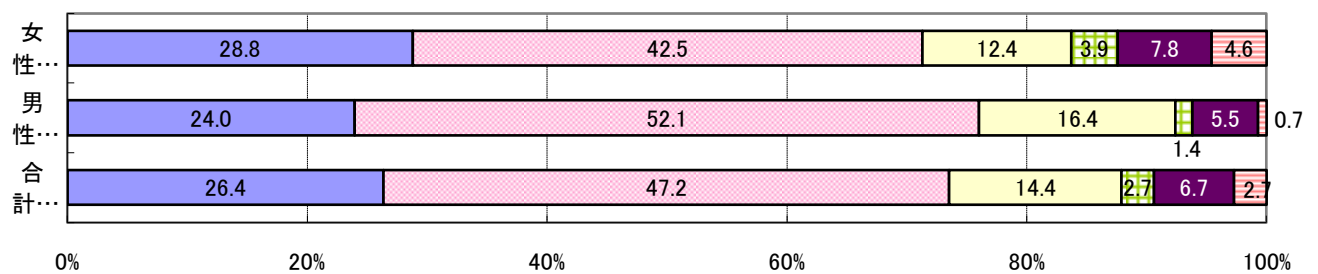
40歳代



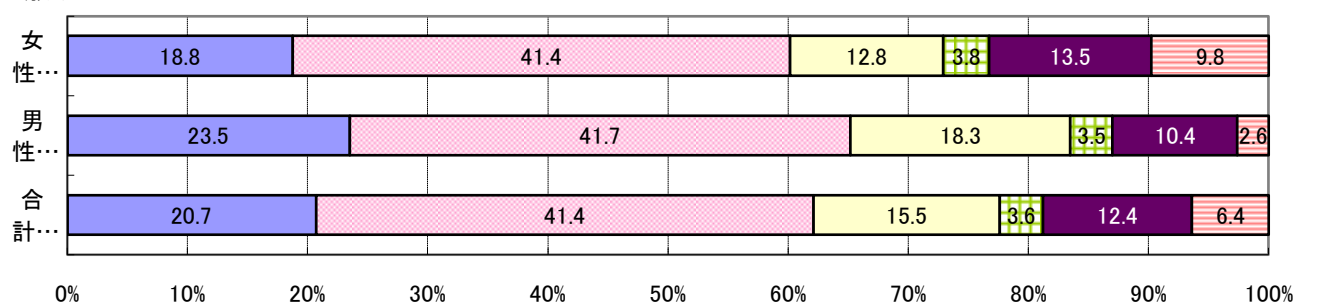
50歳代



60歳代



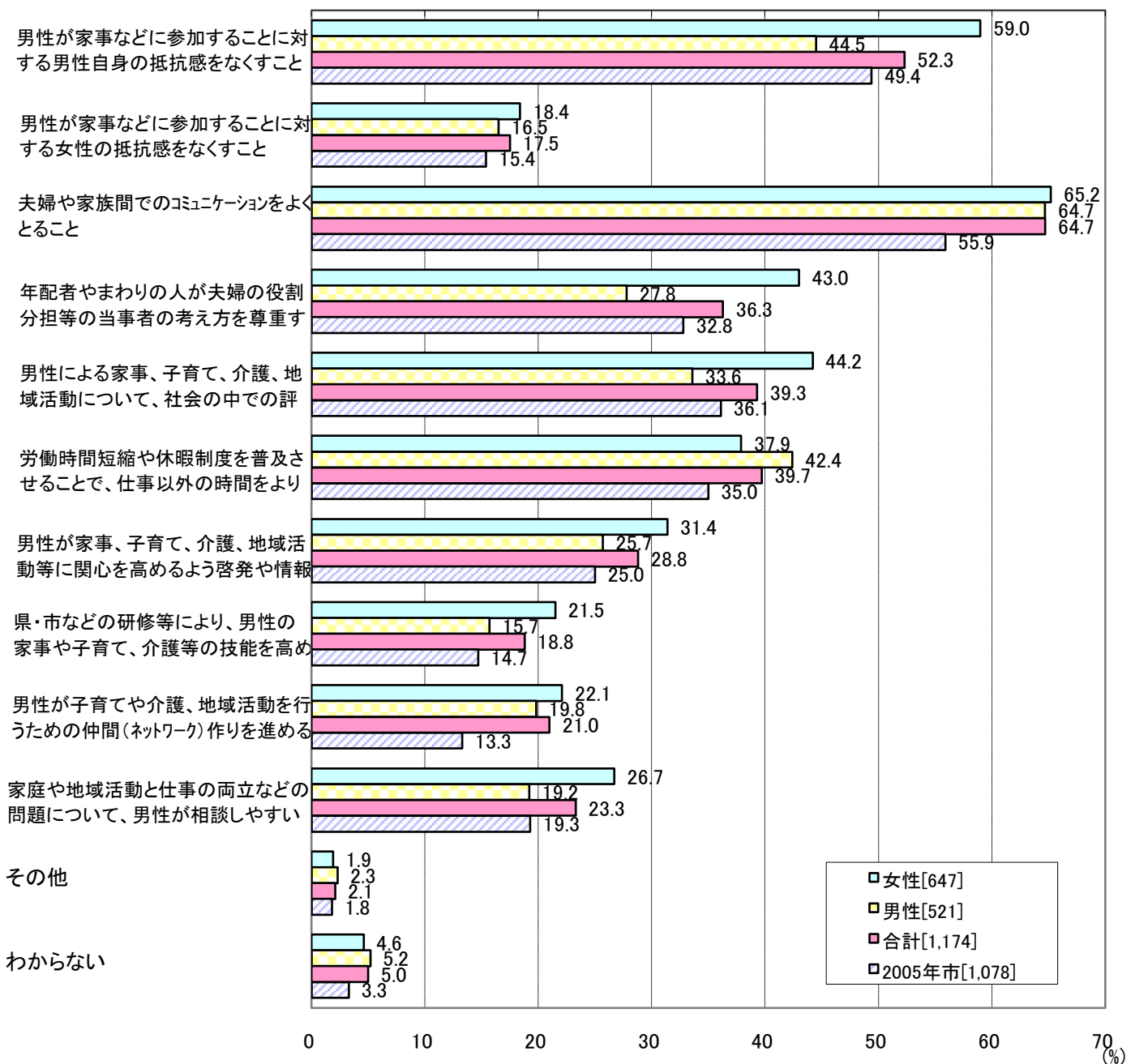
70歳以上



積極的に取った方がよい     
  どちらかというを取った方がよい     
  どちらかというと取らない方がよい  
 取らない方がよい     
  わからない     
  無回答

問21 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どの

|  | 女性  | 男性  |  | 女性    | 男性    |
|--|-----|-----|--|-------|-------|
| 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと           | 382 | 232 | 男性が家事、子育て、介護、地域活動等に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと  | 203   | 134   |
| 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと             | 119 | 86  | 県・市などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること      | 139   | 82    |
| 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくとること                   | 422 | 337 | 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)作りを進めること   | 143   | 103   |
| 年配者やまわりの人が夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること      | 278 | 145 | 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること | 173   | 100   |
| 男性による家事、子育て、介護、地域活動について、社会の中での評価を高めること     | 286 | 175 | その他                                      | 12    | 12    |
| 労働時間短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間をより多く持つようにすること | 245 | 221 | わからない                                    | 30    | 27    |
|  |     |     | 計  | 2,432 | 1,654 |

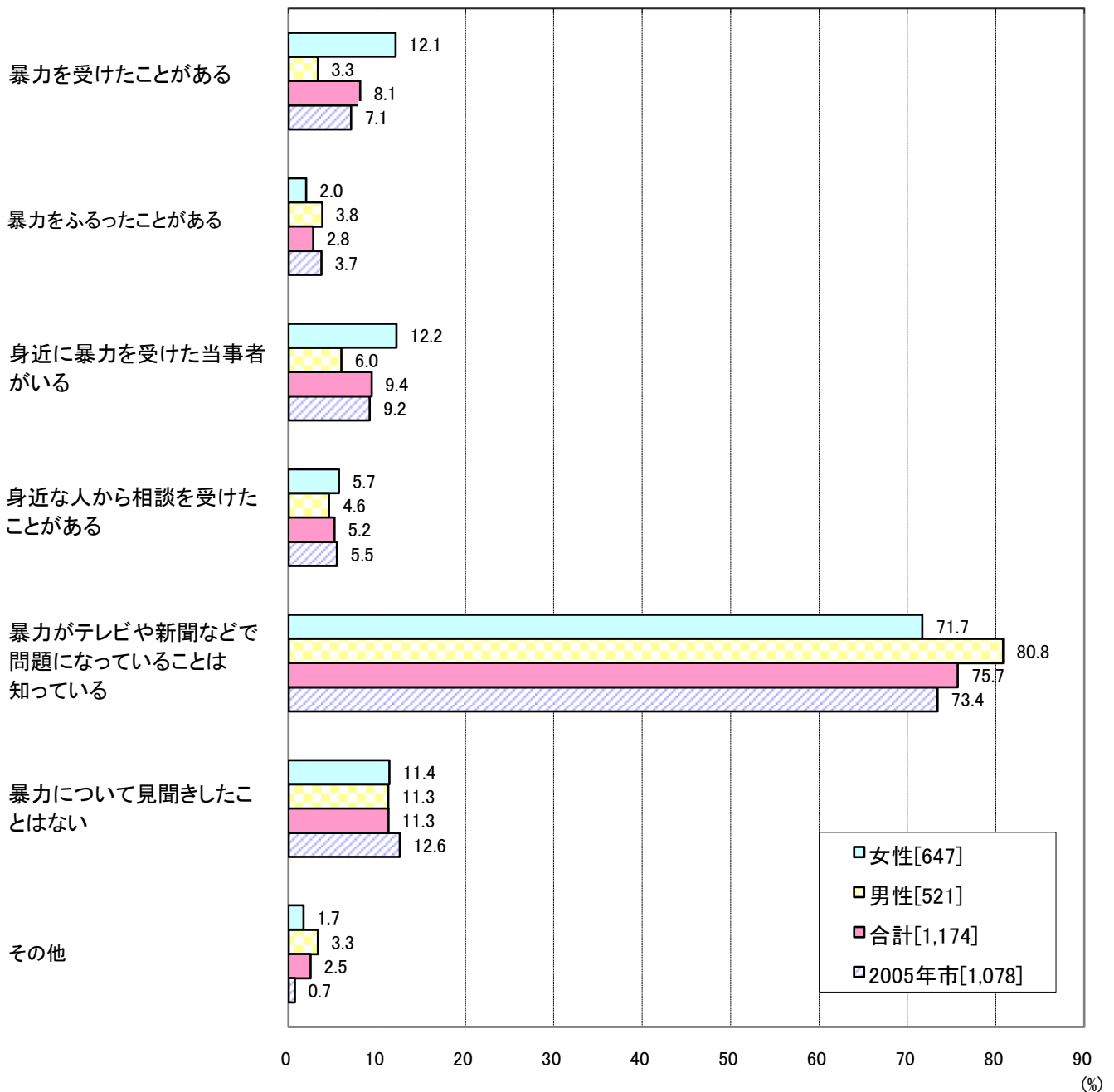


「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくとること」が64.7%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」52.3%となっている。

# ドメスティック・バイオレンス（DV）について

問22 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(夫婦、恋人同士などの親しい間で、身体的・精神的・経済的な暴力などを受けること)を経験したり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。あてはまるもの

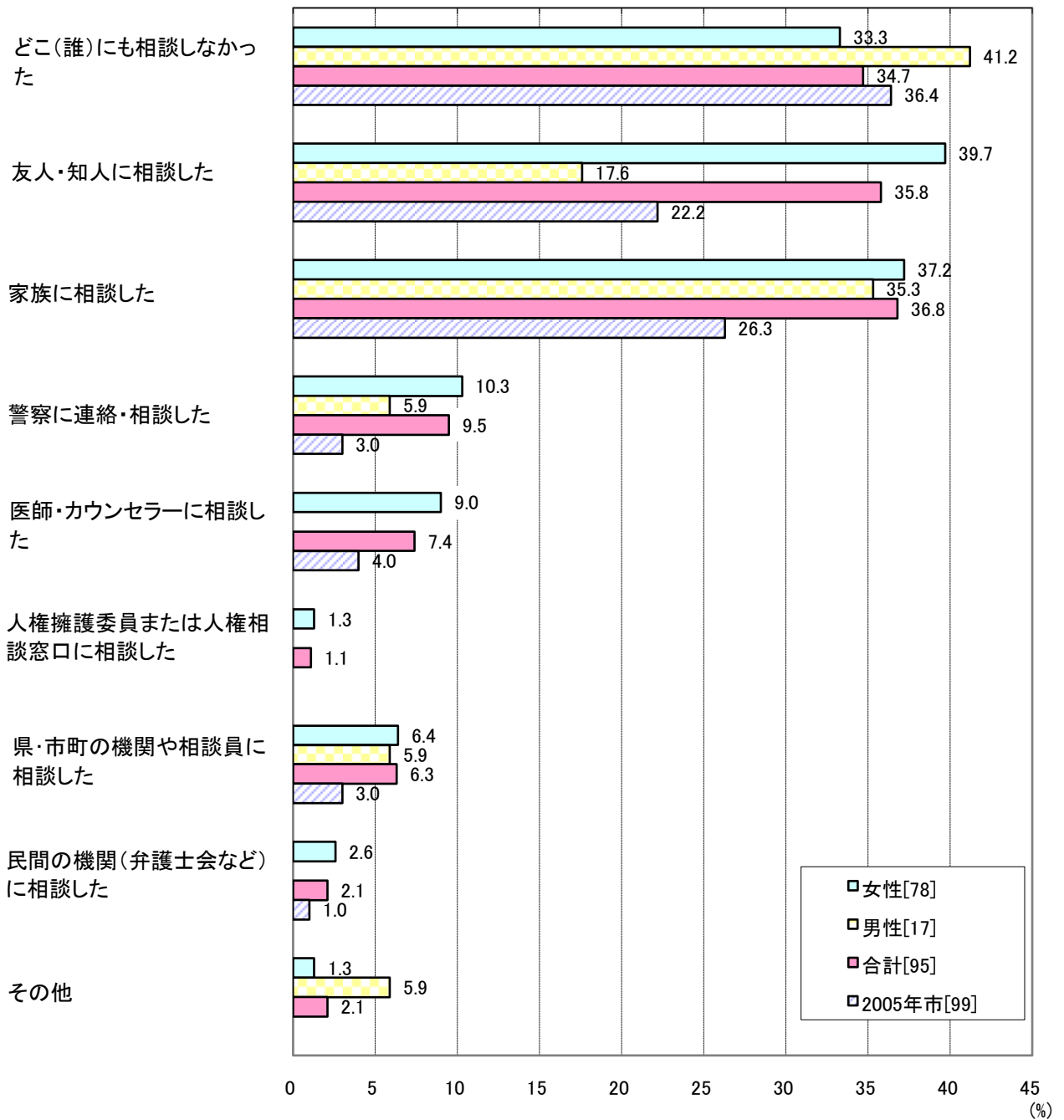
|                   | 女性 | 男性 |                              | 女性  | 男性  |
|-------------------|----|----|------------------------------|-----|-----|
| 暴力を受けたことがある       | 78 | 17 | 暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている | 464 | 421 |
| 暴力をふるったことがある      | 13 | 20 | 暴力について見聞きしたことはない             | 74  | 59  |
| 身近に暴力を受けた当事者がいる   | 79 | 31 | その他                          | 11  | 17  |
| 身近な人から相談を受けたことがある | 37 | 24 | 計                            | 756 | 589 |



「暴力を受けたことがある」と回答したのは、男性が3.3%であるのに対して、女性は12.1%となっている。「暴力をふるったことがある」と回答したのは、女性2.0%、男性3.8%となっている。女性の8人に1人が暴力を受けた経験を持っていることになる。

問23 問22で「1. 暴力を受けたことがある」と回答した方におたずねします。あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複

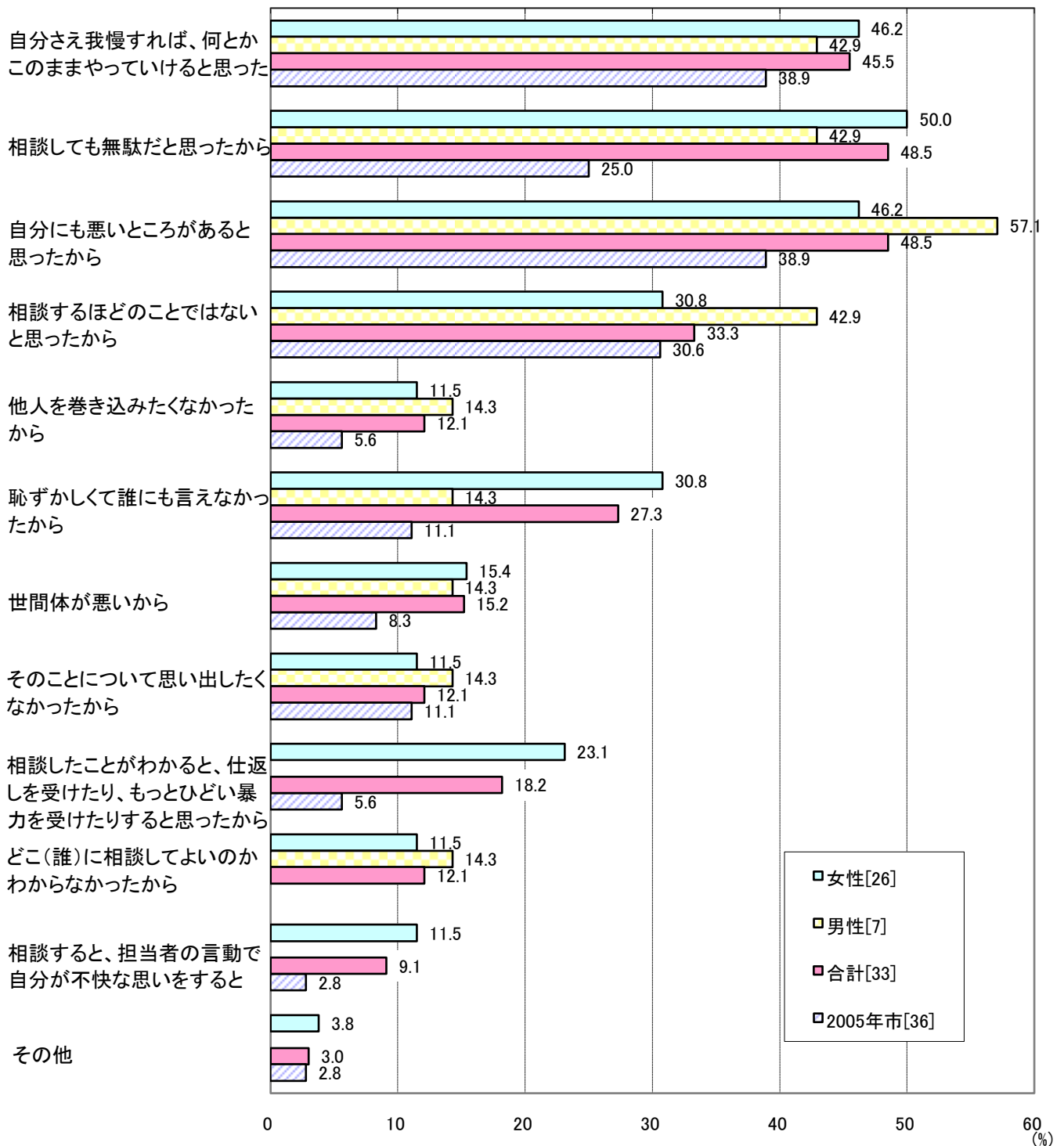
|                | 女性 | 男性 |                     | 女性  | 男性 |
|----------------|----|----|---------------------|-----|----|
| どこ(誰)にも相談しなかった | 26 | 7  | 人権擁護委員または人権相談窓口相談した | 1   | 0  |
| 友人・知人に相談した     | 31 | 3  | 県・市町の機関や相談員に相談した    | 5   | 1  |
| 家族に相談した        | 29 | 6  | 民間の機関(弁護士会など)に相談した  | 2   | 0  |
| 警察に連絡・相談した     | 8  | 1  | その他                 | 1   | 1  |
| 医師・カウンセラーに相談した | 7  | 0  | 計                   | 110 | 19 |



「家族に相談した」が36.8%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」35.8%となっている。一方、約3割は「どこ(誰)にも相談しなかった」と回答している。

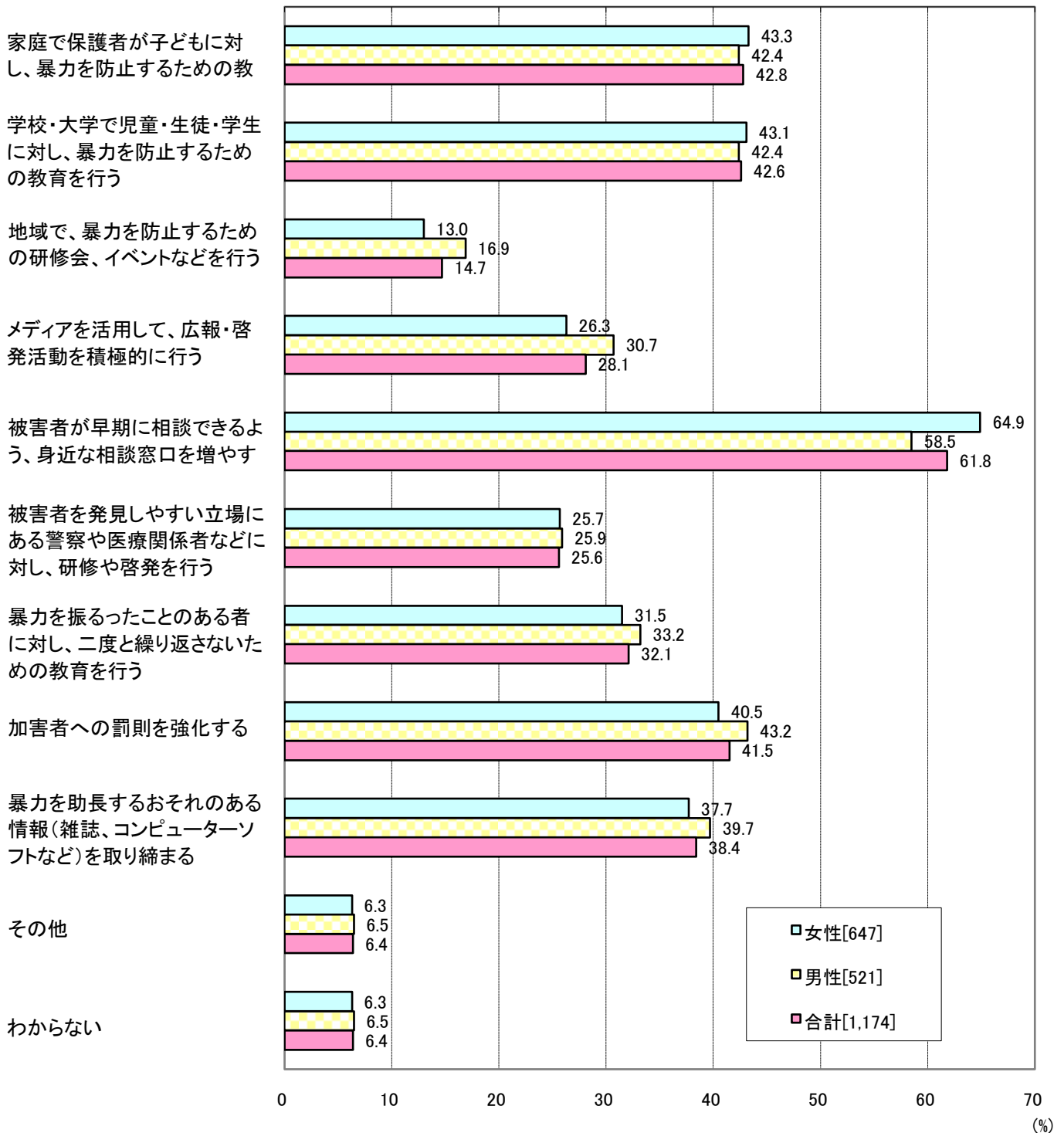
問24 問23で「1. どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

|                               | 女性 | 男性 |  | 女性 | 男性 |
|-------------------------------|----|----|--|----|----|
| 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから | 12 | 3  | 世間体が悪いから                                   | 4  | 1  |
| 相談しても無駄だと思ったから                | 13 | 3  | そのことについて思い出したくなかったから                       | 3  | 1  |
| 自分にも悪いところがあると思ったから            | 12 | 4  | 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから | 6  | 0  |
| 相談するほどのことではないと思ったから           | 8  | 3  | どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから                    | 3  | 1  |
| 他人を巻き込みたくなかったから               | 3  | 1  | 相談すると、担当者の言動で自分が不快な思いをすと思ったから              | 3  | 0  |
| 恥ずかしくて誰にも言えなかったから             | 8  | 1  | その他  | 1  | 0  |
|                               |    |    | 計  | 76 | 18 |



問25 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。あて

|                                       | 女性  | 男性  |  | 女性    | 男性    |
|---------------------------------------|-----|-----|--|-------|-------|
| 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う         | 280 | 221 | 暴力を振ったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う      | 204   | 173   |
| 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う     | 279 | 221 | 加害者への罰則を強化する                           | 262   | 225   |
| 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う           | 84  | 88  | 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる | 244   | 207   |
| メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う              | 170 | 160 | その他                                    | 41    | 34    |
| 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす            | 420 | 305 | わからない                                  | 41    | 34    |
| 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う | 166 | 135 | 計                                      | 2,191 | 1,803 |



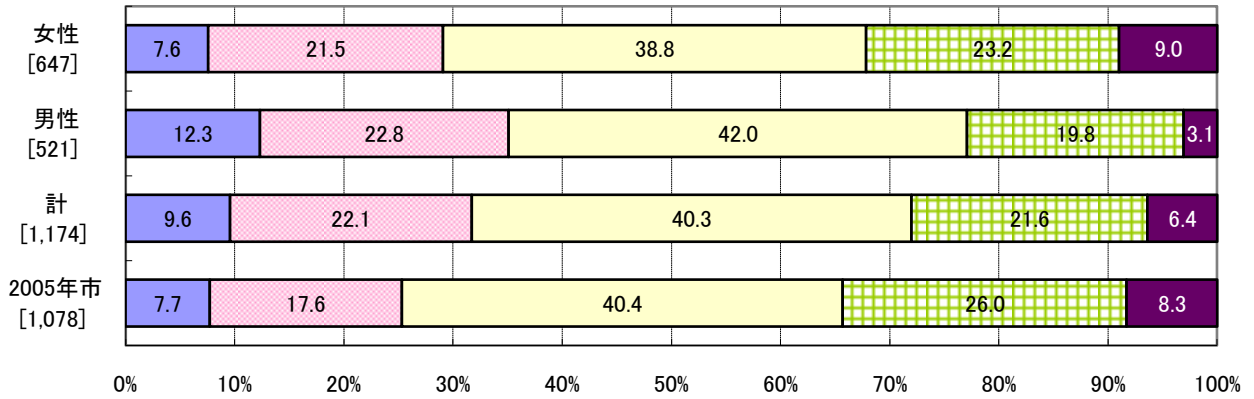


# 男女共同参画社会の形成について

問26 あなたは、次の言葉を知っていますか。(ア)から(ケ)までについて、あてはまる番号に○をつけてください。

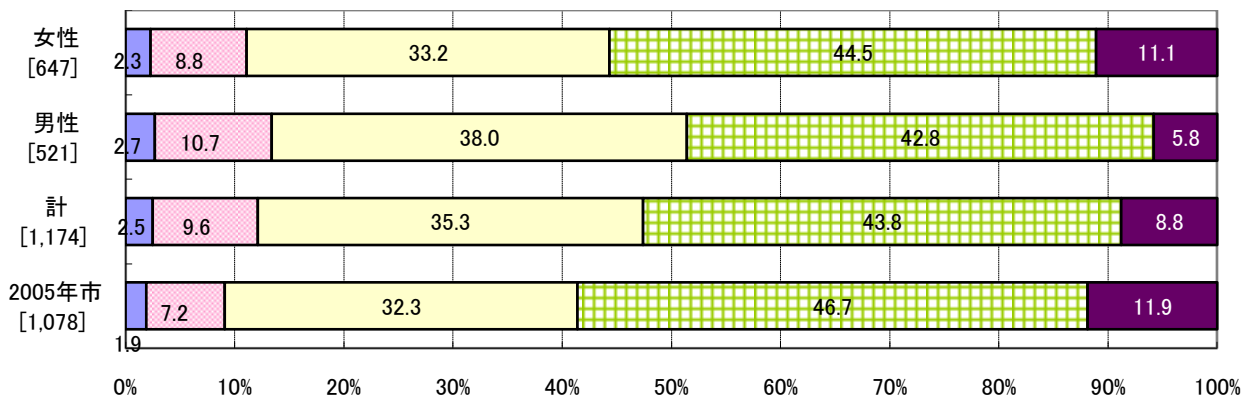
## (ア) 男女共同参画社会

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 49  | 64  | 113   |
| 少しは中身を知っている  | 139 | 119 | 259   |
| 言葉だけ聞いたことがある | 251 | 219 | 473   |
| まったく知らない     | 150 | 103 | 254   |
| 無回答          | 58  | 16  | 75    |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



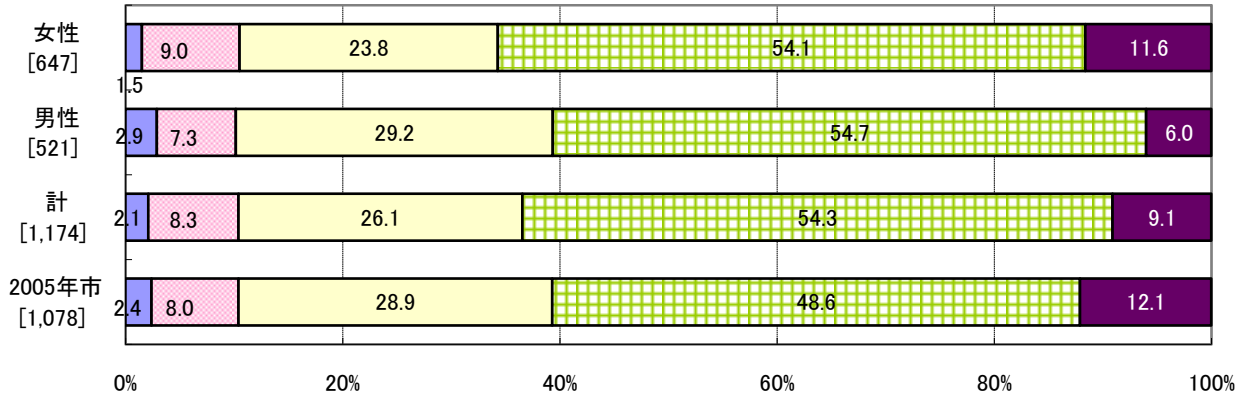
## (イ) 男女共同参画社会基本法

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 15  | 14  | 29    |
| 少しは中身を知っている  | 57  | 56  | 113   |
| 言葉だけ聞いたことがある | 215 | 198 | 415   |
| まったく知らない     | 288 | 223 | 514   |
| 無回答          | 72  | 30  | 103   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



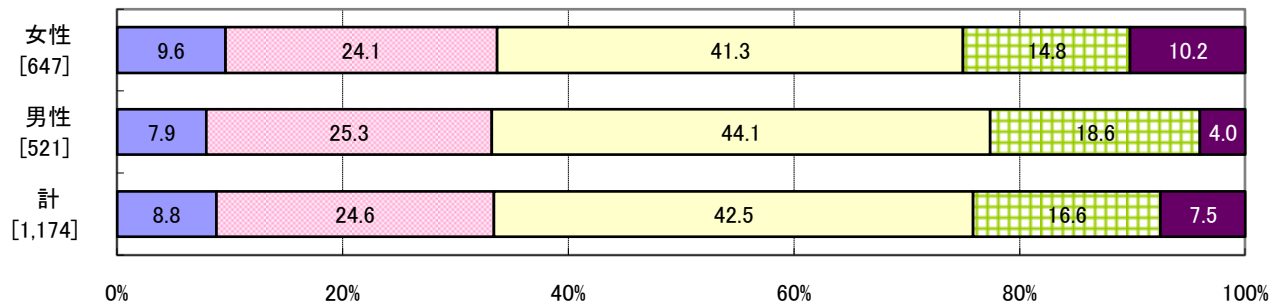
(ウ) 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約)

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 10  | 15  | 25    |
| 少しは中身を知っている  | 58  | 38  | 97    |
| 言葉だけ聞いたことがある | 154 | 152 | 307   |
| まったく知らない     | 350 | 285 | 638   |
| 無回答          | 75  | 31  | 107   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



(エ) 配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律(DV防止法)

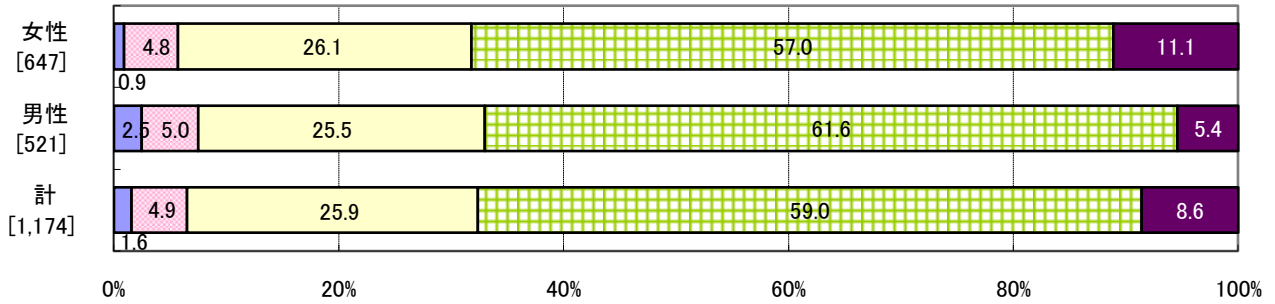
|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 62  | 41  | 103   |
| 少しは中身を知っている  | 156 | 132 | 289   |
| 言葉だけ聞いたことがある | 267 | 230 | 499   |
| まったく知らない     | 96  | 97  | 195   |
| 無回答          | 66  | 21  | 88    |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



よく知っている
  少しは中身を知っている
  言葉だけ聞いたことがある
  まったく知らない
  無回答

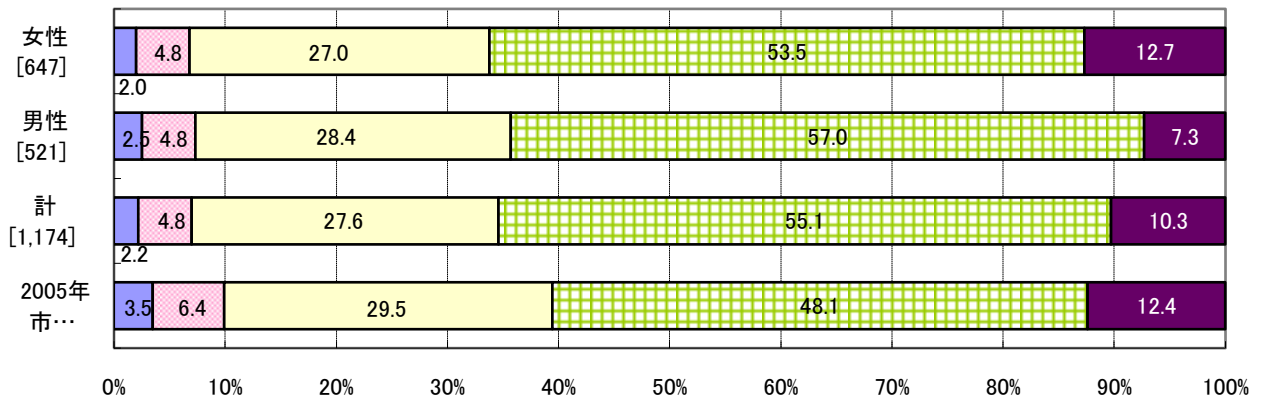
(オ) 丸亀市男女共同参画推進条例

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 6   | 13  | 19    |
| 少しは中身を知っている  | 31  | 26  | 57    |
| 言葉だけ聞いたことがある | 169 | 133 | 304   |
| まったく知らない     | 369 | 321 | 693   |
| 無回答          | 72  | 28  | 101   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



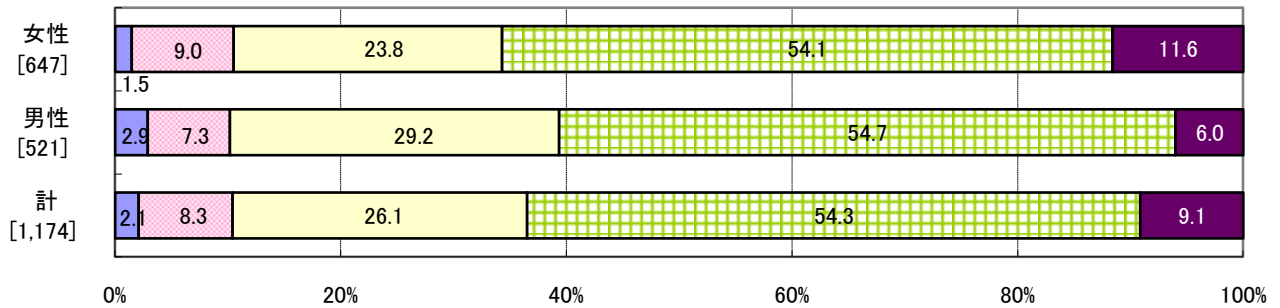
(カ) 男女共同参画都市宣言

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 13  | 13  | 26    |
| 少しは中身を知っている  | 31  | 25  | 56    |
| 言葉だけ聞いたことがある | 175 | 148 | 324   |
| まったく知らない     | 346 | 297 | 647   |
| 無回答          | 82  | 38  | 121   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



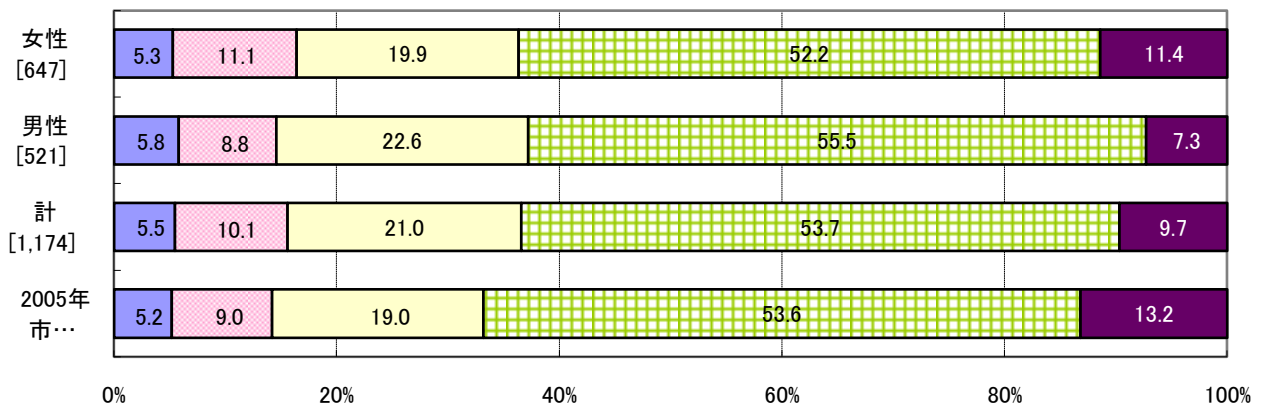
(キ) ポジティブ・アクション(積極的改善措置)

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 10  | 15  | 25    |
| 少しは中身を知っている  | 58  | 38  | 97    |
| 言葉だけ聞いたことがある | 154 | 152 | 307   |
| まったく知らない     | 350 | 285 | 638   |
| 無回答          | 75  | 31  | 107   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



(ク) ジェンダー(社会的性別)

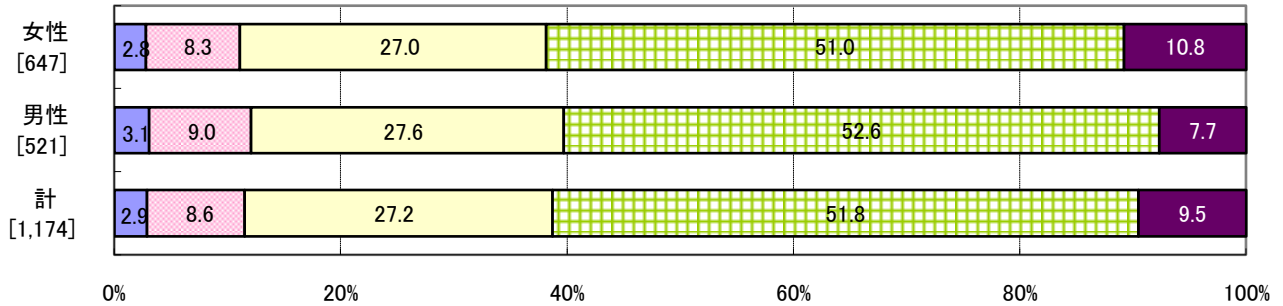
|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 34  | 30  | 64    |
| 少しは中身を知っている  | 72  | 46  | 118   |
| 言葉だけ聞いたことがある | 129 | 118 | 247   |
| まったく知らない     | 338 | 289 | 631   |
| 無回答          | 74  | 38  | 114   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |



よく知っている
  少しは中身を知っている
  言葉だけ聞いたことがある
  まったく知らない
  無回答

(ケ) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

|              | 女性  | 男性  | 全体    |
|--------------|-----|-----|-------|
| よく知っている      | 18  | 16  | 34    |
| 少しは中身を知っている  | 54  | 47  | 101   |
| 言葉だけ聞いたことがある | 175 | 144 | 319   |
| まったく知らない     | 330 | 274 | 608   |
| 無回答          | 70  | 40  | 112   |
| 計            | 647 | 521 | 1,174 |

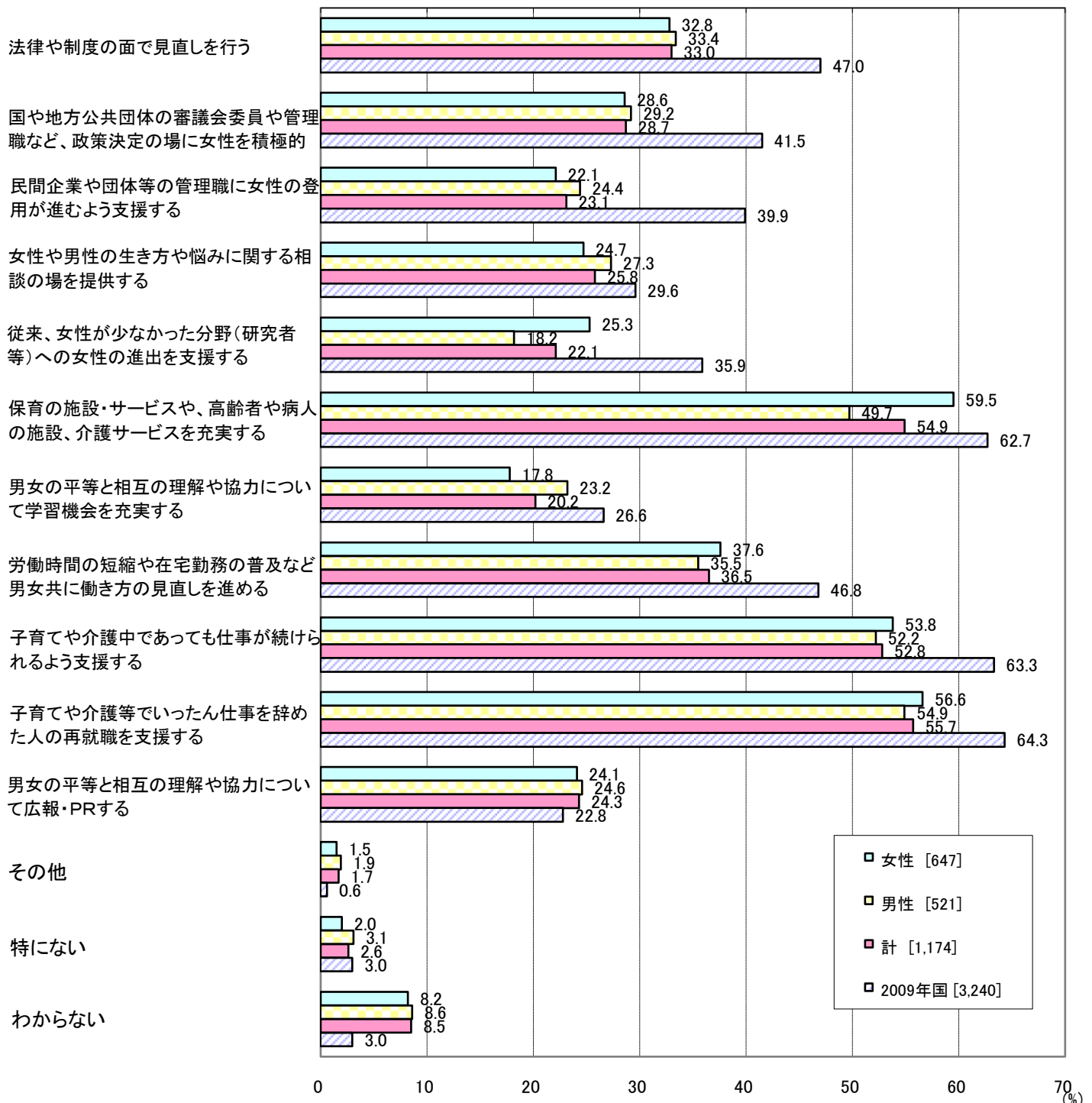


よく知っている
  少しは中身を知っている
  言葉だけ聞いたことがある
  まったく知らない
  無回答

「よく知っている」・「少しは中身を知っている」と回答があった項目で最も高かったのは、「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律（DV防止法）」33.4%である。次いで「男女共同参画社会」31.7%、「ジェンダー（社会的性別）」15.6%の順となっている。平成20年4月に施行した「丸亀市男女共同参画推進条例」は6.5%と認知度が低い。

問27 男女共同参画社会を実現していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

|   | 女性  | 男性  |                                  | 女性    | 男性    |
|---|-----|-----|----------------------------------|-------|-------|
| 法律や制度の面で見直しを行う                          | 212 | 174 | 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める | 243   | 185   |
| 国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する | 185 | 152 | 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する       | 348   | 272   |
| 民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する             | 143 | 127 | 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する     | 366   | 286   |
| 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する               | 160 | 142 | 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする        | 156   | 128   |
| 従来、女性が少なかった分野(研究者等)への女性の進出を支援する         | 164 | 95  | その他                              | 10    | 10    |
| 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設、介護サービスを充実する       | 385 | 259 | 特にない                             | 13    | 16    |
| 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する             | 115 | 121 | わからない                            | 53    | 45    |
|   |     |     | 計                                | 2,553 | 2,012 |



## 調査票および単純集計結果

### 男女共同参画に関する市民アンケート

市民の皆様には、日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
本市では、男女がお互いに人権を尊重し、ともに生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」の実現に向けて、皆様とともに様々な取り組みを進めています。

この調査は、次期男女共同参画プランの策定や今後の施策の実施に当たって、市民の皆様のお考えをお聞きするため、市内に在住する20歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただき、実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 調査票記入にあたってのお願い

このアンケートは無記名ですので、名前を記入する必要はありません。また、調査結果は統計的に処理しますので、ご迷惑をおかけすることは決してありません。ありのままをご記入いただきますようお願いいたします。

できるだけあて名のご本人がお答えください。

ボールペンまたは鉛筆などで、はっきりと書いてください。

回答していただく方や をつける数を指定している場合があります。質問をよく読んでお答えください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて（切手は不要です）

**平成22年1月29日（金）**までにポストへご投函ください。

この調査についてのお問い合わせなどは、こちらまでお願いいたします。

丸亀市企画財政部企画課 男女共同参画室 電話 24 - 8839

#### あなた自身のことについて

問1 あなたの性別は？ [N=1,174]

|             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 男性(44.4) | 2. 女性(55.1) | 無回答 (0.5) |
|-------------|-------------|-----------|

問2 あなたの年齢は？ [N=1,174]

|               |                |               |               |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 1. 20歳代(7.8)  | 2. 30歳代(13.2)  | 3. 40歳代(14.0) | 4. 50歳代(17.7) |
| 5. 60歳代(25.5) | 6. 70歳以上(21.4) | 無回答 (0.4)     |               |

問3 あなたは、結婚（婚姻届を出していない場合も含まます）していますか。[N=1,174]

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 結婚している(77.1)         | 2. 結婚していない(10.3) |
| 3. 結婚していたが離別・死別した(11.9) | 無回答 (0.7)        |

問4 あなたが、現在同居している家族の構成は、次のうちどれですか。[N=1,174]

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし）(8.4) | 2. 一世代世帯（夫婦だけ）(29.5)  |
| 3. 二世帯世帯（親と子）(45.7)  | 4. 三世帯世帯（親と子と孫）(11.9) |
| 5. その他の世帯(3.7)       | 無回答 (0.9)             |

### 仕事について

問5 あなた自身は、現在何らかの仕事をしていますか。病気や育児、介護などで一時休業している場合も、仕事をしているものとみなします。次の中から1つ選んで をつけてください。[N=1,174]

- |        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| (46.1) | 1. ずっと仕事をしている                   |
| ( 9.5) | 2. ずっと仕事をしていない                  |
| (31.7) | 3. 以前は仕事をしていましたが、今はやめている        |
| ( 2.0) | 4. 以前は仕事をしていなかったが、今はしている        |
| (10.2) | 5. 以前仕事をしていて、一度やめたが、今はまた仕事をしている |
| ( 0.5) | 無回答                             |

問6 問5で「 1. 4. 5. 」のいずれかに をつけた方（現在何らかの仕事をしている方）におたずねします。あなたの雇用形態は、次のどれにあてはまりますか。2つ以上の仕事についているときは、主なものを1つ選んで をつけてください。[N=684]

- |        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| (53.2) | 1. 常勤（フルタイム）で雇用されている                |
| (26.2) | 2. パートタイム（パート・アルバイト・契約社員など）で雇用されている |
| (12.4) | 3. 自営業（農林漁業・商工サービス業・自由業）の経営主である     |
| ( 7.3) | 4. 自営業の家族従事者である                     |
| ( 0.9) | 無回答                                 |

問7 問5で「 3. 5. 」のいずれかに をつけた方（仕事をやめたことのある方）におたずねします。あなたが仕事をやめたのは、どのような理由からですか。[N=492]

- |                |              |            |
|----------------|--------------|------------|
| 1. 結婚(9.6)     | 2. 出産(10.0)  | 3. 介護(6.5) |
| 4. 配偶者の転勤(1.4) | 5. その他(62.8) | 無回答 (9.8)  |



問8 問3で「1.結婚している」と答えた方におたずねします。あなたの配偶者は、現在何らかの仕事をしていますか。病気や育児、介護などで一時休業している場合も、仕事をしているものとみなします。[N=905]

|                  |                   |           |
|------------------|-------------------|-----------|
| 1. 仕事をしている(59.4) | 2. 仕事をしていない(36.4) | 無回答 (4.2) |
|------------------|-------------------|-----------|

問9 問8で配偶者が「1.仕事をしている」と回答した方におたずねします。配偶者の雇用形態は、次のどれにあてはまりますか。2つ以上の仕事についているときは、主なものを1つ選んで をつけてください。[N=538]

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| (54.1) | 1. 常勤(フルタイム)で雇用されている                |
| (21.6) | 2. パートタイム(パート・アルバイト・契約社員など)で雇用されている |
| (15.4) | 3. 自営業(農林漁業・商工サービス業・自由業)の経営主である     |
| (8.6)  | 4. 自営業の家族従事者である                     |
| (0.4)  | 無回答                                 |

問10 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つ選んで をつけてください。[N=1,174]

|        |   |
|--------|---|
| (1.9)  | 1. 女性は職業を持たないほうがよい                        |
| (3.7)  | 2. 結婚するまでは職業を持つほうがよい                      |
| (5.5)  | 3. 子どもができるまでは、職業を持つほうがよい                  |
| (33.5) | 4. 子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい                 |
| (42.1) | 5. 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つほうがよい |
| (6.7)  | 6. その他                                    |
| (5.0)  | 7. わからない                                  |
| (1.5)  | 無回答                                       |

### 男女平等について

問11 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)までについて、あてはまると思う番号に をつけてください。[N=1,174]

|          | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 男女平等である | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない | 無回答 |
|----------|-----------------|--------------------|---------|--------------------|-----------------|-------|-----|
| (ア) 家庭生活 | 14.1            | 44.6               | 24.9    | 5.9                | 1.3             | 6.7   | 2.5 |
| (イ) 職場   | 15.0            | 45.0               | 21.0    | 4.3                | 0.7             | 8.7   | 5.4 |

|                      | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 男女平等である | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない | 無回答 |
|----------------------|-----------------|--------------------|---------|--------------------|-----------------|-------|-----|
| (ウ) 学校教育の場           | 1.8             | 11.4               | 60.5    | 4.0                | 0.3             | 16.0  | 6.0 |
| (エ) 政治の場             | 21.5            | 41.8               | 18.6    | 1.4                | 0.3             | 10.9  | 5.5 |
| (オ) 法律や制度            | 6.4             | 25.6               | 38.9    | 6.6                | 0.9             | 14.9  | 6.6 |
| (カ) 社会通念・慣習・しきたりなど   | 19.4            | 52.0               | 11.6    | 2.6                | 0.4             | 8.1   | 5.9 |
| (キ) 自治会やNPOなどの地域活動の場 | 4.9             | 31.9               | 37.6    | 3.8                | 0.7             | 16.0  | 5.0 |
| (ク) 社会全体             | 8.4             | 53.8               | 18.3    | 4.3                | 0.5             | 9.5   | 5.0 |

問 12 あなたは、男女平等の社会をつくるために、学校教育の場で力を入れることは必要だと思いますか。(ア)から(カ)までについて、あてはまると思う番号に をつけてください。[N=1, 174]

|                                       | 必要だと思う | 必要ではない | わからない | 無回答 |
|---------------------------------------|--------|--------|-------|-----|
| (ア) 男女混合名簿にする                         | 24.7   | 46.3   | 22.5  | 6.5 |
| (イ) 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する      | 84.2   | 5.3    | 6.4   | 4.1 |
| (ウ) 副読本(*)等に性別で役割を固定するような表現がないかチェックする | 32.9   | 30.6   | 29.2  | 7.3 |
| (エ) 男女の平等と相互の理解や協力について学習を充実する         | 72.8   | 8.8    | 12.3  | 6.1 |
| (オ) 教員に男女平等についての研修を推進する               | 61.4   | 16.4   | 16.1  | 6.1 |
| (カ) 管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく              | 54.0   | 18.1   | 22.7  | 5.2 |

\* 副読本とは教科書を補助する読み物資料のことです。

問 13 今後、社会のあらゆる分野で男女がもっと平等になるために、最も重要なことは何だと思いますか。次の中から1つ選んで をつけてください。[N=1, 174]

- (11.1) 1. 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること
- (23.0) 2. 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- (21.1) 3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- (20.3) 4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- ( 8.9) 5. 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
- ( 3.5) 6. その他
- ( 9.5) 7. わからない
- ( 2.6) 無回答

問 14 あなたが、次にあげる職業や役職において今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。あてはまるものすべてに をつけてください。(複数回答)

- (31.9) 1. 都道府県、市町村の首長
- (45.8) 2. 国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員
- (31.1) 3. 国家公務員、地方公務員の管理職
- (34.4) 4. 裁判官、検察官、弁護士
- (17.7) 5. 大学教授
- (21.4) 6. 国連などの国際機関の管理職
- (32.6) 7. 企業の管理職
- (22.8) 8. 起業家・経営者
- (17.7) 9. 労働組合の幹部
- (11.5) 10. 農協の役員
- (16.4) 11. 新聞・放送の記者
- (18.7) 12. 自治会長、町内会長等
- (15.4) 13. 特にない
- ( 2.3) 14. その他
- (10.9) 15. わからない

家庭生活や地域活動と仕事について

問 15 あなたは、次にあげる家事は、誰が分担するのが望ましいと思いますか。(ア)から(カ)について、あてはまる番号に をつけてください。[N=1, 174]

|               | 主に夫 | 夫婦が協力して | 主に妻  | 家族が協力して | その他 | 無回答 |
|---------------|-----|---------|------|---------|-----|-----|
| (ア) 掃除        | 0.9 | 35.0    | 18.0 | 42.1    | 0.9 | 3.2 |
| (イ) 洗濯        | 0.4 | 29.4    | 37.6 | 27.9    | 0.8 | 3.9 |
| (ウ) 食事のしたく    | 0.3 | 28.8    | 41.7 | 24.8    | 0.9 | 3.4 |
| (エ) 食事の後かたづけ  | 2.0 | 34.3    | 19.3 | 39.7    | 0.8 | 3.8 |
| (オ) 家族の介護     | 0.3 | 37.4    | 4.4  | 51.9    | 1.6 | 4.4 |
| (カ) 子どもの育児・教育 | 0.8 | 58.5    | 6.1  | 29.1    | 0.6 | 4.9 |

問 16 問3で「 1. 結婚している 」と答えた方におたずねします。実際にあなたの家庭では、家事は誰が分担していますか。(ア)から(カ)について、あてはまる番号に をつけてください。(オ)・(カ)の項目は、該当のある方のみ をつけてください。[N=905]

|               | 主に夫 | 夫婦が協力して | 主に妻  | 家族が協力して | その他  | 無回答  |
|---------------|-----|---------|------|---------|------|------|
| (ア) 掃除        | 4.1 | 25.2    | 60.3 | 6.7     | 0.4  | 3.2  |
| (イ) 洗濯        | 2.7 | 13.4    | 75.6 | 4.5     | 0.3  | 3.5  |
| (ウ) 食事のしたく    | 0.8 | 10.7    | 79.9 | 4.5     | 0.7  | 3.4  |
| (エ) 食事の後かたづけ  | 3.4 | 19.0    | 64.2 | 8.8     | 0.7  | 3.9  |
| (オ) 家族の介護     | 1.3 | 15.9    | 19.8 | 11.7    | 17.7 | 33.6 |
| (カ) 子どもの育児・教育 | 0.7 | 30.7    | 27.2 | 8.8     | 7.3  | 25.3 |

問 17 問5で「 1. 4. 5. 」のいずれかに をつけた方(現在何らかの仕事をしている方)におたずねします。あなたの希望に近いものを、次の中から1つ選んで をつけてください。[N=684]

- ( 7.0) 1. 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念したい
- (27.0) 2. 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先したい
- (38.5) 3. 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立したい
- (17.1) 4. 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先したい
- ( 3.7) 5. 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念したい
- ( 3.4) 6. わからない
- ( 3.4) 無回答

問 18 問5で「 1.4.5. 」のいずれかに つけた方（現在何らかの仕事をしている方）  
におたずねします。あなたの現実（現状）に最も近いものを、次の中から1つ選ん  
で つけてください。[N=684]

- (21.6) 1. 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している
- (36.3) 2. 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている
- (22.7) 3. 家庭生活又は地域活動と仕事を、同じように両立させている
- ( 9.9) 4. 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている
- ( 2.5) 5. 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している
- ( 3.5) 6. わからない
- ( 3.5) 無回答

問 19 あなたは「 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである 」という考え方に賛成します  
か。次の中から1つ選んで つけてください。[N=1, 174]

- ( 7.7) 1. 賛成である
- (42.8) 2. どちらかといえば賛成である
- (23.6) 3. どちらかといえば反対である
- (13.8) 4. 反対である
- ( 9.0) 5. わからない
- ( 3.2) 無回答

問 20 育児や家族の介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。  
この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、あなたはどう  
思いますか。次の中から1つ選んで つけてください。[N=1, 174]

- (31.9) 1. 積極的に取った方がよい
- (40.0) 2. どちらかという取った方がよい
- (12.1) 3. どちらかという取らない方がよい
- ( 3.0) 4. 取らない方がよい
- (10.3) 5. わからない
- ( 2.7) 無回答

問21 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(複数回答)

- (52.3) 1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- (17.5) 2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- (64.7) 3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくとること
- (36.3) 4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
- (39.3) 5. 男性による家事、子育て、介護、地域活動について、社会の中での評価を高めること
- (39.7) 6. 労働時間短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- (28.8) 7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
- (18.8) 8. 県・市などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
- (21.0) 9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)作りを進めること
- (23.3) 10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- ( 2.1) 11. その他
- ( 5.0) 12. わからない

#### ドメスティック・バイオレンス(DV)について

問22 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(夫婦、恋人同士などの親しい間で、身体的・精神的・経済的な暴力などを受けること)を経験したり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(複数回答)

- ( 8.1) 1. 暴力を受けたことがある
- ( 2.8) 2. 暴力をふるったことがある
- ( 9.4) 3. 身近に暴力を受けた当事者がいる
- ( 5.2) 4. 身近な人から相談を受けたことがある
- (75.7) 5. 暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- (11.3) 6. 暴力について見聞きしたことはない
- ( 2.5) 7. その他

問23 問22で「1. 暴力を受けたことがある」と回答した方におたずねします。あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしたことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(複数回答)

- (34.7) 1. どこ(誰)にも相談しなかった
- (35.8) 2. 友人・知人に相談した
- (36.8) 3. 家族に相談した
- (9.5) 4. 警察に連絡・相談した
- (7.4) 5. 医師・カウンセラーに相談した
- (1.1) 6. 人権擁護委員または人権相談窓口で相談した
- (6.3) 7. 県・市町の機関や相談員に相談した
- (2.1) 8. 民間の機関(弁護士会など)に相談した
- (2.1) 9. その他

問24 問23で「1. どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(複数回答)

- (45.5) 1. 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから
- (48.5) 2. 相談しても無駄だと思ったから
- (48.5) 3. 自分にも悪いところがあると思ったから
- (33.3) 4. 相談するほどのことではないと思ったから
- (12.1) 5. 他人を巻き込みたくなかったから
- (27.3) 6. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- (15.2) 7. 世間体が悪いから
- (12.1) 8. そのことについて思い出したくなかったから
- (18.2) 9. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
- (12.1) 10. どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから
- (9.1) 11. 相談すると、担当者の言動で自分が不快な思いをと思ったから
- (3.0) 12. その他

問 25 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(複数回答)

- |        |   |
|--------|---|
| (42.8) | 1. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う          |
| (42.6) | 2. 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う      |
| (14.7) | 3. 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う            |
| (28.1) | 4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う               |
| (61.8) | 5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす             |
| (25.6) | 6. 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う  |
| (32.1) | 7. 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う     |
| (41.5) | 8. 加害者への罰則を強化する                           |
| (38.4) | 9. 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる |
| ( 6.4) | 10. その他                                   |
| ( 6.4) | 11. わからない                                 |

#### 男女共同参画社会の形成について

問 26 あなたは、次の言葉を知っていますか。(ア)から(ケ)までについて、あてはまる番号に をつけてください。[N=1, 174]

|  | よく知っている | 少しは中身を知っている | 言葉だけ聞いたことがある | まったく知らない | 無回答  |
|--|---------|-------------|--------------|----------|------|
| (ア) 男女共同参画社会                               | 9.6     | 22.1        | 40.3         | 21.6     | 6.4  |
| (イ) 男女共同参画社会基本法                            | 2.5     | 9.6         | 35.3         | 43.8     | 8.8  |
| (ウ) 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約<br>(女子差別撤廃条約) | 2.1     | 8.3         | 26.1         | 54.3     | 9.1  |
| (エ) 配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律<br>(DV防止法)  | 8.8     | 24.6        | 42.5         | 16.6     | 7.5  |
| (オ) 丸亀市男女共同参画推進条例                          | 1.6     | 4.9         | 25.9         | 59.0     | 8.6  |
| (カ) 男女共同参画都市宣言                             | 2.2     | 4.8         | 27.6         | 55.1     | 10.3 |
| (キ) ポジティブ・アクション<br>(積極的改善措置)               | 2.1     | 8.3         | 26.1         | 54.3     | 9.1  |
| (ク) ジェンダー(社会的性別)                           | 5.5     | 10.1        | 21.0         | 53.7     | 9.7  |
| (ケ) ワーク・ライフ・バランス<br>(仕事と生活の調和)             | 2.9     | 8.6         | 27.2         | 51.8     | 9.5  |



問 27 男女共同参画社会を実現していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(複数回答)

- (33.0) 1. 法律や制度の面で見直しを行う
- (28.7) 2. 国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- (23.1) 3. 民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
- (25.8) 4. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- (22.1) 5. 従来、女性が少なかった分野(研究者等)への女性の進出を支援する
- (54.9) 6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設、介護サービスを充実する
- (20.2) 7. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- (36.5) 8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
- (52.8) 9. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
- (55.7) 10. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- (24.3) 11. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
- ( 1.7) 12. その他
- ( 2.6) 13. 特にない
- ( 8.5) 14. わからない

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。ご記入いただきました本調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、1月29日(金)までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

丸亀市企画財政部企画課 男女共同参画室

〒763-8501 香川県丸亀市大手町二丁目3番1号

TEL (0877)24-8839 FAX (0877)24-8874

Eメール danjo@city.marugame.lg.jp